

# 高文連



山口県高等学校文化連盟

# もくじ

山口県高等学校文化連盟の紹介	1
ごあいさつ	5
各部門の報告	
演劇部門	6
合唱部門	11
吹奏楽部門	13
器楽・管弦楽部門	15
日本音楽・郷土芸能部門	17
美術・工芸部門	19
書道部門	22
写真部門	24
放送部門	28
囲碁部門	33
将棋部門	35
小倉百人一首かるた部門	38
文芸部門	42
自然科学部門	48
自主事業・補助事業の報告	52

## 参考資料

自主事業・補助事業実施校一覧	60
令和3年度 山口県高等学校文化連盟 事業報告	62
令和3年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書	63
令和4年度 山口県高等学校文化連盟 事業計画	64
令和4年度 山口県高等学校文化連盟 会計予算書・調整基金会計予算書	65
山口県高等学校文化連盟規約	66
山口県高等学校文化連盟諸規程	69
山口県高等学校文化連盟表彰規程	70
山口県高等学校文化連盟旅費支給基準	71
令和3・4年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧	72
全国高文連の歌	74

# 山口県高等学校文化連盟の紹介

山口県高等学校文化連盟には 17 の部門があります。

演劇／合唱／吹奏楽／器楽・管弦楽／日本音楽／郷土芸能／マーチング・バトントワリング／

吟詠剣詩舞／美術・工芸／書道／写真／放送／囲碁／将棋／小倉百人一首かるた／文芸／自然科学

2021 年 6 月 4 日、下関南高等学校体育館で行われた第 43 回山口県高等学校総合文化祭開会式のようすが生配信されました。各部門の大会は、5 月の将棋と小倉百人一首かるたを皮切りに県内各地で行われました。

2021 年 7 月 31 日～8 月 6 日、和歌山県にて第 44 回全国高等学校総合文化祭が行われました。山口県からは、県総文で選ばれた代表が多数出場しました。

## 【演劇】



## 【合唱】



## 【吹奏楽】



**【器楽・管弦楽】**



**【日本音楽・郷土芸能】**



**【美術・工芸】**



**【書道】**



## 【写真】



## 【放送】



## 【囲碁】



## 【将棋】



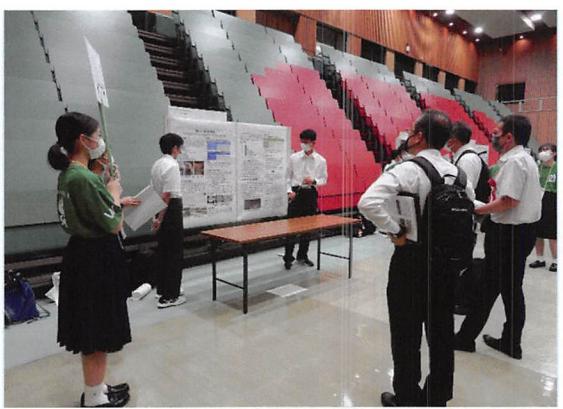
## 【小倉百人一首かるた】



## 【文芸】



## 【自然科学】





## ごあいさつ

山口県高等学校文化連盟

会長 大村

勇

皆様の御理解と御協力のもと、ここに令和3年度の山口県高文連の歩みを記した集録ができあがりましたことに深く感謝申し上げます。本連盟は昭和62年6月に発足し、今年で32年となります。この間、県内外のさまざまな文化・芸術活動への参加の拠点として、高校生の創造力の育成と豊かな心の醸成を支援し続けています。高校時代の文化部活動への関わりが、人生の幅を広げるということ、そして人間関係やものの見方に大きな影響を与えるということを鑑み、今後も、各学校の文化部活動をつなぐ役割を果たしながら、高校生のさまざまな文化・芸術活動を支えてまいりますので、引き続き御理解と御協力をお願い申し上げます。

さて、今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大に大きな影響を受けた1年となりましたが、6月には第43回山口県高等学校総合文化祭が「令和に刻む 文化の歴史 続け この思い」をテーマに、内容を工夫し、対策を講じながら開催することができました。総合開会式では、開催地域での直前の感染拡大のため、会場を変更し慶祝演奏や慶祝展示を取りやめざるを得ない状況となりましたが、代表生徒の堂々とした挨拶もあり、可能な範囲での素晴らしい開会式であったと思います。

各専門部の大会は、5月の将棋部門・小倉百人一首かるた部門をスタートとし、11月の美術・工芸・写真部門まで、7か月にわたって県内各地で開催されました。どの専門部においても、参加された生徒の皆さんには、制限を余儀なくされた活動の中で、日々の精一杯の努力で積み重ねてきたものを見事に披露してくれました。高校生の皆さんのが、みずみずしい感性で、自分らしい表現を追求し、テーマにあるように、この令和の時代に華やかに文化の歴史を刻み、その思いを次のステージに運んでいくてくれたものと思っております。

また、7月には第45回全国高等学校総合文化祭（和歌山大会）が開催され、本県から14部門、24校、185名が参加しました。コロナの広がりのため辞退した部門もありましたが、演劇部門で、県立華陵高校が中国地区代表として参加し奨励賞を受賞するなど、参加したどの部門の生徒たちも持てる力を十分に發揮し、本県を代表するにふさわしい演奏や演技、作品展示を見せてくれました。全国のレベルを体感するとともに、他県の生徒たちとの交流も深まり、有意義な7日間となりました。持ち帰った全国の風を日々の活動に活かし、次年度の東京大会ではさらによい成果が発揮できるよう頑張ってほしいと思います。

今年度も、昨年度と同様に思いどおりの活動とならない一年となってしまいましたが、そのような中にあっても、平素から熱心に御指導いただいております各校の顧問の先生方や関係の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、今後とも御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

そのほか、本連盟では高校生が優れた文化や芸術に直接ふれあって感性を高めることを目的に、自主文化事業や補助事業を企画し、希望の学校で開催しております。今後も、高校生の希望を取り入れながら、より多くの学校に参加していただける文化・芸術活動を企画していくたいと考えておりますので、ぜひ積極的な御活用をお願いいたします。

結びに、本連盟の活動に御支援、御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝し、厚くお礼を申し上げまして発刊の御挨拶といたします。

## 各部門の報告

### 演劇部門

理事長 石田 千晶

(山口県立光高等学校教諭)

今年度は、成果発表の機会確保という文化庁の方針もあって、制限付きですが観客のいるホールで、全国高等学校総合文化祭、地区大会（周防地区大会のみ相互鑑賞無し）、山口県高等学校総合文化祭演劇部門、中国地区高等学校演劇発表会を開催することができました。

しかし、演劇は観客の心を動かす芸術なのに、観客の息遣いを感じることも、他校の上演から直に学ぶ機会もなかった昨年1年間の後遺症は小さくありませんでした。昨年度は新型コロナという未知の病気に対して最大限の安全を確保するため、地区大会は中止、全加盟校を東西2地区に分け開催した異例の県大会は、無観客のうえ、上演校同士の鑑賞さえも禁じざるを得ませんでした。生徒は上演後の帰り道、審査結果を伝えられるだけ。自分たちなりに工夫し重ねた努力も、審査員の評価というフィードバックしかありませんでした。観客の生の反応が得られない不全感に加え、演者同士の距離確保が難しく発声も不可欠な演劇に対する風当たりも強く、演劇を肯定的に受けとめることができずに部を去った生徒もいました。新入部員の勧誘もいつにも増して難しいものになりました。

「なんとかして観客の前で上演させたい」。それが今年度の演劇部門理事たちの想いでした。地区大会不出場が3校出たものの、宇部鴻城高等学校演劇同好会の新規加盟が実現したことに勇気づかれました。

生徒講評部門についてはさらに厳しい状況でした。昨年から生の観劇機会が少なかった生徒たちは、観劇直後に感想を吐露し共有することに慣れておらず、講評委員たちの心をほぐすことが必要でした。しかし、大会が進むうち、生徒たちが生の上演に突き動かされ、生き生きとした表情になり、熱く言葉を紡ぎ出すそうとする瞬間を目のあたりにして、演劇の持つ力を再確認できました。

演劇が演れない、観られない。この試練があつたからこそ、演劇とはなにか？ 演劇の果たす役割、与えてくれる歓びを痛感したのです。今年度の大会では、生徒たちは、観客から生の反応を得て、上演の間にものびのびと成長していました。相互鑑賞や生徒講評を大切にして、他の上演から多くを学びました。

また、感染状況が落ち着いていた秋には生徒対象の演劇講習会も開催できました。思い切り体を動かし、声を出すこと、地区を越えて交流することを満喫しました。

今年度全国大会出場を果たした華陵高校に続いて、光丘・光高校が中国大会で春季全国高等学校演劇研究大会への推薦を得ました。これで山口県は、2018年度以降、光丘高校、山口高校、華陵高校、光丘・光高校、と春夏あわせて4年連続全国大会出場という奮闘を続けていることになります。

年度内に県内各地で様々な学校が自主公演や合同公演を企画しており、演劇熱が再燃していることに大きな希望を感じています。

以下今年度の活動報告です。

#### 1 演劇指導者講習会

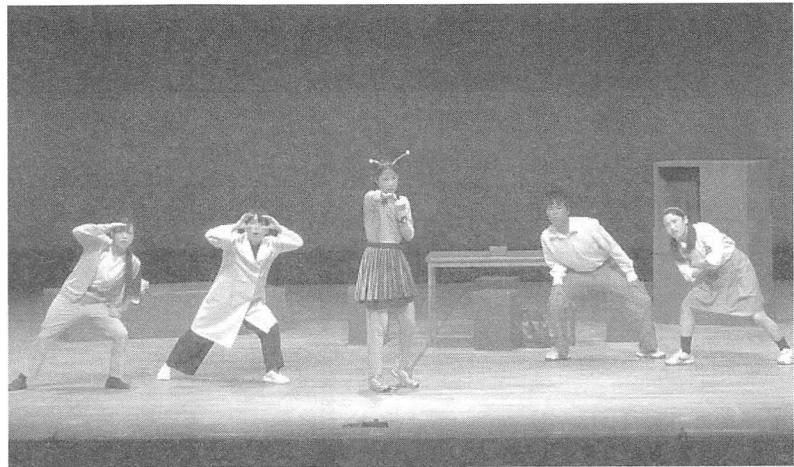
山口県での全国大会開催を見据えて始めた演劇部顧問の知識・技術向上のための演劇指導者講習会は、2年ぶりの開催となりました。6月30日防府西高校体育館に17名の顧問が集まりました。講師は、劇作家・演出家で劇団「大猫座」の座長、梅光学院中学校・高等学校演劇部顧問でもある大塚恵美子先生。「部活動に役立つシアターゲーム」と題して「演じること」についての講義を受けた後、シアターゲームを体験しました。演劇とは想像力をを使った芸術であり、観客を信じて、過剰な情報伝達を控えるべきだということを再確認しました。

## 2 第45回全国高等学校総合文化祭演劇部門・第67回全国高等学校演劇大会

8月4日（水）～6日（金）紀南文化会館

中国ブロック代表として、華陵高等学校が華陵舞（はなおかまい）作『この星はブルー』を上演し、優良賞を受賞しました。

宇宙人が地球に留学するという奇想天外な設定のもと、定型化し希薄になった現代のコミュニケーションに疑問を投げかけ、同世代の心を打ちました。生徒講評では涙ながらに経験を吐露する生徒もいました。



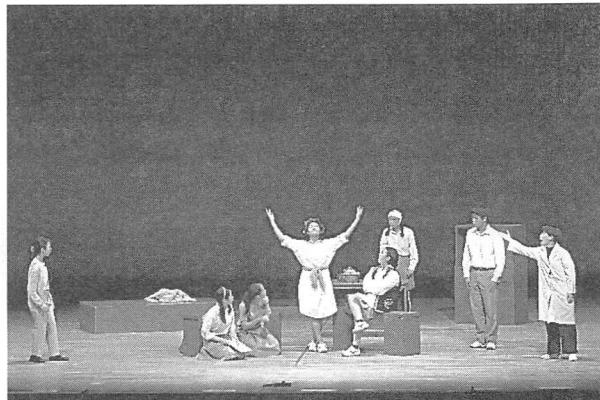
### 全国大会に出場して

華陵高校3年 野村理仁

全国大会で各地の代表校の上演作品を自分の目で観ることができたことと同じ舞台で上演ができたことを誇りに思います。

特に最優秀賞を受賞した「FLOAT」は、自分たちの作品と同じ「空気を読んで周りに馴染むこと」がテーマの作品でしたが、周りの人から浮くことを水に浮くことに、空気を読む息苦しさを水中での息苦しさに掛け表現していく、その巧みさに感服しました。

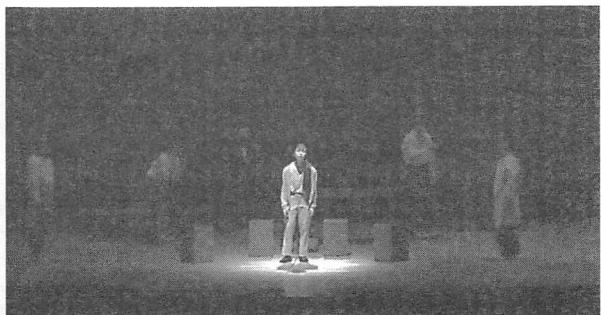
生徒講評では、討論の中で脚本の構成や自分たちでは思いもつかなかった舞台装置のアイデアを知ることができたので、とても貴重な経験になりました。交流の中で他校の方が演技をする上で気をつけていることや脚本に込めた思いを聞き、作品を多角的に観ることができました。



それから、何より、多くの方に自分たちの劇を見て貰えたことが嬉しかったです。全国大会までの全ての公演で、自分たちが何を伝えたいのか、どんなことを感じながらこの社会で生きているのかを訴えた作品に色々な方が共感してくださったことは最高の経験でした。さらに観る人の心に残るような劇を作りて行きたいと思いました。

また、会場でそれ違うどの学校の方も礼儀正しい方たちばかりで驚きました。スタッフや運営の生徒の方たちも親切な方ばかりで、安心して大会期間を過ごすことが出来ました。自分たちもその態度を見習い、次の大会ではより好印象を持って貰えるよう努力したいと思いました。

コロナ禍で難しい状況にもかかわらず、多くの方が私たちのために奔走して下さったからこそ開催された全国大会だと感謝の思いで大会に挑みました。ずっと練習を続けて来た思いをぶつけることができ、最高の舞台になったことは奇跡のようです。



3 地区大会 ◎は最優秀校 (県大会推薦) ※は創作

周防地区 8月 21 日(土)シンフォニア岩国 \*華陵高等学校は全国出場のため県大会推薦

新南陽高等学校	※境界線	高司蒼空作
岩国総合高等学校	で、アニマ?	鶴見充展作 岩国総合高校演劇部脚色
◎光丘・光高等学校	※陰影	辯岡篠作

生徒講評：島田 咲花 (岩国総合) 高司 蒼空 (新南陽)

山防地区 8月 7 日(土)山口南総合センター

◎山口高等学校	※種なしブドウなのに、種入ってんじやん。	牛島惇作 山口高校演劇部潤色
防府商工高等学校	※ 3.女子高生	小田柚葉作
防府西高等学校	※ダンゴムシの唄	防府西高校演劇部作
◎山口県鴻城高等学校	ぼくらの教室	上田美和作 山口県鴻城高校演劇部潤色
西京高等学校	※光の射すほう	西京高校演劇部作

生徒講評：森下 妃美 (防府商工) 佐伯 亞子 (西京)

宇部地区 8月 11 日(水) 不二輸送機ホール

宇部高等学校	※空をさし、そらを踏む	野間ゆりか作
サビエル高等学校	※スローなピンポンにしてくれ	熊田留吉作
◎宇部鴻城高等学校	※ラストサマー (R3)	渚太陽原作 宇部鴻城高校演劇同好会脚色
◎宇部中央高等学校	GOING! (強引グー)	楽静原作 宇部中央高校脚色
宇部西高等学校	※勇者になりたい君 (ユウ) ヘ	岡崎美香作
◎宇部フロンティア大学 付属香川高等学校	※彩芽の地	重村伊織原作 藤本奈々美脚色

生徒講評：岡本 稜平 (宇部) 幸田 陽 (サビエル)

下関地区 8月 5・6 日(木・金) 下関市生涯学習プラザ

田部高等学校	天使の声が聞こえたら	加藤のりや作 田部高校演劇部潤色
下関商業高等学校	※ソーダ・ポップ	池本花音 高田結衣作
長府高等学校	※ばけものくに	木村楓作 長府高校演劇部潤色
◎下関西高等学校	ラスティングミュージック	山口慶美作 下関西高校演劇部潤色
◎下関南高等学校	※2番じゃダメなんですか	うしろだかずや作
梅光学院中学校・ 高等学校	※父と暮らせば～アイ～	小野駿・竹岡英大原案 梅光学院演劇部作
下関中等教育学校	※せみはたれどき	吉村香奈子作

生徒講評：高田 結衣 (下関商業) 吉村 香奈子 (下関中等)

#### 4 第 43 回山口県高等学校総合文化祭 (演劇部門)・第 40 回山口県高等学校演劇大会

10月 22 日(金)・23 日(土) 下関市民会館大ホール

地区大会から推薦された9校と全国大会出場の華陵高校で10校の上演となりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の為観客を原則県内に限定したこと、初日が平日であったことが重なり、観客

数は少なめでしたが、2日目は県内の加盟校に鑑賞を呼びかけました。上演校も生徒講評委員も加盟校生徒も、舞台と客席の化学反応という演劇的交流を満喫しました。

A : 上演部門 ◎は最優秀校 ◇は創作脚本賞 ※は創作

宇部フロンティア大学 付属香川高等学校	※彩芽の地		重村伊織原作 藤本奈々美脚色
山口県鴻城高等学校	ぼくらの教室		上田美和作 山口県鴻城高校演劇部潤色

◎光丘・光高等学校	※陰影		緋岡篤作
宇部鴻城高等学校	※ラストサマー (R3)		渚太陽原作 宇部鴻城高校演劇同好会脚色
梅光学院中学校・高等学校	※父と暮らせば ～アイ～		小野駿・竹岡英大原案 梅光学院中学校・高等学校演劇部作
◎下関西高等学校	ラスティング ミュージック		山口慶美作 下関西高等学校演劇部潤色
◇下関南高等学校	※2番じやダメ なんですか		うしろだかずや作
華陵高等学校	七人の部長		越智優作 華陵高校舞台芸術部潤色
山口高等学校	※種なしブドウ なのに、 種入ってん じやん。		牛島惇作 山口高校演劇部潤色
宇部中央高等学校	GOING! (強引グー)		楽静原作 宇部中央高校脚色

B : 生徒講評部門 (以下 3 名が中国大会出場)

最優秀賞 幸田 陽 (サビエル) 高田 結衣 (下関商業) 優秀賞第一席 吉村 香奈子 (下関中等)

## 5 演劇講習会

11月14日(日)光丘高校体育館にてヴォイストレーナーの清水美也子さんを講師に迎え、「喉ゼリ(喉声台詞)を脱却して、思いを載せた声を観客に届ける!」と題した講習会を開催しました。生徒75名、指導者17名が参加しました。

午前中は、良い声を出すための姿勢、口や鼻の



開き方を学び、ボールとともに声を高く遠くに飛ばすトレーニングをしました。午後は脚本への取

り組み方を学び、学校の枠を越えたグループ編成で演劇上演に挑戦しました。最初は硬かった部員たちも清水先生の笑いを誘う楽しい指導に心も体

もほぐれていきました。演劇部で取り組むべき基礎的な活動を見直す良い機会となりました。

## 6 第59回中国地区高等学校演劇発表会

12月18日（土）・19日（日）呉信用金庫ホール  
光丘・光高等学校が、緋岡篝（ひおかかがり）  
作『陰影』で優秀賞・全国高等学校演劇協議会会長賞を受賞し、第16回春季全国高等学校演劇研究大会に推薦されました。

同性の友人への甘酸っぱい思いをユーモアたっぷりに描きながら、結末で友人の若年介護の苦しみを顕にし、観客に衝撃を与えました。光と影の演出にこだわった照明を駆使した作品でした。



下関西高等学校が山口慶美作、下関西高等学校演劇部潤色『ラスティングミュージック』で優良賞を受賞しました。「ねこふんじやった」という伝承音楽を教え合うことで友情の絆を確かめる、ピアノの生演奏も魅力的な作品でした。



\*\*\*\*\*

### 春季全国高等学校演劇研究大会に向けて

光丘高校3年 近藤未来

私たちは、春季全国演劇研究大会に推薦していただき、「陰影」をもっとたくさんの方に見ていただける機会を頂きました。

私は脚本の創作にあたって、新米の保育士が育ての親である祖母を殺害した事件を題材にしたいと提案しました。自分と歳が変わらないことに衝撃を受けたし、なんとかしたいと思ったからです。彼女はどんな高校生活を送っていたのだろうか。誰も気づけなかつたのだろうか。きっと私も気づけてないと思いました。私の周りの悩んでいる子に気づけなくてトラブルになってしまったことがあったからです。気づけなかつた自分にも自己嫌悪だったし、なんで言ってくれなかつたのかと相手を恨みもしました。そのときの思いもこめて作品にしたいと思いました。

誰でも抱えているものがあつて、時にいっぱいいっぱいで周囲が見えなくなる。だから人のちょっとした表情に一喜一憂しなくていいし、そうす



れば少し距離をおいて穏やかに見守ってあげられるかもしれません。中国大会では、私の演じた樋口の思いを追体験したとたくさんの方がメッセージをくださいました。様々な受け取り方があり、自分たちが思っていた以上に深く感じてくださっている方や想像もしなかつた解釈をされた方もいました。皆さんの感想に学んでさらに磨きをかけていきたいです。

春の全国大会では、3月で閉校となる光丘の最後の舞台、そして引き継いでくれる光高校演劇部の全国デビューとして記憶に残る舞台にしたいです。そして、自分たちのためだけではなく、見ていただく方のためにも全力でドラマを届けたいと思っています。

## 各部門の報告

### 合唱部門

理事長 田中 瞳

(野田学園高等学校教諭)

#### 1. 活動報告

山口県高等学校文化連盟合唱部門では、今年度次のような事業を行いました。

##### (1) 第43回山口県高等学校総合文化祭 音楽4部門発表会 代替行事

昨年度同様、今年度も山口県高等学校総合文化祭総合開会式及び、音楽4部門発表会が中止となつたため、合唱部会独自の代替行事を行いました。各校で演奏を録音したものを、依頼した講師に講評いただきました。

今年度は各種コンクールが実施されたことや、講師を各種コンクールで審査員を務められている伊東恵司先生に依頼したため、各校コンクール課題曲や自由曲を中心に、熱のこもった演奏を収録披露されました。

##### <参加校と演奏曲目>

##### 山口県立岩国高等学校

- Ehre sei dir, Christe (Heinrich Schütz 作曲)
- 混声合唱のための『コスマック・エレジー』より  
わが抒情詩 (千原英喜 作曲)

##### 山口県立山口中央高等学校

- La Fade (Giachino Rossini 作曲)
- 彼方のノック (土田豊貴 作曲)

##### 山口県立山口高等学校

- O salutaris hostia (Giachino Rossini 作曲)
- 混声合唱のための『おらしょ』  
カクレキリシタンの3つの歌より  
第二樂章 (千原英喜 作曲)

##### 山口県立萩高等学校

- 無伴奏混声合唱のための『うたおり』より  
5. 戦場、6. 夕餉 (松下耕 作曲)

##### 山口県立宇部中央高等学校

- 混声三部合唱組曲『風の夏』より  
夏 (松下耕 作曲)
- 彼方のノック (土田豊貴 作曲)

##### 野田学園高等学校

- 岸田衿子の詩による無伴奏混声合唱曲集  
『うたをうたうのはわすれても』より  
うたをうたうのはわすれても (津田元 作曲)

##### (3) 令和3年度山口県高等学校文化連盟 合唱部会及び研修会

- 令和3年 11月 30日 (火)
- 出席者／部会長以下 10名
- 議題／県総文、全総文、高文連表彰などについて
- 会場／野田学園高等学校 大会議室

##### (4) 山口県高等学校合唱講習会

- 令和3年 5月 29日 (土)
- 講師／相澤直人 先生  
(作曲家・合唱指揮者)  
⇒新型コロナウィルス感染症の感染拡大  
のため、止む無く2年連続の開催中止  
となりました。

(5) 令和2年度山口県高等学校文化連盟合唱部会  
及び研修会

- ・令和3年11月30日（火）
- ・野田学園高等学校 大会議室
- ・出席者/部長以下10名
- ・議題/県総文、全総文、高文連表彰などについて

2. 全国高等学校総合文化祭の記録

山口県立萩高等学校 3年 大田 賢太郎

新型コロナウイルス感染症が依然終息の気配を見せてはいませんが、今回全国高等学校総合文化祭に参加できたことを大変嬉しく思っています。

僕たちは、今回『無伴奏混声合唱のための「うたおり」』から『5. 戦場』と『6. 夕餉』の2曲を披露しました。この2曲は曲調が正反対で、その違いを表現するとともに、「5. 戦場」は戦争の悲惨さを表現できるように頑張りました。

今回は残念ながら全ての学校の演奏を聴くことはできませんでしたが、どの学校も様々な工夫を凝らした発表でとても感動しました。特に、千葉県立幕張総合高等学校の発表では「証城寺の狸囃子」の歌の中で、和尚さん役と狸役が出てきて、歌の場面を再現するなどの工夫があり、とても楽しみながら聴くことができました。

また、会場内ではアルコールスプレーが様々な場所に設置されており、昼食時にも人との間隔を空け

て話をせずに昼食をとるなど、感染症対策が十分にされていて安心して過ごすことができました。さらに、ボランティアの方々も誘導の際親切に対応してくださいり、本番では落ち着いて発表することができました。他県の高校生の発表を生で聴ける機会は滅多ないので、本当にすばらしい経験をさせていただきました。コロナ禍の中でまだまだ様々な制約はありますが、合唱の力でみなさんに元気を届けられるようにこれからも頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

3. その他

昨年度から始まった新型コロナウイルス感染症感染拡大により、生徒たちの日常から『歌う』機会が奪われて早2年。その影響は加盟各校の部員数減少という形で現れ始めています。しかし、悪いことばかりではありません。昨年度中止となった各種コンクールが今年度は実施されたのです。勿論、マスク着用や間隔を開けての歌唱と各種制限はありましたが、歌える喜び、聴いてくださる方がおられる喜びを、改めて実感しました。来年度こそは、何の気兼ねなく歌える日々が戻ってくることを祈りつつ、これまでにはなかった新しい合唱活動の在り方を開拓しながら、部会として前進していきたいと思います。



## 各部門の報告

# 吹奏楽部門

理事長 中村 亮

(山口県立宇部高等学校教諭)

### 1 令和3年度の吹奏楽専門部の活動報告

- (1) 第43回山口県高等学校総合文化祭 総合開会式  
慶祝演奏  
→新型コロナウイルス感染症対策のため、会場での演奏は中止。  
→ファンファーレ並びに下関支部合同吹奏楽団の演奏を、令和3年6月13日早鞆高等学校体育馆にて録画（配信は県高文連HPにて）。



#### ○ ファンファーレ

- ・「壇の浦」に寄せる哀愁的なファンファーレ “H E I K E” ～打楽器と3群の金管楽器による～
- ・作曲 檜原 弘（山口県立豊浦高等学校教諭）
- ・指揮 松井友介（早鞆高等学校 教諭）
- ・演奏 山口県高等学校文化連盟下関支部 合同吹奏楽団



#### ○ 慶祝演奏（吹奏楽）

- ・「民衆を導く自由の女神」
- ・作曲 樽屋 雅徳
- ・指揮 檜原 弘（山口県立豊浦高等学校教諭）
- ・演奏 山口県高等学校文化連盟下関支部 合同吹奏楽団



- (2) 第43回山口県高等学校総合文化祭 音楽4部門発表会・第72回山口県高等学校連合音楽会  
→新型コロナウイルス感染症対策のため全日程中止。（3）の行事実施により代替。

- (3) 第43回山口県高等学校総合文化祭 音楽4部門発表会・第72回山口県高等学校連合音楽会 代替行事

- ・ 開催日 令和3年5月20日から 令和3年6月15日まで
- ・ 参加演奏 県内公私立31団体  
(演奏曲目等は、下記QRコードに掲載)
- ・ 講評委嘱 以下の3名（敬称略）
  - 木管：渡辺 泰  
(新日本フィルハーモニー交響楽団 フルート&ビオコロ奏者)
  - 金管：露木 薫  
(名古屋音楽大学 教授 ユーフォニアム奏者)
  - 打楽器・吹奏楽指導：富田 篤  
(ワリヂ・ストン吹奏楽団久留米音楽監督・常任指揮者)

(3) 参加演奏団体 曲目等  
掲載 PDFファイル



- (4) 第45回全国高等学校総合文化祭

- ・ 開催日 令和3年8月5日(木), 6日(金)
- ・ 参加演奏 中村女子高等学校
- ・ 演奏曲目 歌劇「カヴァリアルティカ」より  
(P.マスカニ 作曲/宍倉晃 編曲)  
交響組曲「風の谷のナシカ」3章から  
(久石譲 作曲/森田一浩 編曲)
- ・ 指揮 岸 美砂子（中村女子高等学校教諭）

- (5) 吹奏楽専門部総会・研修会
- ・開催日 令和3年11月30日(火)
  - ・会場 宇都市文化会館 第1研修室  
宇都市渡辺翁記念会館 大集会堂
  - ・参加人数 40名
  - ・研修会講師 中村睦郎先生(吹奏楽指導者)



吹奏楽専門部 研修会（協力：山口県立宇部高等学校吹奏楽部）

## 2 全国高等学校総合文化祭吹奏楽部門参加報告 中村女子高等学校吹奏楽部 3年生部員一同

私たち中村女子高等学校吹奏楽部は、「第45回全国高等学校総合文化祭の国わかやま総文2021」に参加させていただきました。今年も新型コロナウィルスの影響で演奏行事等が中止になり、とても残念な思いをしました。大変な状況が続く中、わかやま総文を開催していただき、嬉しさで胸がいっぱいになりました。

演奏しましたのは、歌劇「カヴァリアルティカーナ」より(P.マスカニ作曲)、交響組曲『風の谷のナウシカ』3章(久石譲作曲)の2曲です。

歌劇「カヴァリアルティカーナ」はため息ができるような流麗な音楽の中に悲劇的な物語の展開が醸し出される美しい名曲です。私たち部員16名は聴いてくださる方々へオペラの世界を感じていただくために、オペラの鑑賞を通じて各場面における歌手やオーケストラの方々による感情表現を学び、実際にアリアを歌って表情や抑揚を考えるなど、音色や音楽づくりに取り組みました。

続いて演奏しました「交響組曲『風の谷のナウシカ』3章」。宮崎駿監督のアニメーション映画で描かれている、戦争で文明が燃え尽き腐海と呼ばれる猛毒を発する森が広がる世界では、人々はマスクをしなければ生きていけません。2021年、現在も新型コロナウィルス感染症が世界中で猛威を振るっています。「当たり前」の尊さに気付いたコロナ禍の今、作品に込められた多くのメッセージとあたたかな音楽をお届けしたいと思いました。

本番で心ひとつにして表現することができたのは、運営に携わってくださった方々を始めとして、支えてくださった全ての方々あってのことと思っております。

この大変な状況の中、仲間と音楽を深く学び、創り、奏でることができましたこと、そして素晴らしい舞台で多くの方々と音楽で繋がる機会をいただきましたことに心から感謝しております。

この感動を胸に、すべての学びを糧にして、日々成長していくよう励みたいと思います。

## 各部門の報告

### マーチングバンド・バトントワリング部門

理事長 中村亮  
(山口県立宇部高等学校教諭)

#### 1 第43回山口県高等学校総合文化祭総合開会式式典においての慶祝演奏

#### 2 第43回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会・ 第72回山口県高等学校連合音楽会 →新型コロナウィルス感染症対策のため中止。

#### 3 第45回全国高等学校総合文化祭

令和3年8月2日(月)、和歌山県田辺市の田辺スポーツパークで開催されました。今年度も本県内の他行事と日程が近いこと、自校の行事との関係で参加は困難でした。

#### 4 マーチングバンド・バトントワリング部門総会

令和3年8月17日(木)、リモートにて実施し、加盟関係各校にご参加いただきました。2028年度に本県での開催が想定される全国高等学校総合文化祭の引き受けを見据え、令和5年度より同部門活動校での理事長引き受けについて議論を行い、承認されました。

#### 5 マーチングバンド・バトントワリング部門研修会 →新型コロナウィルス感染症対策のため中止。

## 各部門の報告

# 器楽・管弦楽部門

理事長 秋本 隆

(山口県立下関南高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部門では今年度、次のような事業を行いました。

1 第43回山口県高等学校総合文化祭総合開会式慶祝演奏  
下関支部合同管弦楽団（下関中等教育学校・下関南高校）による演奏  
新型コロナ感染症拡大防止により中止

2 第45回全国高等学校総合文化祭（2021 わかやま総文）  
期日：8月2日～8月3日  
参加校：山口県立防府高等学校  
演奏曲目：ドビュッシー作曲 夜想曲より第2曲「祭」

3 第43回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会（代替企画）  
内容：各団体より提出された録音・録画音源の専門家による講評  
参加校

ギター・マンドリン＝岩国高  
管弦楽＝防府高・山口高・山口中央高・下関中等教育学校・下関南高  
講評者  
ギター・マンドリン＝高橋 香瑠先生  
(マンドリン奏者 広島県在住)  
管弦楽＝下野 竜也先生  
(指揮者 広島交響楽団音楽総監督)

4 令和3年度山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部会  
期日：12月6日（月）  
場所：下関南高校会議室  
議題：第40回器楽・管弦楽スプリングコンサート（下関大会）について

県総文、全国総文、高文連表彰、役員改選など

5 第40回山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽スプリングコンサート  
期日：令和4年3月28日（月）  
会場：下関市生涯学習プラザ  
主管校：山口県立下関南高等学校  
演奏団体：部門所属7校によるギター・マンドリン・弦楽合奏・管弦楽の演奏

本年度も県総文総合開会式慶祝演奏及び音楽4部門発表会は中止となりましたが、音楽4部門発表会については代替行事として各団体から提出された音源について、専門家の先生から講評していただきました。生演奏は叶いませんでしたが、専門家の先生からは山口県の器楽・管弦楽部門の各団体の演奏に対して、「演奏のレベルもさることながら、音楽に対して真摯に取り組む気持ちが伝わってきた」というお褒めの言葉をいただきました。これを励みに今後の活動を更に充実したものにしていきたいと思います。

また、来年度の全国総文祭（東京大会）については、柳井高校が本県代表として参加する予定です。素晴らしい演奏をされることを期待しています。

6 全国高等学校総合文化祭器楽・管弦楽部門参加報告

山口県立防府高等学校 3年  
弦楽部部長 福田桃伽  
私たち8月3日に第45回全国高等学校総合文化祭の国わかやま総文2021の器楽・管弦楽部門に出場しました。今回は、弦楽部、吹奏楽部の合同オーケストラで参加し、ドビュッシー作曲『夜想曲』より第2曲「祭」を演奏しました。この曲は祭の華やかな始まりから終わりの静けさを表現した曲です。盛り上がる所は少し難しかったのですが、本番では緊

張しながらも良い演奏ができました。練習期間が約3ヶ月と短い中、1回1回の練習を集中して行うこととで、弦楽器と管楽器のきれいなハーモニーを奏でることができました。

コロナ禍の中、本当に行けるのか不安な部分もありましたが、たくさんの方々の支援のおかげで参加することができ、とても良い経験ができました。和

歌山県の役員の方々もコロナ対策の対応をしてくださり、安心して演奏に臨むことができました。例年のような交流会はありませんでしたが、パンフレットなどで和歌山県のことを知ることができました。観光などはできませんでしたので、コロナが治まつたらまた和歌山へ観光しに行きたいと思います。



防府高校 和歌山大会練習風景

## 各部門の報告

# 日本音楽・郷土芸能部門

理事長 古田 正彦

(宇部鴻城高等学校教諭)

### 1 活動報告

日本音楽・郷土芸能専門部は、例年通りの慶祝演奏や発表会を予定していましたが、新型コロナウイルス変異株の流行により、当初計画の見直しをせざるを得ませんでした。発表会の主管である柳井高等学校が代替行事を企画・実施することで、各校発表の機会を得ることとなりました。

(1) 第43回山口県高等学校総合文化祭総合開会式式典においての慶祝演奏 下関市民会館  
参加校 下関南高等学校 箏曲部  
→新型コロナウイルス感染症対策のため中止

(2) 第43回山口県高等学校総合文化祭日本音楽・郷土芸能専門部発表会  
→新型コロナウイルス感染症対策のため中止し、代替行事を実施  
開催日 第1期 7月12日(月)～23日(金)  
第2期 10月4日(月)～15日(金)  
参加校 第1期 9校 第2期 3校  
講評 有富 美子(山口県合唱連盟理事長)

(3) 第45回全国高等学校総合文化祭(わかやま総文)  
日本音楽部門 和歌山市民会館  
開催日 7月31日(土)～8月1日(日)  
参加校 山口県立柳井高等学校  
→新型コロナウイルス感染症対策のため辞退  
感染者罹患者数が増加する中、文化庁が示す感染拡大予防ガイドラインに則り、調弦室の数を増やしたり、時間と人数制限を設けるといった厳戒態勢の中、実施されました。

(4) 日本音楽・郷土芸能専門部研修会  
11月30日(火) 宇部鴻城高等学校  
地域のお祭りや病院・介護施設での慶祝演奏  
が難しくなっており、発表の機会や地域とのつ

ながりをどのように創出していくのかが今後の課題と再認識しました。また、太鼓部の日々の取り組みについて視聴し、理解を深めました。

### 2 山口県高等学校総合文化祭代替行事を開催して

主幹校 山口県立柳井高等学校

箏曲部顧問 藤田恭子

昨年度に引き続き今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、日本音楽・郷土芸能部門発表大会の会場開催が中止になりました。それに伴い、日本音楽・郷土芸能専門部では、部活動に取り組んできた高校生のこれまでの練習成果を発表する機会として、演奏の様子を録音・録画したものを講師の先生に見ていただき、講評をしていただく「代替行事」を計画しました。

各校の行事などに合わせて、1校でも多くの学校が参加できるよう、「代替行事」は2期設定しました。第1期は7月12日から2週間、第2期は10月4日から2週間とし、第1期には6校、第2期には3校が参加しました。参加校は、演奏を録音したCDまたはDVDを主幹校である柳井高等学校に送付し、主幹校が講師の先生とのやり取りを行いました。講師の先生からCD等が主幹校に返却されたのち、講師の講評と一緒にCD等を参加校へ返却しました。

「代替行事」に参加した学校からは、生徒の感想として、「丁寧に講評していただき、また頑張ろうと思えた」「会場で披露できなかつたことは残念だが、これからも練習を続けていきたい」「昨年度から発表の場がなかつたので、高校最後の思い出になった」、顧問からは、「生徒が取り組む様子や、講評をいただき喜んでいる様子を見て、参加できてよかったです」という感想があがりました。

生徒たちは制限の多い学校生活を続けています。ホールに一堂に会し、演奏を他校の生徒に聞いてもらったり、他校の演奏を聞いたりするという経験は、この2年間ほとんどできていません。

今後、早い時期に、発表大会の会場開催ができる  
ことを願ってやみません。



地域の音楽祭での慶祝演奏（宇部鴻城高等学校）



日々の練習風景 全国大会を目指して全集中！（柳井高等学校）

## 各部門の報告

# 美術・工芸部門

理事長 島田 憲貢

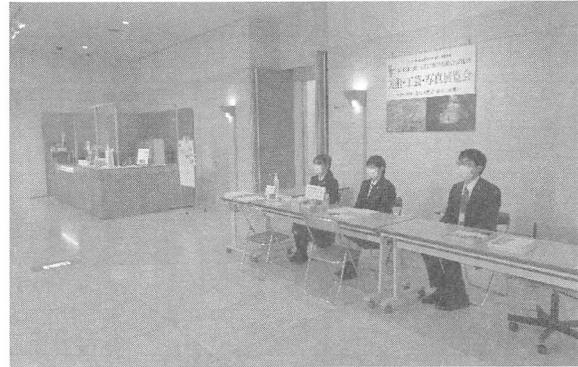
(山口県立柳井高等学校教諭)

令和3年度美術・工芸部門の活動について報告いたします。

### 1 第43回山口県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門

11月12日から14日まで、周南市美術博物館で開催しました。本年度の美術・工芸部門には県内31校より124点の出品がありました。内訳は平面120点、立体4点でした。例年のように質の高い作品が多く、平面では79点の作品が50号やB1の出品規定最大のサイズでした。審査で25点が優秀賞に選ばれ、さらにその中から6点が来年度の全国高等学校総合文化祭(とうきょう総文2022)の出品候補作品に選ばれました。

本年度も、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から参加者全体での講評会は行わず、審査の経緯等を紹介したのち、来場した生徒で講評を希望する者に対し、審査員が手分けをして、個別に作品講評を行いました。



#### 優秀賞(全国高総文祭出品候補作品)

学校名	氏名	学年	題名	大きさ	種別
岩国総合高等学校	近藤 想良	2	脱却サラリウム	F 50 横	絵画
徳山高等学校	岡嶋 美栄	2	恍惚	S 50	絵画
防府西高等学校	高橋 みみ	2	瞄	S 50	絵画
防府西高等学校	吉本 夕姫	2	消化不良	縦 92 cm × 横 92 cm × 高さ 130 cm	彫刻
下関南高等学校	田中 千友	2	つかれる	F 50 縦	絵画
慶進高等学校	小川 翔大	2	青年の上裸	F 50 縦	絵画

#### 優秀賞

学校名	氏名	学年	題名	大きさ	種別
周防大島高等学校	木村 優香	2	186-お 上段	F 50 縦	絵画
岩国高等学校	村中 尚斗	3	error	B 1 横	デザイン
岩国高等学校	岩崎 奈津	2	狭い世界	S 50	絵画
柳井高等学校	福田 彩華	2	近所の宝猫	F 50 横	絵画
光高等学校	竹中 渚	2	拒絶	B 1 縦	絵画

光丘高等学校	藤本 春花	3	ながれ、うつりかわる	F 30 縦	絵画
下松高等学校	中村 水咲	2	平行世界	B 1 縦	絵画
下松高等学校	山根 歌多	1	眠れない人	B 1 縦	デザイン
徳山高等学校	深町 さくら	1	いつもそばに	P 40 縦	絵画
防府西高等学校	堀内 咲希	2	希望	B 1 縦	絵画
防府西高等学校	松永 瑠恋	2	主張	B 1 縦	デザイン
宇部西高等学校	竹下 海心	2	聖衣	F 30 横	絵画
田部高等学校	肥喜里 ほのか	2	赤い街の集会	B 1 縦	絵画
下関南高等学校	中山 萌々子	2	不可逆謝落	F 50 縦	絵画
下関中等教育学校	福田 愛佳	1	儂い	F 50 縦	絵画
下関商業高等学校	林 夏希	3	理想と私のいたちごっこ	B 1 縦	デザイン
野田学園高等学校	橋本 晴奈	2	贈り物	B 1 縦	絵画
サビエル高等学校	藤田 美月	3	ねころぶ	F 50 横	絵画
サビエル高等学校	木根 洋	2	夢と現実との狭間	B 1 横	絵画

## 2 第45回全国高等学校総合文化祭(わかやま総文祭)美術・工芸部門

本年度の全国総文祭は、昨年度から爆発的な感染拡大で猛威をふるっている新型コロナウイルスの感染予防対策のもと、令和3年7月31日(土)～8月4日(水)の5日間、全国の都道府県で選ばれた絵画、彫刻、デザイン、版画、工芸、映像等394点の優れた作品が、和歌山県立近代美術館と和歌山県立博物館、和歌山県民文化会館展示室に展示されました。全国展の展示は都道府県別の展示となっており、和歌山県立博物館に工芸、彫刻、映像の作品が展示され、基本的に一段掛けの展示でした。一部の立体作品は、平面展示室のスペースに周囲から鑑賞できる形で展示されていました。また、昨年度のうち総文祭から行われるようになったWeb美術館も公開となっていました。本県から出品した6点の作品も、それぞれに作者の思いや気持ちが込められた完成度の高い作品として、全国の作品に引けを取ることなく展示されていました。

また、全国大会参加校間の交流については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、和歌県での現地交流会は自粛となったものの、Web交流会が昨年同様、企画開催されました。本年度は、Zoomを使って、互いの顔を見ながらリモートで意見交換等が行われました(鑑賞交流会)。参加した各学校、各生徒達による、様々な発想や発見などのやりとりが展開されました。全国のレベルの高い作品を鑑賞した本県の生徒達も大きな刺激を受け、美術文化活動への関心を深め、今後の表現力を高める原動力にもなったこと思います。なお、この大会では優劣をつける審査等は実施していません。

以下、参加した生徒のみなさんより感想をいただいています。

山口県立岩国高等学校 3年 井上 隆之介

題名「GLOBAL PARADE」

同年代の  
作品を間近  
で見る機会は  
なかなかない  
ので貴重な  
体験になっ  
た。題材や画  
材、構図が多

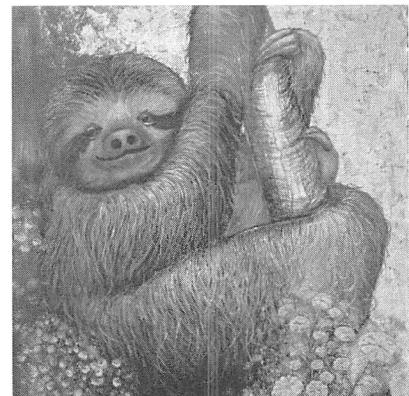


種多様で、「そういう描き方・作り方もあるんだ。」という発見  
がたくさんあって面白かった。特に物理法則をモチーフと  
して利用した作品には驚かされた。機会があればまた見  
に行きたいと思う大会だった。

山口県立柳井高等学校 3年 吉松 晓羽

題名「しがみついていタイ」

新型コロナウイ  
ルスの影響が  
懸念される中  
ではありまし  
たが、和歌山大  
会へ参加する  
ことができと  
ても嬉しく思いま  
す。交流会は  
後日オンライ

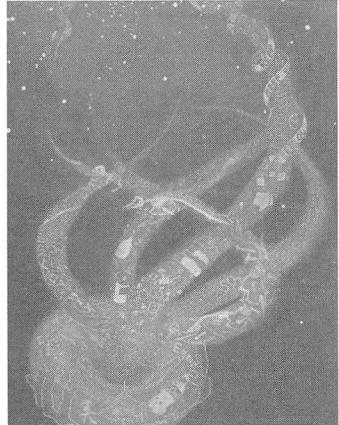


ンでの開催となり、他の都道府県の生徒さんとの交流がで  
きず残念でしたが、県内の同士と実際に全国の作品を見  
たことはとても良い刺激になりました。この経験をこれから

の作品制作に生かしていきたいです。

山口県立徳山高等学校 2年 岡嶋 美絃 題名「浮世」

美術的な感情表現の方法を沢山学ぶことができてとても楽しかったです。また、自分が感動を覚えた作品の制作者に会えることにも魅力を感じた大会でした。これからもっと発展した絵を3年では描けるように頑張ろうと思いました。大会での貴重な経験を、これからの制作に生かせていたらと思います。



山口県立防府西高等学校 3年 藤田 一花 題名「アトリエ」

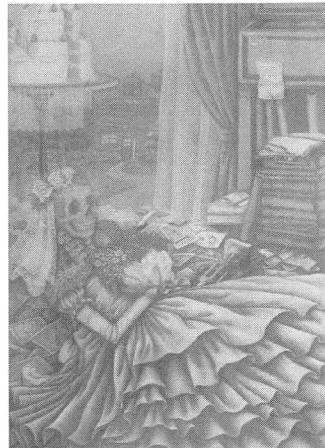
全国高等学校総合文化祭では、貴重な体験をすることができました。全国から集まった素晴らしい作品を鑑賞することができ、たくさんの刺激を受けました。山口県の出品者とも交流ができたことが嬉しかったです。大変充実した2日間でした。大会に参加した経験や学んだことを、これからの制作活動に生かしていきたいです。



山口県立田部高等学校 3年 池田 七子

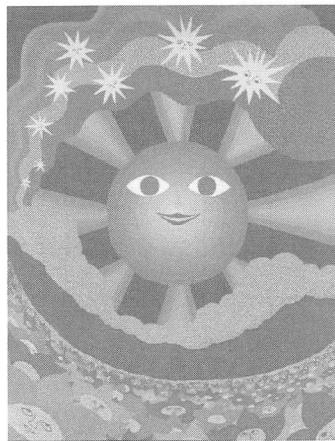
題名「思い出と共に」

初めて全国高校総文に参加し、全国作品のレベルの高さに驚くとともに、自分の作品もそれらと並んでいるのかと思い、感動しました。全国作品には自分では思いつかないようなアイデアが詰まっており、学ぶことがたくさんありました。学んだことや感じたことを一つも無駄にすることなく、これからの自分の作品に生かしていきたいと思います。



サビエル高等学校 3年 山根 采奈 題名「eccentric」

全国高等学校総合文化祭では、全国の高校生の作品を間近に見ることができ、とても多くのことを学びました。また、交流会では、作者の絵に対する思いを知ることができ、思っていた以上に、良い経験になりました。同じ年齢なのに、こんなにすごい人達がいるんだと思うと、もっと頑張ろうという気持ちになりました。



### 3 美術・工芸専門部連絡協議会および研修会

本年度の美術・工芸専門部連絡協議会および研修会は、新型コロナウイルス感染防止のためZoomによるリモート開催となりました。全国総文祭の報告や今後の全国総文祭の動向についての確認を行い、あわせて全国総文祭の運営に関する審議事項の内容について意見交換がなされました。本県の今後の美術・工芸部門の運営や、県総文祭美術・工芸展覧会などについて、活発な意見が出され、今後に向けてさらに審議を進めていくことが確認されました。また、審議事項については、追加の議案等も提出されたことを受けて、本連絡協議会報告とともに追加審議事項として各学校へ送付し、審議を継続していくことになっています。

その他、一昨年度より開催を模索してきた生徒対象の実技講習会についても、本年度実施の連絡協議会のリモート開催を受けて、これのノウハウを生かしたWebでの開催について進めているところです。本年度中に実技講習会を開催し、今後の礎にできればと考えています。

また、来年度、令和4年度の実施に向けて、さらに審議を重ね、リモートや文書決裁等を活用しながら様々な実施形態や内容等を模索し、今後の開催につなげられるよう現在も調整を行なながら進めているところです。

## 各部門の報告

# 書道部門

理事長 鏡 証 子

(山口県立美祢青嶺高等学校教諭)

### 1 書道部門活動報告

#### (1) 第 22 回高文連書道部門生徒研修会

9月 18 日（土）山口県セミナーパーク  
→新型コロナウイルス感染症拡大防止の  
ため中止

#### (2) 第 43 回山口県高等学校総合文化祭

開催日：11月 6 日（土）、7 日（日）  
会場：おのだサンパーク大催事場  
出品校数：17 校  
出品点数：81 点

おのだサンパークで開催するようになり、4 年目を迎えました。地域に、「秋に高校生の書道展がある」と定着しつつあり、毎年楽しみに来場される方もいらっしゃいます。今年度も講評会は実施できませんでしたが、会場に来た出品生徒が他校の教員からもアドバイスをもらう姿が多くありました。審査の結果は以下の通りです。最優秀賞を受賞した 3 名は、第 46 回全国高等学校総合文化祭「とうきょう総文 2022」へ出場します。

#### 《最優秀賞》

防府高等学校	2年	有松 優
山口高等学校	2年	秋本 優花
下関商業高等学校	1年	黒田 真衣佳

下関南高等学校	2年	森本 美咲
下関南高等学校	2年	安部 成美
下関中等教育学校	2年	岸本 紗弥
早鞆高等学校	2年	山城 千颯

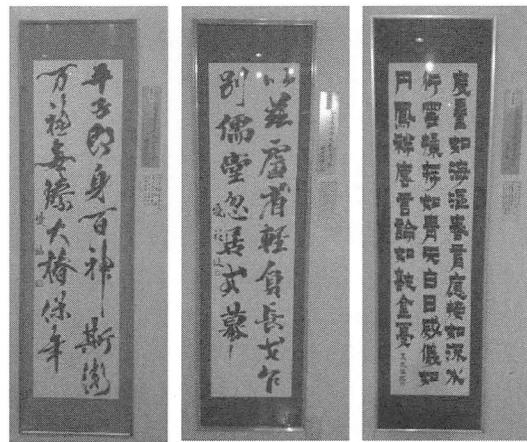
#### 《奨励賞》

岩国高等学校	2年	中道 朱音
岩国総合高等学校	3年	廣本 未来
徳山高等学校	2年	山口 颯
美祢青嶺高等学校	3年	石田 心海
下関西高等学校	2年	小島 愛結
中村女子高等学校	1年	松井 愛実
野田学園高等学校	2年	磯部 聖樹
萩光塩学院高等学校	2年	宮内 美咲



#### 《優秀賞》

岩国商業高等学校	3年	正木 来夢
防府高等学校	2年	和田 彩花
山口高等学校	1年	水野 結衣
宇部西高等学校	3年	渡邊 梨都子
長府高等学校	1年	岸田 梨々花



## 2 第45回全国高等学校総合文化祭 (和歌山大会)

昨年はWEB総文となった高知大会でしたが、今回の和歌山大会は現地に行って鑑賞、交流することができました。展示会場の白浜町立体育館には、全国から選抜された力作が並び、まさに圧巻でした。線質、墨色、構成など多種多様なアイデアによる作品は、指導者の学びにもなります。

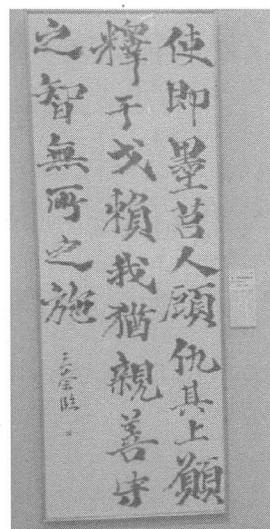
交流会は、時間を短縮して行われました。紀州漆器風の文鎮への揮毫と、和歌山の名産を模ったカードに、予め用意した言葉を書いて張り合わせた「結実の木」制作を行いました。他県の生徒と会話をしながら、和やかに制作する姿勢が見られました。動画による説明や、生徒実行委員のサポートにより、参加生徒の行動は最小限に抑えられ、感染症対策は徹底されていました。

### 参加生徒感想

○山口県立宇部西高等学校 3年 河村三奈

今回のわかやま総文2021に行って、最初は不安でしたが、行ってみるとたくさんの作品を見て、とてもワクワクしました。他県の作品を見ていくと、自分が見たことも、書いたこともない作品を目にして、「こんな作品があるんだ」「すごい」など、たくさん感情がこみ上げてきました。

そして、たくさんの素晴らしい作品の中に自分の作品があって、すごくうれしい気持ちになりました。今回、私は行書の『光明皇后樂毅論』を書きました。他の方で『樂毅論』ではないですが、行書を書いている方がたくさんいて、特に私が注目したのは、北海道札幌稻雲高等学校3年の長崎くるみさんの作品、『寒暁』



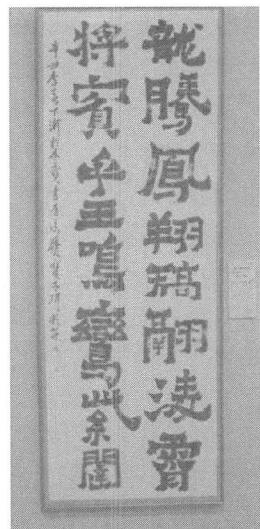
です。最初に行書と聞いたときはとても驚きました。行書に見えませんでした。そして、『雲』の墨の色も薄く、とても力強くてすぐに目に留まりました。

他にもたくさん素晴らしい作品があって楽しかったです。交流会では友達ができ、作品や出身地についてなど、たくさんのこと話をしました。

山口県の代表として一緒に行った長府高校の村上さんともすぐ仲良くなつて、3日間のとても短い期間でしたが、村上さんのおかげでこのわかやま総文も楽しい時間になりました。とても感謝しています。たくさんことを学べたので良い経験になりました。

○山口県立長府高等学校 3年 村上彩菜

私は今回、全国高等学校総合文化祭に出品するにあたり、『爨宝子碑』を臨書しました。最初は上手く古典の良さを表現することができず悩みましたが、学校での課題研究で古典の研究を行ったこともあり、楷書と隸書が混合している『爨宝子碑』の魅力を知ることができました。そして、特徴的な線を大胆に書くために文字の大小の変化や、墨の潤渴を意識して書きました。実際に和歌山県で多くの人の作品を見てみると、字形や作品の構成に個性がありその人の努力を感じとても感銘を受けました。



一緒に参加した宇部西高校の河村さんと親睦を深めることができ、今まで部員が一人だったので仲間ができたようで嬉しかったです。また、結実の木プロジェクトで他県の方とも交流して、作品について話を聞くことができ勉強になりました。

今回の全国高等学校総合文化祭を通して、自分自身新たな表現方法を身に付け大きく成

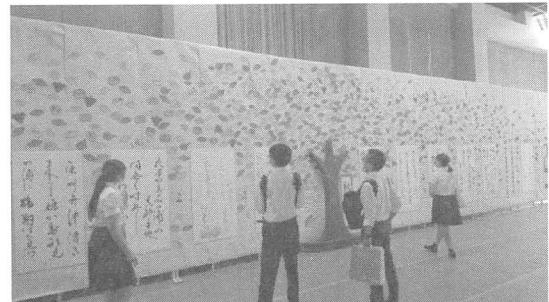
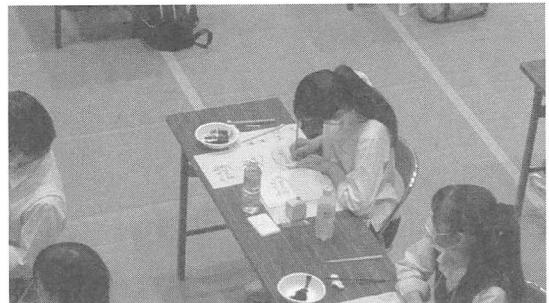
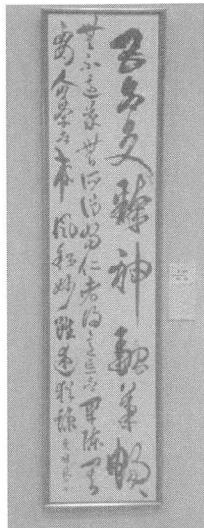
長できたと感じています。卒業後もこの経験を生かしていきたいと思います。

○山口県立下関南高等学校 3年 桧谷愛唯

この度、全国高等学校総合文化祭への出場できましたことを、大変光栄に思います。新型コロナウィルス感染症の影響による様々な規制がある中、総合文化祭を企画、開催していただきたすべての関係者の皆様のご尽力に、心から感謝いたしております。

総合文化祭に向けての作品制作や審査などを通じて、私は全国大会の厳しさを実感しました。入部当初から全国の総合文化祭への出場を目標に日々練習に取り組んできましたが、ひとつの作品制作に専心することで、改善すべき点がより細かく多くなっていき、満足できる作品を仕上げることの難しさを何度も痛感しました。また、全国から厳しい審査を通過して選抜されたすべての作品を拝見し、その素晴らしいに魅了されました。同じ法帖であっても、表現の仕方や構成により全く異なった印象を受けたり、自分の作品と他の人の作品とを比較して、共通点あるいは明らかな差異に気づいたりすることで、書道の奥深さを新たに見出すことができました。

今後は、大会を目標にするだけでなく、古典を純粹に味わったり楽しんだりすることで、書道と関わっていきたいと思います。最後に、熱心にご指導していただきました先生方、本当にありがとうございました。



## 各部門の報告

### 写真部門

理事長 尾崎 勝利

(山口県立周南総合支援学校教諭)

令和3年度の山口県高文連写真部門の活動状況について報告いたします。

#### 1. 令和3年度第45回全国高等学校総合文化祭（紀の国わかやま総文2021）写真部門

全国高校総文写真部門は全国展・企画展が8月1日～5日の期間に、和歌山県立橋本体育館で行われました。各都道府県の代表作品が展示される全国展には、全国高校生の撮影した優れた作品が数多くあり、写真の取り組みに対する意識の高さが感じられ、見応えがあります。本県からも5点の作品が出品されました。なかでも防府高等学校の森みなみさんの作品「公然の秘密」が、全国上位30点にあたる奨励賞を受賞しました。

#### 2. 第43回山口県高等学校総合文化祭展示部門

11月12(金)～14日(日)周南市美術博物館において県総文展示部門の作品展示が美術・工芸部門と同時に行われました。今年度は14校107点の作品の応募がありました。コロナ感染症拡大により展示を行わなかった昨年度よりも、さらに14点少ない参加であったのは残念です。写真部の数や部員の減少により、各校の年ごとによる部員数の増減により出品数が左右される現状です。部員数や出品数は他県と比較してかなり少ない状況であり、今後の部員数の増加や活動の活性化に課題を残しています。今後は写真部・美術部の垣根を超えた写真の啓発により、写真部会の活性化ができればと考えています。また例年、審査員としてプロカメラマンである（社）日本写真家協会会員のタカオカ邦彦氏を迎える、プロによる評価・講評を続けています。今年度は審査の結果19点が優秀賞に選ばれ、そのうち5点が全国高校総文への出品候補作品となりました。最終日の講評会ではタカオカ氏からのていねいな講評があり、参加された生徒・顧問の皆さんも学ぶことが多かったのではないかと思います。

準備・運営に携わってくださった役員の先生方、また補助員の生徒の皆さんに感謝いたします。

3. 展示部門の会期最終日に徳山駅前賑わい交流施設の交流室に於いて、タカオカ邦彦氏による写真研修会があり、31名の参加がありました。午前中は県総文祭作品の入賞作品講評会の後、参加生徒が提出した作品を講評する研修会を行いました。今回の研修の提出作品のテーマは「自分らしさを追求した写真」でした。作品をスクリーンに投影し、作品に対する本人の説明の後、生徒たちが講師からの講評・アドバイスを受けるという対話重視の研修を体験しました。なお施設使用料につきましては周南市が負担してくださいました。感謝いたします。

また、1～2月には生徒・顧問から提出された作品に対して、タカオカ氏による作品講評がなされる、という形での研修会を行います。

今後も同様な形で研修会を開催し、写真部員の技術向上に役立てたいと考えています。

#### 4. その他の活動

第28回全国高等学校写真選手権大会（写真甲子園2021）の本戦出場校を決める中国ブロック決勝5校に、下松高等学校と防府高校の2校が進出し、中国ブロック審査会を経て防府高等学校が本戦出場しました。なお審査・講評など全ての取り組みがWeb上で行われました。本県からの写真甲子園本戦出場は昨年の下松高校に続き、2年連続であり、全国で毎年500校近くの応募がある中で18校しか本戦に出場できないことを考えると、これは快挙と言っても過言ではないでしょう。また、公益財団法人山口きらめき財団より、高校生の写真部活動に対する予算措置（助成）を取り組みの提案があり、山口きらめき財団と県高文連との共催の形で「高校生のための写真講習会」を10月16～17日の1泊2日で、秋吉台国際芸術村にて行われました。高校生（写真部であるかどうかは問わ

ない）に対し、写真家 藤岡亜弥氏を講師に迎え、撮影会・提出写真をもとにした研修・講師の講演会を行いました。宿泊費を含む参加費は無料（食費は自己負担）であり、施設の最寄駅からの無料送迎バスも準備されました。参加定員は40名でしたが、4校25人の参加でした。また、10月23～24日、周南市の徳山下松港開港100周年記念事業として、周南市・下松市・光市の高校写真部の生徒を対象に、写真家 藤岡亜弥氏を講師に迎え、「周南市高校生写真大会」が開催され、4校21人が参加しました。参加費・昼食代は無料。内容は初日に3人1チームでの撮影会・講師による組写真作成についてのワークショップがあり、最終日にはチーム撮影・組写真作成・審査発表（審査員：藤岡亜弥氏・周南市美術博物館館長 有田順一氏・カメラマン 川上優氏）・表彰が行われました。周南市の事業である性質上、周南地域の高校生を対象としたものであります。次年度からは地域外の県内高校写真部も招待して行う予定のことです。

以上のように写真甲子園本戦出場など全国レベルで熱心に活動している部も存在します。また、山口きらめき財団や周南市の取り組みのように、写真部活動に手を差し伸べ、応援してくださる外部団体も存在します。本当に感謝しています。しかし山口県の高校写真部では、部活動の廃部や活動縮小、定着しない顧問配置など、写真部活動が全く重要視されていないと考えざるを得ない状況が何年も続いています。また、写真専門部の取り組みに対する各学校での周知にも課題が見えます。われわれ生徒と向き合う者は、文化活動に対して意欲ある生徒たちを応援していく存在であって欲しいと切に願います。

#### 山口県立下松高等学校 3年 池本 茜衣

わたしにとって紀の国わかやま総文は非常に有意義な時間でした。それは、たくさんの方との出会いがあったからだと思います。また写真は単に記録を撮る道具ではなくて、人と人を繋ぐとても素敵なツールであることを体験し学ぶことができました。

はじめのオリエンテーリングでは全国の同じ写真を学ぶ高校生たちと作品について話すことができました。いつもとは違う視点での意見をもらえたのは面白く新鮮でもありました。さらに翌日は和歌山市

内で撮影会が行われ、大会参加者だけではないたくさんの地元の方とも接することができました。カメラを持ち歩いていることで、町の人にも声をかけてもらえて話すことで地元のことを理解することもできました。まったくの初対面であっても1つのことをきっかけで繋がれることができると知れたことが良い経験になりました。それは地元の方たちの理解とご協力のおかげでできたのだと思います。

この大会をきっかけにわたしもたくさんの人に自分の地元である山口県のことや写真の楽しさなどを伝え、繋げていきたいと思いました。写真を通じて視野が広がり、様々なことを見て、感じて、触れて、美味しいものも食べて、たくさんの人と出会い、感動が生まれました。このような体験を多くの人にしてもらいたいと思います。

最後に、コロナ渦の中で大会に参加することができたことに感謝の気持ちとともに、とても嬉しく思います。本当にありがとうございました。

#### 山口県立防府高等学校 2年 森 みなみ

この度、紀の国わかやま総文に参加させていただき、普段の学校生活だけでは絶対に得られない貴重な体験を得られ、自分自身の写真の成長に繋がるような見聞を広めることができました。このような機会をいただけたことをとてもうれしく思っています。

入賞した全国の高校生たちの写真展示を始め、地元・和歌山の学生の方々が架け橋となってくださって行えた交流が私の中でとても印象に残っています。それぞれ岡山県と長野県から来られていたお二人と交流しましたが、その際いただいた自己紹介カードや自分の入賞写真への感想のカードを収めたオリジナルファイルは、総文を終えて暫く経った今でも時折見返して楽しんでいます。

自分よりずっと高みにいる同年代の学生たちの写真を間近で目にし、そして彼ら彼女らと一堂に会するという経験は、自分にとって大きな刺激を受けざるを得ないものでした。撮り方やアイデア次第で私たち高校生の写真はこんなにも瑞々しく輝くのだという事をたくさんの方に学び、私もこの経験をもとに自分の感受性を高めてよりハイレベルな作品作りを目指していきたいと強く感じました。

このような機会に恵まれなければ絶対に訪れられなかった土地を踏み、素敵な場所もたくさん知ることができました。この経験を、これからに余すことなく活かしていきたいと思います。

全国高等学校総合文化祭(紀の国わかやま総文 2021)  
出品作品

※ 「」内は作品の題名

下松高等学校

「風立つ」 池本 茜衣 (2年)  
「忘れかけた音」 仲田 理乃 (2年)



山口農業高等学校

「女子高生」 田中 桜花 (2年)



防府高等学校

「挑む」 津森 永遠 (1年)  
「公然の秘密」 森 みなみ (1年)



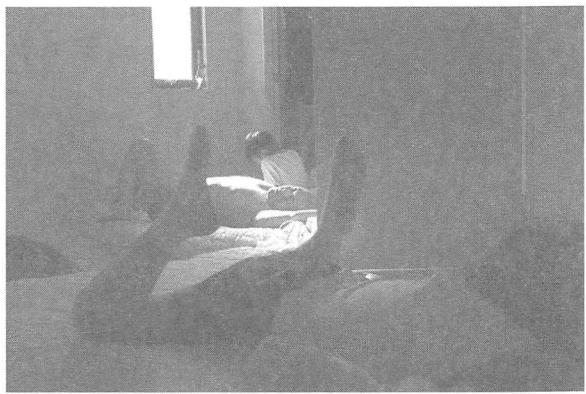
全国奨励賞 「公然の秘密」 森みなみ



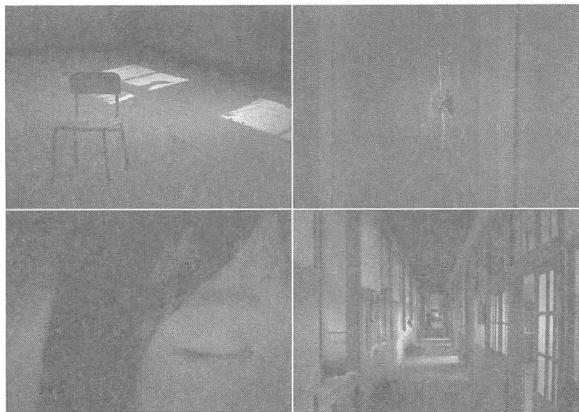
「雨上がり」 丸子美花



「久しぶり！」 津森永遠



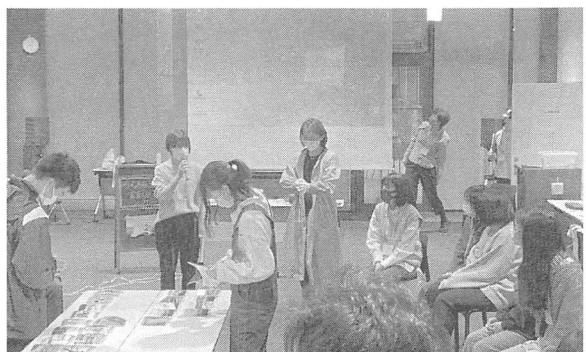
「夢中」 橋本唯



「無いある」 吉川桜優



表彰式



周南市高校生写真大会（徳山駅前図書館）



高校生のための写真講習会（秋吉台国際藝術村）

## 各部門の報告

# 放送部門

理事長 向井 俊恵

(山口県立山口高等学校教諭)

第45回全国高等学校総合文化祭(2021わかやま総文)は、8月4日と5日に和歌山県伊都郡かつらぎ町で行われました。昨年度は、NHK杯全国高校放送コンテストは中止、全国総文はオンライン開催、今年度に入ってもNHK杯はオンライン開催…と発表の場がしばらく限られていた中、このわかやま総文は久々のリアル開催の大会でした。当時は隣接の大坂府が非常事態宣言下で、感染を心配する出場者には、予め録音した音声を会場で再生するというかたちでの参加(審査対象外)も認められました。山口県勢は惜しくも入賞には届きませんでしたが、アナウンス部門や朗読部門では出場ブロックで2位や3位に入る者もあり、健闘したと思います。何より、大きな大会の雰囲気を生で味わえたという意味で、生徒にとっては有意義な機会となりました。

第45回全国高等学校総合文化祭(紀の国わかやま総文2021)放送部門出場者

#### 【朗読部門】

最優秀 高野 紗希 (山口高校2年)  
優秀 小笠原 涼乃 (下松高校2年)  
〃 津田 晴香 (山口高校3年)

#### 【アナウンス部門】

最優秀 伊藤 蒼彩 (徳山高校3年)  
優秀 中山 ひかる (光高校2年)  
〃 渡邊 葉 (山口高校2年)

#### 【ビデオメッセージ部門】

最優秀 「ソフトな、わ・わ・わ」 (山口高校)  
優秀 「Idea -イデア-」 (岩国高校)

#### 【オーディオメッセージ部門】

最優秀 「守トーン」 (岩国高校)



全国総文に出場した、

徳山高校放送部3年生の伊藤蒼彩さん

今回のわかやま総文は、私の放送部人生の集大成となる大会でした。

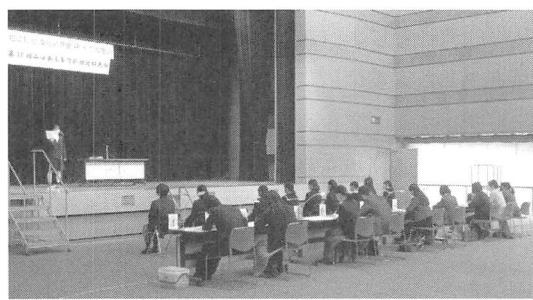
私はアナウンス部門に出場し、周南市の工場夜景の魅力を1分30秒の原稿にまとめて発表しました。原稿は、どうすれば夜景の美しさがより伝わる表現になるか、顧問の先生や部員のみんなにもアドバイスをもらい、試行錯誤して完成させました。読みは本番直前まで先生と話し合って自分が納得できるものに仕上げました。講評では、「工場夜景を見に行きたくなった」、「景色が気になる」などと書いていただき、興味を持っていただけたようでした。私の生まれ育った町に関心を寄せていただけたことはとても嬉しく、放送部としての役割を果たせた達成感がありました。また、大会が録音審査ではなく、実際に会場で行われたことで、その場の雰囲気に合わせて伝えることの難しさや、緊張感を味わうことができました。

私は、放送部に入って自分自身の成長を感じることができました。実は、取材をするのも原稿を書くのも本当に苦手で、1年生の頃は自分の聞きたいことや書きたいことをまとめられず、原稿は3文程しか書けませんでした。読みは、工夫したつもりでも単調になってしまふことがほとんどで、どう変えていくかが私の課題でした。うまくいかないことが多い、部活を続けることを負担に思ったことは少なくありません。そん

な私も気付けば3年生になり、苦手だったことは前よりも苦労せずに出来るようになっていました。振り返れば、3年間で積み上げてきたものはとても大きかったように思えます。

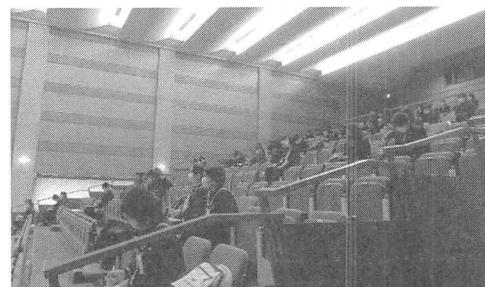
山口県は他県と比べ放送部の人数が少ないですが、自校の生徒とはもちろん、他校の生徒とも仲が良く、切磋琢磨してきました。しかし、新型コロナウイルスの影響で研修会などの交流の場がなくなり、なかなか生徒同士で関わりが持てていません。後輩たちには、コロナ禍が収束したら以前のように交流を深めて、お互いを高め合ってほしいです。山口県の放送部が益々発展して活躍の場が増えしていくことを願っています。

2 第43回山口県高等学校総合文化祭第28回放送部大会は11月6日（土）に実施しました。参加数は、朗読部門27人、アナウンス部門25人、オーディオメッセージ部門2校2作品、ビデオメッセージ部門6校6作品となりました。今年度は読みの部門（アナウンス部門と朗読部門）のみ山口県健康づくりセンターにてリアル開催、番組部門（オーディオメッセージ部門とビデオメッセージ部門）は同日にデータ審査というかたちとなりました。番組部門については後日Google Drive上で公開し、Google Formを使って生徒や教員の感想を集めました。例年は、午前中に読みの部門を終えて午後から番組部門の公開及び審査を行っていましたが、昨年度からは、前理事長の田中祐子先生が感染リスクを最小限にするために確立してくださった方法で実施しています。今年度は新たに読みの部門で、全ての参加者に予め自分の読みを録音してその音源データを提出してもらうという方法も加えました。参加者個人の出場が難しくなったり、大会自体のリアル開催が難しくなったりした場合に、データ審査に切り替えやすくするための方法で、コロナ禍でのスタンダードになりつつあるようです。



ステージ発表の様子

この大会の上位入賞者は令和4年2月5日（土）6日（日）に広島県で開催される第7回中国地区高等学校放送コンテスト、並びに、令和4年8月3日（水）4日（木）に東京都で開催される、第46回全国高等学校総合文化祭（とうきょう総文2022）放送部門に参加します。今年度の中国大会は、出場者を例年より絞ったり、先述したように読みの音源データを事前に提出させたりと、リアル開催とデータ審査両方に備えて準備されていて、運営側の苦心がうかがえます。リアル・リモートどちらの開催になつても、生徒・顧問にとて安心かつ有意義なものになればと思います。



学校ごとに分散して見学する参加者

#### 山口県大会結果（エントリー番号順）

##### 【アナウンス部門】

最優秀	高野 紗希	山口高校 2年
優秀	中山 ひかる	光高校 2年
優秀	渡邊 菜	山口高校 2年
以上3名全国大会出場		
入選	山本 陽花	徳山高校 1年
入選	秋本 結衣	下松高校 1年
入選	星野 香菜	下関西高校 2年
入選	武居 美怜	下松高校 2年
入選	坂本 凜果	下関西高校 2年
以上8名中国大会出場		

##### 【朗読部門】

最優秀	小笠原 涼乃	下松高校 2年
優秀	馬木 華歩	柳井高校 2年
優秀	吉田 朱音	山口高校 1年
以上3名全国大会出場		
入選	井上 幸紀	山口高校 1年
入選	佐藤 桜子	下関西高校 2年
入選	末永 陽菜	山口中央高校 2年
入選	弘永 操奈	熊毛南高校 1年
入選	林 志磨	光高校 2年
以上8名中国大会出場		

**【オーディオメッセージ部門】**

最優秀 「いわくにのうた」 岩国高校  
以上 1 作品 全国大会出場

入選 「78.4MHz ~地域への思いをのせて~」  
華陵高校  
以上 2 作品 中国大会出場

**【ビデオメッセージ部門】**

最優秀 「医療現場で闘うスイマー」 光高校  
優秀 「未来へ託す」 山口高校  
以上 2 作品全国大会出場

入選 「卵がつなぐ人と人 ~コロナ禍の彼方に  
見えるもの~」 山口農業高校  
以上 3 作品中国大会出場

**3 おわりに**

コロナ禍は始まって 2 年目になり、大会のリモート開催については、次第にノウハウが出来てきましたが、やはり大きなホールで発表する充実感に勝るものはないと思います。また、学校を超えた生徒同士の交流がこの 2 年間全く途絶えていることも気になります。山口開催の中国大会を来年に控えている中、顧問も生徒も団結する必要があり、これは特に切実な問題です。例年年 3 回開いている研修会は、通常通りの実施は今年も叶っていません。全国大会出場者を対象に、原稿や音源のリモート添削を行ったのみです。今後近いうちに、生徒全員を対象に研修会を開催できればと思い、今はその方法を模索しています。

# 第43回山口県高等学校総合文化祭・第28回山口県高等学校放送部大会開催要項

## I 趣旨

豊かな創造性と未来への展望を持つ人間として成長を目指す高校生の放送活動の振興を目的とし、併せて山口県高等学校における芸術文化活動の発展向上に寄与する。

2 主催 山口県高等学校文化連盟 山口県 山口県教育委員会

3 主管校 山口県立山口高等学校

4 実施形態 新型コロナウイルス感染症拡大の状況に応じて、①または②の形態で行う

① 県の感染レベルステージⅡ以下、かつ学校クラスターが発生していない場合：

読みの部門はライブ実施、番組部門はデータ審査

この場合も、読みの部門の出場者は全員音源を提出し、データ審査にも対応できるようにする。

② 県の感染レベルステージⅢ以上、またはステージⅡ以下でも学校クラスターが発生した場合：

読みの部門、番組部門ともにデータ審査

\*①、②のうちどちらの形態で行うかは10月22日（金）の時点で判断し、決定する。

決定後も、県や県教育委員会からの自肅要請などがあれば、実施形態の変更、中止もありうる。

5 日時 令和3年11月6日（土） 14時から17時まで（13時開場準備）

(1) 読みの部門（アナウンス・朗読）

①の場合、ライブ審査

②の場合、専門職（アナウンサー）審査員と顧問のみ参加し、会場にてデータ審査

(2) 番組部門（オーディオメッセージ・ビデオメッセージ）

①、②のいずれの場合も同日に専門職審査員（KRY）によるデータ審査

6 会場（読みの部門のみ）

山口県健康づくりセンター 多目的ホール（第1研修室、看護指導室）

〒753-0814 山口市吉敷下東3丁目1-1 電話番号 083-934-2200

7 実施部門

(1) アナウンス部門

郷土（山口県）の話題を全国の高校生に伝える自作原稿を作ります。発表時間は学校名、氏名を含めて1分30秒以内とします。

(2) 朗読部門

郷土（山口県）にゆかりのある作家または作品の中から原文のままを一部選んで原稿とします。発表時間は学校名、氏名、作者および作品名を含めて2分以内とします。ゆかりのある作家及び作品とは、山口県生まれではなく、山口県で中学、高校時代を過ごした作家の作品でも可（例 重松清）というように広義に解釈してもかまいません。郷土色の関連性が強いかどうかは評価の対象とはしません。

(3) オーディオメッセージ(AM)部門

←中国大会の変更事項を踏まえて変更済み

ア 郷土（山口県）に関する話題を取り上げた作品とします。発表時間は5分以内とします。ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など手法は問いません。

- イ ステレオ音声を主とした作品（画像は使用しないでください）を一つのmp3のデータ形式で保存してください。  
ウ 著作権などの処理については出場各校で所定の手続きをしてください。

#### (4) ビデオメッセージ（VM）部門

- ア 郷土（山口県）に関する話題を取り上げた内容で、発表時間は5分以内とします。  
イ 自校オリジナルのビデオ作品とします。  
ウ 作品を拡張子がmp4 (H.264 コーデック、アスペクト比16:9) のデータ形式で保存してください。  
エ 作品本編の前後に5秒間の静止画によるテストパターン（形式は自由、ただし無音）を入れてください。（テストパターンは発表時間に含めません。）  
オ 著作権などの処理については出場各校で所定の手続きをしてください。

### 8 参加方法

出場資格は、令和3年11月現在1、2年に在学の者、及び1、2年次に制作した作品に限ります。

#### (1) 1校あたりの発表者及び出品数

- アナウンス部門・朗読部門 各校3名以内  
（ただし、両部門とも3名を満たしている場合は、各部門1名ずつ追加できる）  
ビデオメッセージ（VM）・オーディオメッセージ(AM)部門 各2作品以内

#### (2) 申込みと提出物

	提出方法	締切
参加申込書	メール添付 <a href="mailto:tsuda.yumiko@ysn21.jp">tsuda.yumiko@ysn21.jp</a> *校長印が必要なため、後日遅送便か郵送にて送ってください。	9/24（金）
アナウンス・朗読原稿	google formにて登録（詳細は後日） *審査員用にこちらで一括して冊子にします。	11/3（水）16時 *締切後、変更不可
アナウンス・朗読音声データ  ★出場者全員提出	mp3形式で作成し、Google Drive共有フォルダに提出 番組出場校は共同管理者に登録します（詳細は後日）。  ①（ライブ審査）の場合でも、コロナ関連の出席停止などで当日欠席を余儀なくされる場合、救済措置（注1）として、この音源データにて審査を受けることができる。  ②（データ審査）の場合 全員この音源データを会場で流し、審査する。	11/3（水）16時
番組台本	メール添付 <a href="mailto:tsuda.yumiko@ysn21.jp">tsuda.yumiko@ysn21.jp</a> *Nコン形式で作成、PDF形式で保存する	11/3（水）16時
番組データ	mp4形式で作成し、Google Drive共有フォルダに提出 番組出場校は共同管理者に登録します（詳細は後日）。	11/3（水）16時

\*注1 あくまでも救済措置であり、意図的に行使することはできません。会場での音声放送環境も質を保証できるものではありません。

### 9 審査

#### (1) 読み

①（ライブ審査）の場合、11/6（土）当日、アナウンサーによる講評をいただく。

審査結果は11/8（月）にgoogle drive上で発表予定。

②（データ審査）の場合、11/6（土）ほぼ同日程でアナウンサーと顧問により審査を行う。

11/8(月)に審査結果を発表。アナウンサーの講評も書面または音声にて11/8(月)に公開予定。

\*後日全参加者の音声をgoogle drive上で参加生徒・顧問に限定して公開予定。

## (2) 番組

11/6(土)KRYによりデータ審査していただき、11/8(月)結果、講評を公開予定。

\*後日全作品をgoogle drive上で参加生徒・顧問に限定して公開予定。

## I O 表彰

審査委員の協議により、各部門の優秀者・作品の中から、令和4年8月3日(水)、8月4日(木)に東京都大田区で開催される第46回全国高等学校総合文化祭放送部門、及び令和4年2月5日(土)、6日(日)に広島県広島市で開催される第7回中国地区高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会広島大会に推薦いたします。

\*全国大会出場は、例年通り、アナウンス部門3名、朗読部門3名、ビデオメッセージ部門2作品、オーディオメッセージ部門1作品となります。  
なお、中国大会への出場は、新型コロナ感染症拡大防止の観点から、例年より出場者を少なくし、アナウンス部門8名、朗読部門8名、ビデオメッセージ4作品、オーディオメッセージ2作品となります。

\*なお、今年度の中国大会も感染拡大状況によっては現地開催ではなくデータ開催の可能性があります。

## I I その他

参加者等の肖像を記録集、記録ビデオ、ホームページ等に掲載することができますので、あらかじめ御了承ください。

〒753-8508 山口市糸米一丁目9番1号 山口県立山口高等学校内  
山口県高等学校文化連盟 放送専門部事務局 向井 俊恵  
TEL 083-922-8511 FAX 083-922-0503  
Email:mukai.toshie@ysn21.jp (問い合わせや連絡のみ。各種提出先は上記参照)

### 新型コロナウイルス感染症感染防止対策について

参加者の皆さんに以下のことをご理解いただき参加をお願いいたします。保護者の方へもお知らせいただき、参加の同意を得てください。

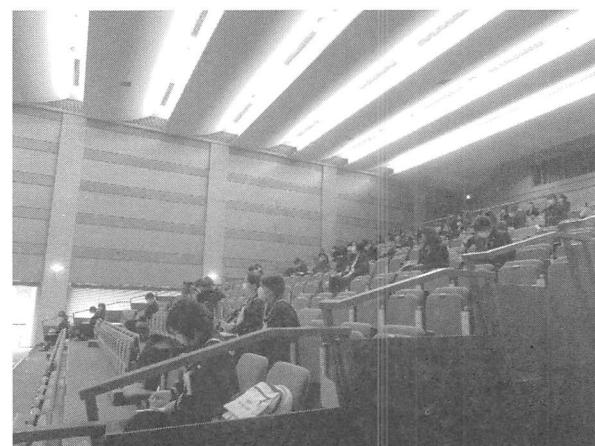
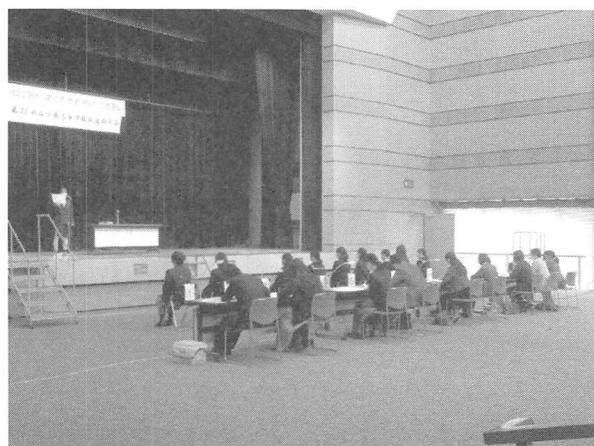
#### 【開催者側の感染防止対策】

- ・感染症対策の行き届いた「山口県健康づくりセンター」で実施します。
- ・朗読・アナウンス参加者40~50名程度に対して、800人収容できる大ホールにて開催します。
- ・練習会場として約200名収容できる研修室を貸し切ります。
- ・形式的な開閉会式は実施せず、会長・来賓・生徒代表挨拶や、審査員の紹介はプログラムへの掲載で済ませるよう工夫し、できるだけ短時間での開催とします。
- ・会場での実施は朗読部門・アナウンス部門のステージ発表のみ、午後のみで開催することで、前泊の必要をなくし、会場で昼食をとらないようにします。また、发声練習を済ませてから会場入りすることで、会場での大声による飛沫の発生を防止します。

- ・審査員への昼食提供も控え、湯茶もペットボトルなどで対応することで、参加者全員がマスクを常時つけている状態で臨みます。
- ・学校同士が交わらないように座席を指定することで、感染の危険を減らします。
- ・発表の合間に換気の時間を設けます。
- ・提出物は全て事前提出とし、当日物の受け渡しをなくします。
- ・保護者など外部からの見学は原則禁止とします。(ただし、保護者の方に生徒の送り迎えをしていただく場合、事前申請によって会場での見学を検討します。)
- ・アルコール消毒液を会場に設置します。
- ・マイクは、その都度消毒するか、使い捨ての袋をかぶせるなどの対策を講じます。
- ・行動履歴シート（別紙1）、同意書（別紙2）、検温シート（別紙3）などの参加者への周知を徹底します。

#### 【個人にお願いする感染防止対策】

- ・大会前、感染者及び濃厚接触者に特定された場合、行動自粛が解除されるまで参加できません。
- ・大会前、当人や家族の感染疑いで参加を急に見合わせたい場合は、速やかに各校顧問に申し出てください。
- ・番組のみの参加者、または読みの部門に出場しない生徒のA日程会場への来場は任意とします。
- ・大会開催2週間前（10月23日）からの行動履歴記録シート（別紙1）を記入・携帯し、大会終了後2週間は自宅で保管しておいてください。
- ・当日朝検温し、顧問の先生に自己申告してください。（顧問は別紙3の検温シートに記録して持参し受付に提出してください。）
- ・感染防止対策に則って参加する意志を、保護者の同意書（別紙2）の提出によって事前に顧問に知らせてください。
- ・会場到着後、入場するまでも十分な距離を保って待ち、指示に従って入場してください。
- ・発表時以外、会場（移動時を含む）では全員マスクを着用してください。
- ・会場での出入りの際は必ず備え付けのアルコール消毒を使用してください。また、トイレでは30秒以上石鹼での手洗いをお願いします。
- ・发声練習などの声出しは会場で行わないでください。屋外も、近隣への配慮から小声での読み練習にとどめてください。
- ・ティッシュなど自分が出したごみは会場に捨てず、各自で持ち帰ってください。
- ・会場にて体調の変化があった場合は、引率教員に速やかに連絡してください。
- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、学校を通じて大会主催者に速やかに報告してください。



## 各部門の報告

# 囲碁部門

理事長 真當 良洋

(山口県立宇部高等学校教諭)

### <令和3年度の主な活動報告>

#### 1 囲碁研修大会

期日：7月11日（日）

場所：宇部高等学校

指導：日本棋院プロ棋士 山本賢太郎五段

上記予定で開催を企画しましたが、コロナ禍の影響で残念ながら（2年連続）中止となりました。来年度はぜひ開催したいと考えています。

#### 2 第45回全国高等学校総合文化祭囲碁部門

期日：8月3日（火）・8月4日（水）

場所：和歌山県那智勝浦町体育文化会館

第45回全国高等学校総合文化祭囲碁部門は、8月3日（火）・8月4日（水）に和歌山県東牟婁郡那智勝浦町で開催されました。2日間6局の対戦で、互いの棋力を競い合いました。

大会は、団体戦（男女混成で3名の各県代表チーム）と男女個人戦（各1名の各県代表）で行われましたが、山口県からは男子個人戦に光高等学校 赤尾 謙司君が、前年10月の県総文祭に優勝し、代表となって出場しました。対戦は、団体戦・個人戦ともに、勝者同士敗者同士を対戦させてゆき、2日間で6局の各対戦相手の勝敗も加味して順位を決めるスイス方式で行われました。

出場した赤尾君はよく頑張り、また全国の高校生との交流を楽しんだようでした。

#### 出場者と成績：

〈団体戦〉出場なし

〈個人戦〉

男子 赤尾 謙司（光）2勝4敗35位

女子 出場なし

#### ～出場者の感想文～

夏休みに第45回全国高等学校総合文化祭「紀の国わかやま総文2021」が開催されました。昨年

度は新型コロナウィルスの影響で中止されてしまいましたが、今年度は無事に開催されてよかったです。囲碁部門が開催された那智勝浦町には、日本一高い滝の那智の滝があります。そこで、採れる那智黒は黒石の材料として有名です。囲碁に関わりの深い場所で対局をすることができて、とてもいい経験になりました。対局は6局行われ、最初は緊張しましたが、段々とリラックスして打つことができるようになりました。普段は対局することができない人と打つことができて刺激を受けました。より強くなれるように頑張りたいです。

コロナ禍でも開催できるように尽力してくださった運営の方、応援してくださった先生方、家族に心より感謝します。来年も出場できるように日々努力していきたいです。

山口県立光高等学校

赤尾 謙司



（全国総文・対局風景、記念写真）

### 3 第43回山口県高等学校総合文化祭囲碁部門

期日：10月17日（日）

場所：宇部高等学校

第43回山口県高等学校総合文化祭囲碁部門第43回大会は、10月17日（日）に宇部高校で開催されました。参加校は6校で、24名の生徒が参加しました。この大会は、全国総文祭代表と中国大会代表を決める代表決定戦と段級位認定戦とに分かれて行っています。代表決定戦には男子19名、女子5名、段級位認定戦には参加者はありませんでした。段級位認定戦には3年生の参加も認めており、高校最後の大会で目指す段級位を得ようと例年何人かの3年生が参加しています。生徒にとっては自分の段級位を認定してもらうことが大きな励みになっています。代表決定戦も段級位認定戦も、スイス方式で4回戦の対局で行います。大会結果は下記のとおりです。代表決定戦の上位男子3名と女子2名は、来年度東京都千代田区で開催される全国高等学校総合文化祭に出場することになります。全国総文祭では、男女混成3名で山口県チームを組む団体戦と男女各1名の個人戦に出場します。

#### 大会結果

男子団体 優勝 山口県立山口高等学校

女子団体 優勝 山口県立宇部高等学校

男子個人 優勝 大原 雅武（宇 部）

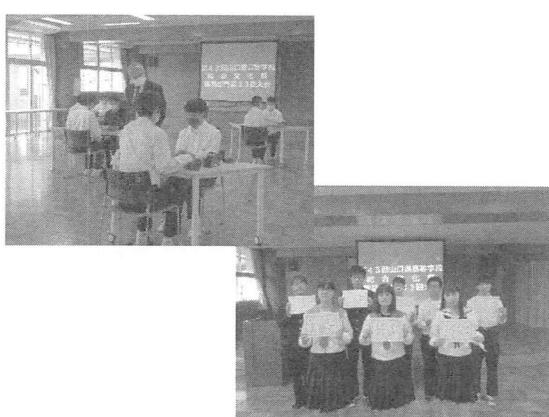
2位 赤尾 讓司（光）

3位 松原 歩夢（山 口）

女子個人 優勝 國富 佳乃（徳 山）

2位 伊藤 未葵（宇 部）

3位 森山 はな（宇 部）



（県総文・対局風景、受賞者記念写真）

### 4 第25回中国高等学校囲碁選手権大会

期日：12月25日（土）・26日（日）

場所：島根県出雲市「パルメイト出雲」

12月25日（土）・26日（日）に島根県出雲市で開催された第25回中国高等学校囲碁選手権大会には、県総文祭を勝ち抜いた男子団体戦に山口高校、女子団体戦に宇部高校、男子個人戦には、団体戦出場者を除く男子上位6位までの選手、女子個人戦には2名が出場しました。

日頃他県の選手と対局することがない出場選手は、全力で対局に臨み、また他県の生徒との交流を楽しみました。

#### 出場者と成績：

##### 〈団体戦〉

男子 山口高等学校 0勝4敗4位

女子 宇部高等学校 1勝2敗3位

##### 〈個人戦〉

男子 大原 雅武（宇 部）3勝2敗7位

赤尾 讓司（光）2勝3敗15位

田中 秀明（山 口）2勝3敗18位

真鍋 権（宇 部）2勝3敗22位

小倉 佑太（宇 部）1勝4敗25位

西村 和哉（山 口）1勝4敗26位

女子 國富 佳乃（徳 山）3勝1敗3位

荒川こころ（防府商工）1勝3敗11位



（中国大会・対局風景（記念写真は宇部高校生徒））

## 各部門の報告

# 将棋部門

理事長 堀 達也

(山口県立下関西高等学校教諭)

本年度は、新型コロナウイルスに注意しながら、大会を実施した。時期的には、実施が難しい状況もあったが、予定通り実施できた。参加者数も例年とあまり変わらなかった。今後も暫くは新型コロナに注意しながら大会を実施していくことになると思う。

また、11月には、宇部市でプロの竜王戦が行われ、藤井聰太3冠が竜王を獲得し、大ニュースとなった。

来年度も、感染防止を徹底し県大会が予定通り実施できるように取り組みたい。

### 1 第43回山口県高等学校総合文化祭将棋部門

令和3年5月29日（土）・30日（日）

防府市文化福祉会館

男子団体 参加16チーム54名

第1位 下関西高等学校A

第2位 徳山高等学校B

第3位 下関西高等学校B

徳山高等学校A

女子団体 参加1チーム4名

第1位 徳山高等学校

男子個人 参加10校53名

第1位 木下 遼（徳山高校）

第2位 岩坪 勘太（下関工科高校）

第3位 石坂 駿（徳山高校）

藤井 友也（下松高校）

女子個人 参加3校3名

第1位 宮原 百花（下関西高校）

第2位 中原 莉桜（徳山高校）



入賞者の写真

### 2 第45回全国高等学校総合文化祭将棋部門

令和3年7月31日（土）・8月1日（日）

和歌山県那智勝浦町・体育文化会館

#### 男子団体

下関西高等学校 予選1勝3敗敗退

#### 女子団体

徳山高等学校 予選2勝2敗敗退

#### 男子個人

木下 遼（徳山高校） 予選3勝1敗

決勝トーナメント1回戦敗退

岩坪 勘太（下関工科高校）

予選1勝3敗敗退

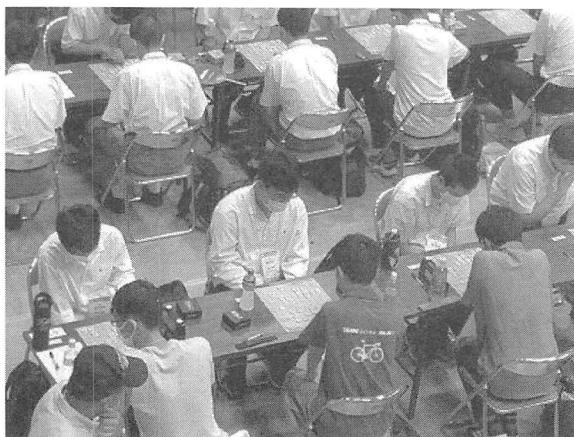
#### 女子個人

宮原 百花（下関西高校）

予選0勝4敗敗退

中原 莉桜（徳山高校）

予選1勝3敗敗退



対局の様子

全国総文祭に参加して

山口県立下関西高等学校 囲碁将棋部  
3年 弘中颯真

去年は新型コロナウイルスのため春の大会が中止になりました。私たちの1つ上の先輩は無念にも大会に出場できず引退されました。先輩方の思いも胸に、在校生と新入部員は大会が開催されることを願って日々部活動に励んできました。大会が開催されることが決まり、先生方や関係者の皆様、今まで支えてくださった方々へ感謝の気持ちがこみ上げてきました。「何としても団体戦で優勝して全国大会に行くぞ」と決意を新たに、校内戦後に感想戦を必ず行い、課題を明確にして対策を練ってきました。団体戦は、将棋を指す順番も重要で、いろいろなパターンを考えた上で本番に臨みました。今思うと好きな将棋のことを部員たちと語り合えた時間はとても貴重で幸せな時間だったと思います。おかげで、自分たちの力を発揮して県大会の団体戦で優勝することができ、今まで一番の思い出になりました。全国大会では残念ながら敗退しましたが、最後までみんなと一緒に将棋を指すことができ、充実した日々となりました。全国大会を目指して戦ってきた仲間はもちろん、他校のライバルと切磋琢磨することで、レベルアップすることができました。今大会を運営してくださった関係者の方々、応援してくれた家族や友達に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

### 3 山口県高等学校文化連盟将棋専門部研修会

(第26回山口県高等学校将棋新人大会)

令和3年1月7日(日)

防府市文化福祉会館

男子個人 参加10校62名

- 第1位 木下 遼 (徳山高校)
- 第2位 大庭 雅裕 (大島商船高専)
- 第3位 井上 俊彦 (下関西高校)
- 徳重 晴紀 (下関西高校)
- 第5位 實松 楓真 (下関西高校)
- 山野井 竜太 (下松高校)

女子個人 参加2校4名

- 第1位 峰崎 梓遥 (下松高校)
  - 第2位 伊藤 未紗 (徳山高校)
  - 第3位 秋山 紗椰 (徳山高校)
- 研修会(親睦戦) 予選敗退者で実施。  
研修会(指導対局)

指導 日本将棋連盟山口支部

北村公一氏・弘中敏之氏



対局の様子

4 第20回中国地区高等学校将棋選手権大会

令和3年12月18日（土）・19日（日）

広島市・東区民文化センター

男子個人 参加31名

木下 遼（徳山高校） 2勝3敗

大庭 雅裕（大島商船高専） 2勝3敗

5 第29回全国高等学校文化連盟将棋新人大会【前

年度】

令和3年1月29日（金）～30日（土）

尼崎市・中小企業センター

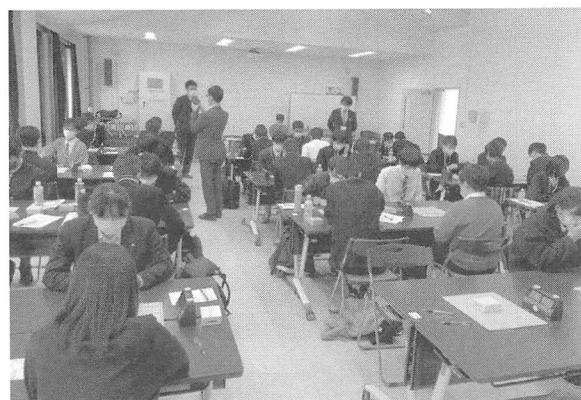
女子個人 参加14名

峯崎 梓遙（下松高校） 2勝2敗

伊藤 未紗（徳山高校） 2勝2敗

秋山 紗椰（徳山高校） 2勝2敗

中止



対局の様子

## 各部門の報告

# 小倉百人一首かるた部門

理事長 藤野 恭平

(慶進高等学校教諭)

### 1 部門の活動報告

小倉百人一首かるた部門が発足して9年が経ちました。様々な方々から御指導をいただき、少しづつ組織として前進しています。

昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大により多くの大会が中止となりましたが、今年度は感染防止対策をした上で各種大会が開催され生徒はまた目標に向かって日々練習に励んでいます。

かるた競技は、「畠の上の格闘技」といわれています。静寂と美しい日本語の調べのなかで自己と向き合う高度な集中力と記憶力、相手に勝る瞬発力、そして常に冷静な判断力、長時間の対戦に耐え得る精神力や体力が求められる厳しい競技です。また、美しい振る舞いや相手を敬う人間性も必要です。山口県では、かるた会と協力しながら選手育成をおこなっています。かるたに向き合って集中し、日々厳しい稽古に取り組んでいる生徒の顔は、とても熱く輝いています。山口県から、未来の名人・クイーンが育つことを期待しています。

### 2 第43回山口県高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門

5月30日（日）に県総合文化祭を開催しました。新型コロナウイルスの感染予防のため、個人戦の出場選手を制限し実施しました。全国大会の出場を目指し選手たちも気合を入れて臨みました。

団体戦 第1位 山口県立小野田高等学校  
第2位 慶進高等学校  
第3位 山口県桜ヶ丘高等学校

### 個人戦 上級の部

第1位 田中 雅貴（山口県立小野田高等学校）  
第2位 中村 寧音（山口県立小野田高等学校）

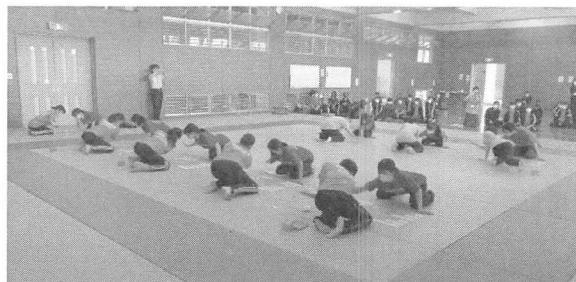
第3位 田村 奈津美（山口県立小野田高等学校）

中級の部

第1位 森安 悠（山口県立小野田高等学校）

第2位 梶山 幸香（山口県立小野田高等学校）

第3位 井上 彩桜（山口県立小野田高等学校）



### 3 第43回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会

滋賀県大津市の近江神宮で毎年開催される、「かるたの甲子園」と呼ばれる伝統と名誉ある大会です。昨年度は残念ながら中止となりましたが、今年は7月23日（金）～25日（日）に開催されました。

団体戦 山口県立小野田高等学校 3回戦進出

個人戦 B級第4位

田村 奈津美（山口県立小野田高等学校）

中村 寧音（山口県立小野田高等学校）

C級第4位

中村 羽津紀（山口県立小野田高等学校）

福島 悠（山口県立小野田高等学校）

E級優勝

末富 優佳利（山口県立小野田高等学校）

#### 4 第45回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門

昨年度はWEB開催となりましたが、今年は和歌山県で8月4日（水）～6日（金）に開催されました。山口県は2校の合同チームとなりました。新型コロナウイルスの感染拡大により3名出場での団体戦となりました。

##### 団体戦 山口県チーム 予選リーグ第2位

山口県立小野田高等学校	2年	田中 雅貴
	3年	中村 寧音
	3年	田村 奈津美
	3年	井上 彩桜
慶進高等学校	3年	原田 結衣
	3年	山岡 紅葉
	3年	村田 結花
	3年	唐下 莉奈



##### 山口県立小野田高等学校 2年 田中雅貴

##### 『夢の舞台』

僕はこの度、山口県代表の主将として出場させていただきました。大会開催が難しい状況の中、運営にご尽力いただいたすべての方々のご苦労もあり、無事に大会が開催されました。ずっと目標にしていた舞台に立つことができ、とても嬉しいです。今大会は異例の3人チームでの団体戦で今まで経験したことがないことでした。チームの主軸である選手が中心のメンバー構成での対戦は毎度、緊張感あふれる非常に拮抗した試合の連続で、自分が味わったことのない雰囲気で試合を取っていました。山口県代表は熊本、長野、群馬と同リーグで結果は予選敗退。目標にしていた予選リーグ突破は叶いませんでした。全国で上位に入ってくるチームの選手層の差、実力の差、技術の差、メンタルの差。色々なことに「差」があることを改めて感じた大会でした。今大会で自分が学んだこと、チームで学んだことを次のステージで活かせるように日々精進していきます。

##### 山口県立小野田高等学校 3年 中村寧音

##### 『総合文化祭に参加して感じたこと』

私はこの大会で引退を迎えました。三年間の集大成でした。今回は今までの大会とは違い慶進高等学校の方々もいたので、少し緊張しました。しかし、チームの雰囲気が良くすぐに馴染むことができました。会場に着いてからは、他県の方がたくさんいたり、会場が広かつたりしてとても緊張感がありましたが、楽しみもありました。

個人の戦績は、全敗でした。普段通りの取りはできていましたが、小さなミスやお手付きが重なり、接戦を勝ち切ることができませんでした。副将という立場でありながら勝ち星を上げられず、悔しい結果となりました。

しかし、今大会に参加することができ、貴重な経験をさせていただきました。このコロナ禍の中、大会が開催できるよう動いてくださった運営の方々には大変感謝しています。また、私は今まで本当に多くの方々に支えていただきました。そのことへの感謝を忘れず、これからは受験勉強に力を入れていきます。

山口県立小野田高等学校3年 田村奈津美

### 『総文祭を終えて』

私は今回の総合文化祭に出場して、もっと強くなりたいと感じました。今まで私はチームの中で副将として大会に出場もしたけど、大事な場面で勝ちを上げられないことが多くありました。しかし今回の大会では熊本との対戦で接戦でしたが、チームの2勝目を上げることができました。今までの私なら焦ったり、プレッシャーに負けていた場面だったけど、この夏の選手権と総合文化祭で少し強くなれたように感じています。群馬との対戦では、普段の力が発揮できず、自分が何もできなくてとても悔しい思いをしました。こんなに相手との力の差を大会で感じたのは初めてでした。受験のために少しの期間かるたを休むけど、大学生になったらまたかるたを続けてもっと強い選手になりたいです。また今回の大会を開催してくださった役員の方や、応援をしてくださった多くの人に感謝の気持ちでいっぱいです。山口県の代表として出場し良い経験ができました。ありがとうございました。

山口県立小野田高等学校3年 井上彩桜

### 『総合文化祭に参加して』

私にとっては今回が最初で最後の総合文化祭出場となりました。新型コロナウイルスの影響で見学や大会自体できなかったので、他県や級の違う人の試合を間近で見る良い機会でした。今回私が感じたことは、皆さんの工夫と支えてくださる人の温かさです。

工夫としては、試合の形式を変えて大会を開催してくださったことです。また、皆さんの試合を観ていて、制限のある中で、工夫して練習されているのではないかと思いました。

人の温かさとしては、部活のメンバーだけでなく、家族や先輩、地域の方までも応援してくださったことです。とても多くの方に支えられているんだと実感しました。また、大会の運営に携わってくださった方々です。スタッフの方と話す機会があった際、とても優しく丁寧に対応してくださったので緊張がほぐれました。

今回学んだり、感じたりしたことを今後に活かしていきます。

慶進高等学校3年 原田結衣

### 『和歌山総合文化祭に参加して』

初戦、チームメイトの諦めずに粘り勝ちした姿にとても感動しました。私は2回戦に出場したのですが終盤追いつくことができず、負けてしまいました。絶対に勝ちたい試合で自分の満足のいく取りができなかつたことがすごく悔しくて申し訳なく涙が出てしました。試合を観ていると上には上がいると全国のレベルを肌で感じました。

今回の大会の成功には地元のボランティアの方の支えが不可欠だったと思います。夕方ボランティアの方とすれ違ったとき、明るく笑顔で挨拶をしてもらい嬉しい気持ちになりました。またそのまま塾に入っていく様子を見て尊敬の念を抱くのと同時に同じ高校生として私も頑張らないと、と刺激をもらいました。

私は大会を通じて貴重な経験をすることができました。コロナ禍で大変な状況の中大会を開催していただいたことに感謝したいです。そして、試合の悔しさをバネに今後に繋げていきたいです。

慶進高等学校3年 山岡紅葉

### 『大会開催に感謝する』

今回の第45回全国高等学校総合文化祭紀の国わかやま総文2021は開催が危ぶまれていましたが、無事開催され山口県代表として参加でき本当に良い経験ができたと思いました。そして開催してくださった和歌山県の方々に感謝したいと思います。私は、山口県の代表として試合には出れなかったけど、試合に出ていた人たちをしっかりと応援することはできました。試合を観ている中で自分の実力不足を改めて実感することができ、もっと強くなりたいという願望を抱くこともできました。コロナ禍で色々な大会が中止されていますが、コロナが収束したら多くの大会が開催されると思うので積極的に参加したいと思います。

そして今回の大会で自分のレベルを知ることができたので、今後の練習メニューを考え実力を上げてそして、大会が開催されたことに感謝しながら練習したいと思います。

慶進高等学校3年 村田結花

### 『集大成』

今回の大会は三年間の集大成となるような大会となりました。

私はチームの六将として大会に臨みました。これはすごく嬉しいことであり、かるたを始めたころには想像すらしていなかったことで、大会が終わった今でも自分が代表として大会へ出場したことが夢のように思われます。

私はこの大会で試合に出ることはませんでした。コロナ禍で一試合の人数が減ったということもあって予想はしていました。私は悔しさを覚えました。試合に出られなったことに対してではなく、出られないことを当然だと思えてしまった自分に対してです。もっと自分が強ければ、と仲間の試合を観ながら思うこともありました。

ただ、これらの大会に行けて嬉しかった事実、試合に出られず悔しかったという事実は私の三年間の活動の結果だと思うと何も悔いはありません。このような体験をさせてくださった皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

慶進高等学校3年 唐下莉奈

### 『「紀の国わかやま総文2021』に参加して』

8月4日から6日にかけて和歌山県で行われた、第45回全国高等学校総合文化祭「紀の国わかやま総文2021」の小倉百人一首かるた部門に参加させていただき、そこで全国の上位校及び上級者の方々の試合を拝見しました。全国各地からの多くの選手の試合はとても熱気があり、日々の練習が想像でき、非常に感銘を受けました。

私は八将での参加だったため、試合で戦ってチームに貢献することはできなかつたことがとても悔しかったのですが、同じ山口県代表として参加出場したチームのメンバーたちの最後の一枚を取ることまで諦めない姿を見て、改めて競技かるたの良さを痛感しました。

この大会をもって、私は競技かるたから一旦距離を置いてしまいますが、次にかるたをするときには、今回の大会で得た貴重な経験を活かし、さらに多くの人に競技かるたの魅力を知ってもらえるような選手になりたいと思います。

### 5 第24回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会山口県予選会

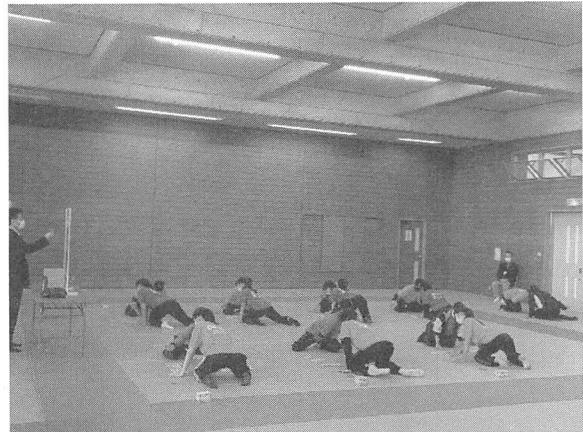
9月の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染者の急拡大にともない延期され、10月24日（日）に開催されました。

団体戦 第1位 山口県立小野田高等学校A

第2位 山口県立小野田高等学校B

第3位 慶進高等学校

昨年の中国大会の成績から山口県には2チームの出場枠が与えられました。



### 6 第24回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会

11月14日（日）に広島県の広島市立基町高等学校で開催されました。

#### 団体戦出場

山口県立小野田高等学校A

山口県立小野田高等学校B

## 各部門の報告

# 文芸部門

理事長 廣永 幸恵

(山口県立宇部高等学校教諭)

本年度も、昨年度同様、新型コロナウィルス感染症拡大防止対策のため、俳句甲子園山口県大会や、第23回高校生文芸道場中国ブロック大会(島根大会)等、予定していた様々な行事が中止せざるを得ないこととなりました。

しかし、そんな中で、県下の各校文芸部はできる限り工夫しながら、地道に部活動に励んできました。

その活動の一端をご紹介いたします。

### 第45回全国高等学校総合文化祭

「わかやま総文2021」に参加して

#### 散文部門

山口県立萩高等学校 3年 岡村 美也

私は8月3日(火)、4日(水)の2日間、第45回全国高等学校総合文化祭紀の国わかやま総文2021の散文部門に参加した。多くの学びや創作意欲への刺激があったこの2日間のことを、以下の通り報告する。

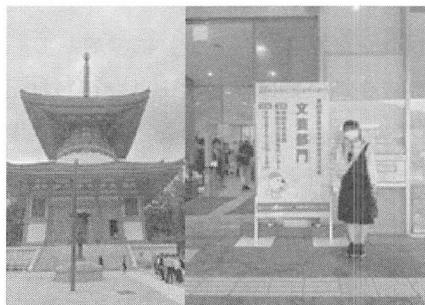
参加初日には、開会式の後に文芸研修と称し、高野山を目指した。高野山は空海が開いた真言密教の聖地であり、実際に入場した金堂、根本大塔では僧侶の方に真言密教の思想や願いについて詳しいお話を聞くことが出来た。私たちがこれから生きていくにあたり大切にしたいお言葉などもあり、このままならない世の中でどう生きるか、ということを考えさせられた。

2日目はまず全体交流会が行われた。複数人のチームに分かれ、チーム内で協力や競争をしながら和歌山にまつわるクイズを解いていく。和歌山県について詳しく学びながらも、他の都道府県から来た高校生と自分の地元についての話をした。詩や短歌、俳句に文芸誌など、全ての分野の代表者がチームにいたため、今までの経験がない短歌や俳句における創作の話は大変興味深かった。

その後は部門別交流会・分科会が行われた。都道府県の位置が近い4人を1グループとし、「お国ことば

(方言)で  
民話(童話)  
を語る」と  
いうものだ  
った。講師  
である松村  
栄子さん

曰く、方言  
わかやま総文・散文分科会の様子  
に言葉の多様性や音楽性が現れるものであるが、文語  
にまで使用した本は少ないという。いざ実際に書いて  
みると、やはり難しいものがあった。私たちは  
普段何気ない日常会話に方言を溶け込ませているが、  
それを文字に起こすことは中々ない。私のグループの  
人は広島、福岡、愛媛の人だったので、各方言の共通  
点や違いについて話してみて、山口弁を相対的に考  
えることから始めた。既存の童話を使用しても良いとの



高野山金剛峯寺 岡村 美也さん

ことだったので、私は桃太郎を山口弁で書き、ストーリーの随所で山口県の特産品が出てくる作品

を仕上げた。山口弁と触れ合い紙にペンを滑らせたあの時間、私はえも言われぬ高揚感に包まれていた。私自身、日本語についてより深く学んでみたいという思いがあったので、「書く」ということを通して身近にある方言を見つめ直すことができ、大変実りのある活動であったと思う。

この和歌山総合文化祭にて、多くの貴重な経験ができたことで創作の幅が広がった。2年ぶりの現地開催を実現して下さった関係者の方々、私を応援してくださった方々へは感謝をしてしきれない。今回得た学びを糧に、創作において更なる精進を重ねていきたい。

## 詩部門

山口県立下関西高等学校 3年 木原 純音

紀の国わかやま総文の詩部門に参加させて頂きました。下関西高校の木原純音です。

私が参加した令和3年8月2日～5日は、コロナウィルスが猛威を振るっている中でした。この中で果たして実施されるのだろうか、急に中止などとならないか、と心配の尽きぬままその日は訪れたのです。

久しぶりに見る白いぬらりとした新幹線。寒い車内、熱い車外を交互に乗り換え、乗り換え和歌山県へ。今回の総文では、運動部の所謂“インターハイ”のように競うということは全くありませんでした。この理由は自分なりにですが、後々解ることとなります。

研修初日は文学散歩なるものでした。高野山コース、道成寺コース、万葉館コースがあり、私は高野山コースに振り分けられることとなりました。内容は高野山のくねくね道をバスで制覇し、高野山大学で昼食。その後壇上伽藍、金剛峯寺等の煌びやかで厳かな数々を体感する、といったものでした。

次の日は全体交流会、そして部門別交流会・分科会でした。和歌山の生徒実行委員の皆さんのが進行したり、私たちを楽しませたりと、同じ高校生とは思えないほどでした。そして、この部門別交流会・分科会で競うことのない理由が明らかになったのでした。



わかやま総文全体交流会の様子

部門別では、5人前後全国各地から集った初対面の男女が席に着く。そこから自己紹介の後、もちろん詩部門なので詩を創っていきます。壊れた蛇口から漏れ出る水の音を考え、一枚の写真について47人が即興で詩を創作することもしました。そこで見せ合った時、私はこの詩部門で競えない理由がはっと解りました。同じ写真でも、故意かと思うくらい文体も、想像も、テーマさえも、何もかも違ったのです。口語も文語も

ロマンチックなものもはたまた哲学的なものもあり、どうしたらそれが生まれる?と不思議で不思議で仕方ありませんでした。順位をつけることができない程、それぞれがそれぞれの世界を創りあげていて、詩がこちらに微笑んでいるような気がしました。私も含め皆、その場で書いた詩を写真に収めるか紙に書き写しました。「はい、ポーズ!」と言いながら。我が子のように詩に対しました。

そして最終日の報告会、記念講演会を終え、私は帰路に着いたのです。

この総合文化祭で、私は沢山の朋に出会いました。交流会の時の静医科研の人は、何故か「無罪」と書かれたうちわで涼をとっていました。その隣は私が事前に配られた作品集の中で素敵だ、と感じた作品の作者でした。(しっかり記念撮影をしました。) 部門別交流会・分科会では同じテーブルを囲んだ友の面白いことといったら。文芸部を1人から12人に激増させた高身長ボーイ、戦車大好きな人、将来芸術の道に進む人、私と同じエレキギターをかき鳴らしている女子もいて、自己紹介では邦ロックの話で盛り上がりました。最中は本当に楽しく、いつかの再会の為に連絡先を交換もしました。

ここで何が言いたいか。それはどこにでもいる、ということです。こんなことを言ったなら今回出会った友に怒られるかも知れません。でもそうなんです。一般的な高校の文芸部のイメージは眼鏡をかけていて、難しい本を読んで、文学をこよなく愛する高校生集団!という感じではないでしょうか。少なくとも5人の意見はそのような感じでした。でも私が出会った友は一人としてそんな一つの枠で捉えられませんでした。良い意味で、どこにでもいる普通の高校生だったのでした。ただ、武器を沢山携えているだけの。

ここでの武器というのは銃や手榴弾などの兵器ではありません。自分の気持ちを素直に表現できるという武器です。人間は伝える為に言葉を手に入れました。文字も、顔で感情を表すことも、身体全体で怒り、憎しみ、喜びも表せます。絵の具や粘土や石やらを使って也能するようになりました。その中で言葉、何より文章というのは特別なのではないかと私は思います。言葉は人間が誰でも日常で使い、文章は今の日本では何ら神がかったものではありません。誰でも使えるから、その表現方法をたくさん持つていれば武器になるし、いつからか力になって、それが人生を支える柱に

なるのだと思います。

そんな人たちと出会えたからこそ私は心から楽しかったし、尊敬したのだと思います。何十億人いる中で誰一人として同じ思考の人はいません。だからこそ輝く、想いを伝える力を育てる事こそが文芸の根幹なのではないかと帰りの新幹線の中でふと、感じました。謝ること、楽しいと伝えること、嬉しいと泣くこと、遠くの祖母に手紙を書くこと、傷ついた友を励ますこと、ありがとうと言うこと。想いを伝える言葉の力という武器があるかどうかで日常は大きくかわるでしょう。

遠い昔の日が必要だったから言葉を携えたように、私自身に言葉があるように。自分の想いを大切にして、言葉の武器を増やして日々を生き抜いていこうと思います。

総文で出会った人、物、自然、何かが欠けていたらただ楽しかった、とだけで終わっていたかも知れません。心から感謝しています。また、このような混沌極まる中で総合文化祭を開催して下さった方々、私を引率して下さった先生、交通費、宿泊費を援助して頂いた方々、私たちが快適に、楽しく過ごせるようにいつも笑顔でお気遣い下さった生徒実行委員会の皆様に心から感謝します。

これから的人生の糧となりました。本当にありがとうございました。

#### 短歌部門

山口県立徳山高等学校 2年 三浦 風沙

短歌部門の分科会では、歌人の東直子先生から短歌についてさまざまなことを教わった。事前に提出していた短歌について、一つひとつきめ細やかなアドバイスをしてくださって本当に嬉しかった。「道」というお題のもとで私が読んだ歌がこれだ。

レジ袋指に食いこむ帰り道

熟れたアボカド見分けるはなし

この歌について「映画のワンシーンのよう」という言葉をいただいた。東先生にとってはずらりと並んだ題詠歌のうちの一つに過ぎないだろうけど、私にとっては憧れの先生に褒められた運命の歌だ。私は死ぬまでこの歌のことを忘れないと思う。短歌部門は強者ぞろいで、私よりもよっぽど上手な人が数多くいた。私も、いつまでもスランプだの才能が枯渇しただのと言って

はいられない。上手くなる努力をしなければいけないと身の引き締まる思いだった。

三泊四日の旅で、私にとって一番印象的だったのは最終日に行われた高橋源一郎氏による講演だ。高橋氏はヘンリー・ダーガーという作家を例にあげて「書く」ことについて話してくださいました。ダーガーという人物はアメリカ人で、掃除夫として働きながら数十年にわたって長い長い小説を書き続けた。彼の特異な点は、作り出した作品を誰にも見せなかつたことだ。彼には家族や友人がほとんどいなかった。彼が年を取り老人ホームに入れられた後、住んでいたアパートの大家（高名な写真家だった）が膨大な量の作品を偶然にも発見した。大家が作品への賛辞を伝えると、ダーガーは「遅すぎた」とつぶやいたという。その数日後、ダーガーは胃癌で亡くなる。

このエピソードは衝撃だった。私は短歌や小説を書くが、それは部誌に載せたりコンクールに出したりするという目的があるからだ。「誰にも見せるあてがない作品を書くことに、意味はあるのだろうか」という問いかけに講演会場は静まりかえった。結局、講演の中でこの問題に対する結論が示されることはなかった。きっと高橋氏は、会場に集まった創作者たちに受け取り方をゆだねたのだと思う。ヘンリー・ダーガーについての話があまりにも衝撃的だったので、この後の話題についてはほとんど覚えていない。覚えているとすれば、質疑応答で「お子さんは何人いらっしゃいますか」と聞かれた高橋氏が「長男が二人、長女が一人、次男が一人います」と答えておられたことだ。これはこれで衝撃だった。

この四日間、文芸のことばかり考えていた。憧れの歌人や各地の同志に会った。「書く」ということについて大きな問題にもぶつかった。この貴重な経験を糧にして、これから文芸活動をさらに豊かなものにしていきたい。



← わかやま総文  
に参加した徳山高校の生徒さんたち

## 俳句部門

山口県立徳山高等学校 3年 尾上 純玲

私は8月2日から5日にかけて行われた和歌山総合文化祭俳句部門に出場しました。以下、その報告を記します。

1日目は短歌部門と合同で、文芸散歩へ行きました。コースが始まる前に和歌山県の文芸部の方々の手作りのガイドブックをいただき、さらに名所をまわるごとにフリップで説明をしていただきました。私たちのために事前にたくさん準備をしていただき、とてもありがたく感じました。

2日目の全体交流会では、和歌山県に関するクイズにチームで協力して挑戦しました。私たちのチームは残念ながら全問正解することはできなかったのですが、和気藹々とクイズを楽しむことができました。

その後、部門別の分科会では、事前に提出していた俳句で講評会を行いました。講評会というのを私は初めて聞いたのですが、講評会が句会と違うのは、句に点をいれて一席や二席を決める、ということをしないことです。句会のように好きな句に点をいれその句のみに言及するのではなく、講評会はすべての句について言及します。句会は性質上、点をたくさん集めるインパクトの強い句にのみ目が行きがちですが、講評会は、一句一句丁寧にすべてをみることができます。部活動では句会しかやったことがなかったため、今後ぜひ徳山高校でも取り入れていきたいと思いました。

3日目は高橋源一郎先生の講演会でした。先生の話はとてもユーモラスで楽しかったです。先生は講演会で自分が作家を目指したきっかけの詩について、意味はわからなかつたけどなんだかとてつもなくすごいと感動したとおっしゃっていて、理屈ではない何かの力が文芸はあるのだ、と学びました。

私はもうすぐ部活動を引退しますが、今回学んだことを後輩に伝え、また、自分の今後の創作活動にも役立てていきたいです。

## 文芸部誌部門

山口県立徳山高等学校 3年 浅村 芽衣

私は八月三日から五日にかけて行われた和歌山総合文化祭文芸部誌部門に参加した。総合文化祭は一日目に文学研修、二日目に交流会、三日目に記念講演会と

いうプログラムのもと執り行われた。以下その報告を記す。

初日、文芸部誌部門では道成寺コースを回った。初めに向かった稻むらの火の館は津波防災教育センターと濱口梧陵記念館の複合施設である。防災センターでは実際に水槽の中に町と海を作り大きな波を人工的に起こす、津波シミュレーションで客観的に津波の恐ろしさを知った。記念館では3Dショートムービーを見た。現在の有田市に生まれ育った濱口梧陵は災害時には自ら率先して村のみんなを助けたため、村人たちは心の底から彼に感謝していたそうだ。中でも有名なエピソードとして、津波によってバラバラになった家族やさまよっている村人を引き合わせる目印として稻束に火をつけ、多くの命を救ったという逸話を視聴した。この施設を通じて、和歌山は昔から津波が多いことを初めて知り、未来にも起こるであろう津波とどう向き合うかを先人たちの教えから学び、生かしていくかなければならないと改めて思った。次に訪れたのは道成寺。安珍と清姫の物語を題材とした絵とき説法を聞いた。とても流暢な説法で、私は物語にすっと入り込んでしまった。また、宝仏殿には二十数体の仏像が祀られており、厳かな空気を肌で感じた。

二日目、まずは全体交流会を行い、学校も参加部門も違う初対面の方たちとグループを作り、前日の研修に関するクイズや水平思考クイズに挑戦した。私たちのグループはまさかの優勝をして、壇上に登った。それぞれ違う十七年を送ってきた人たちと純粋にクイズを楽しむことができたのは貴重だった。その後、各部門に分かれての交流会に励んだ。文芸部誌部門では午前中に芸術家の廣本直子先生に部誌づくりの心得を教えて頂き、徳山高校の部誌「耿光」についても、表紙、構成の観点でとても良いと御講評を頂いた。午後には、事前に創作した詩や随筆を持ち寄り、五人程度のグループで部誌づくりに取り掛かった。挿絵を描くのに手間取ったが、周りと試行錯誤しながら完成させたものは世界にたった一つのかけがえのない部誌になった。グループとしての雰囲気も良く、部誌を交換したり、語り合ったりと有意義な時間を過ごすことができた。これから部誌作成に生かしたい。

最終日には小説家の高橋源一郎先生による講演会で様々なお話を聞いた。先生との一問一答形式での質問タイムもあり、高校生の悩みに寄り添ってくださいました。私自身、小説はあまり書いたことがなかったので、と

ても新鮮に感じた。学んだことを生かし、私も小説に挑戦してみようと思った。

以上、和歌山総合文化祭を通して、境遇の様々な同年代の方たちと関わることができて光栄に感じると共に、今回受けた創作への新たな刺激を糧とし、より一層文芸に励みたいと思う。

### 第23回高校生文芸道場中国ブロック大会 (島根大会) 文芸コンクール

本年度の中国ブロック大会は、島根県開催で、11月13日（土）出雲市で行う予定でしたが、新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、参加形態の大会は中止とし、文芸コンクールのみ行うという、昨年度同様のかたちとなりました。

文芸コンクールには中国5県から36校延べ441人454作品の応募がありました。

年度当初、広島県や岡山県に緊急事態宣言が発出されており、部活動がままならなかつたこと等、諸事情を勘案して、本年度は応募期間、選考期間を例年よりやや遅くして実施されました。

そのためもあってか、中国地方5県から例年より多くの応募があり、山口県からもたくさんの学校、生徒が応募しました。

特に短歌、俳句といった韻文部門での活躍が目立っています。

山口県内の入賞者は以下の通りです。

#### 小説部門

優良

山口県立宇部高等学校 2年 山崎 紫月  
山口県立下松高等学校 3年 古木 優里

入選

山口県立徳山高等学校 2年 山本 涼香

#### 詩部門

優秀

山口県立徳山高等学校 3年 荒木 晴名

優良

山口県立徳山高等学校 2年 三浦 凪沙

入選

山口県立徳山高等学校 2年 伊藤 彩乃

#### 短歌部門

最優秀

山口県立徳山高等学校 3年 尾上 純玲

優良

山口県立光高等学校 2年 窪野 星夢

山口県立光高等学校 3年 深谷 乃梨子

入選

山口県立光高等学校 1年 菅嶋 紗羽

山口県立光高等学校 3年 石田 晃大

山口県立徳山高等学校 3年 荒木 晴名

山口県立徳山高等学校 3年 伊藤 彩乃

#### 俳句部門

最優秀

山口県立徳山高等学校 3年 渋村 芽衣

優良

山口県立徳山高等学校 2年 山本 涼香

入選

山口県立防府高等学校 2年 松本 欣大

山口県立徳山高等学校 1年 大迫 悠真

山口県立熊毛南高等学校 2年 藤井 羽雲

#### 文芸部誌部門

入選

山口県立徳山高等学校

部誌名 「耿光83号」

**第43回（令和3年度）山口県高等学校総合文化祭  
兼 第19回山口県高等学校文芸コンクール**

本年度の山口県文芸コンクールは11校79名92作品の応募がありました。

結果は以下の通りです。

優秀な作品は、本年度の第23回高校生文芸道場中國ブロック大会（島根大会）、来年度の第46回全国

高等学校総合文化祭（とうきょう総文2022）に参加します。

（但し、中国大会は新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から本年度も中止となり、推薦のみでした）

部門	選考結果	学校名	題名・初句	学年	氏名
散文	最優秀	山口県立徳山高等学校	ラジオスターにアンテナを	2年	山本 涼香
	優秀	山口県立下松高等学校	ラムネ	3年	古木 優里
	優秀	山口県立萩高等学校	僕の変わり方	1年	阿武 未来
	優良	山口県立宇部高等学校	蒼と紅のコスモス	2年	篠原 隆士朗
	優良	山口県立萩高等学校	黒とブロンド	3年	川合 桃子
	入選	山口県立防府高等学校	秘密の場所と、少女と白猫	2年	伊原 真結子
	入選	山口県立宇部高等学校	兄であること	2年	山崎 紫月
	入選	山口県立防府西高等学校	Not Found 404	2年	前田 姫華
詩	最優秀	山口県立徳山高等学校	地球より	3年	荒木 晴名
	優秀	山口県立下関西高等学校	違う世界	2年	長田 幸樹
	優良	山口県立徳山高等学校	白昼	2年	三浦 風沙
	入選	山口県立徳山高等学校	午後の時計	1年	大迫 悠真
短歌	最優秀	山口県立徳山高等学校	右左	3年	田中 来海
	優秀	山口県立徳山高等学校	明日には	2年	三浦 風沙
	優秀	山口県立下関西高等学校	ゴミ箱の	2年	出竹 珠子
	優良	山口県立下関西高等学校	勇気出ぬ	2年	長田 幸樹
	優良	山口県立光高等学校	ゆず色の	3年	深谷 乃梨子
	入選	山口県立光高等学校	友人と	2年	皆木 彩那
	入選	山口県立徳山高等学校	教室の	2年	伊藤 彩乃
	入選	山口県立下関西高等学校	シャーペンの	2年	岩尾 歩実
俳句	最優秀	山口県立徳山高等学校	春泥や	3年	荒木 晴名
	優秀	山口県立徳山高等学校	切り立ての	3年	淺村 芽衣
	優秀	山口県立徳山高等学校	永日や	2年	伊藤 彩乃
	優良	山口県立徳山高等学校	折り鶴の	2年	山本 涼香
	優良	山口県立徳山高等学校	轉りに	3年	尾上 純玲
	優良	山口県立熊毛南高等学校	黄桃の	2年	五島 まどか
	入選	山口県立徳山高等学校	夕暮れの	3年	中谷 陸斗
	入選	山口県立熊毛南高等学校	立春や	3年	清時 乙翔
	入選	山口県立熊毛南高等学校	合歓の花	2年	酒井 日菜乃
	入選	山口県立徳山高等学校	十代に	1年	増野 月麦

## 各部門の報告

# 自然科学部門

理事長 石田 純一

(山口県立山口高等学校教諭)

### 1. はじめに

今年度、自然科学専門部では、「紀の国わかやま総文 2021」にて3分野の研究発表とポスター発表を行いました。参加校は、下関西高校（研究発表[物理]）、徳山高校（研究発表[化学]）、高川学園高校（研究発表[生物]）、宇部高校（ポスター発表[生物]）でした。昨年度のうち総文は新型コロナウイルス感染症拡大を受け、Web 実施でしたので、今回は2年ぶりの対面実施でした。発表を行った参加校の生徒は、いずれも主体的に研究に取り組み、その結果を自分たちなりに工夫してまとめ、発表しました。

山口県では、自然科学部門立ち上げから今年度で11年目になります。県内の自然科学の輪が広がるよう、引き続き頑張っていきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

### 2. 「紀の国わかやま総文 2021」に参加した生徒からの参加報告と感想

以下に、「紀の国わかやま総文 2021」に参加した生徒の声を掲載します。

#### ■ 研究発表（物理） 「ゴム鉄砲について」

下関西高校 永富 壮馬

研究で苦労したことはゴム鉄砲の製作でした。ゴム鉄砲のほとんどの部品は木を切って作ったために時間がかかり、またモータが故障してしまうことがあったからです。他には、輪ゴムの軌道を測定するためにカメラを使用しましたが、映像から輪ゴムの軌道を見ることができなかったために測定位置に壁を設置し、壁に当たった高さを記録して軌道を求めるという実験をしました。しかし、その実験は何回も繰り返す必要があり、時間がかかり大変苦労しました。

今回の発表では、初めての学校外での研究発表で緊張しました。しゃべる速さや声の大きさに気を付けて発表しようと考えていましたが、頭が真っ白に

なり上手くできませんでした。しかし、なかなか体験できないことで参加できて良い経験となりました。また、他校の研究の発表を見ることで研究内容をうまく相手に伝える方法や発表内容の構成や順番を知ることができたこともよかったです。それぞれの発表について評価され、どこが良くて、どこが悪かったか、どこをどう変えたらより良い発表になるかアドバイスされて、今後の発表の糧にできるいい経験ができたと思いました。質問の内容を聞いて、研究や発表において注意すべき点や研究発表を聞くのにどのような点について注意しながら聞くのが良いか参考になりました。研究の手法で変えた条件や変えなかった条件について、また他に最適な実験方法がないかも審査員の先生方からのアドバイスを踏まえて、改めて考えることができました。

下関西高校 濑川 龍太郎

他校の研究内容を聞いて、自分が知らない物や現象についての研究を聞いて、わかりやすく説明していたために興味がわき、知らないことを知ることができて良かったです。また、日常から疑問に思ったことや便利にしたいことについての研究を聞いて、自分が考えたことがないことを研究していました、当たり前のことについて視点を変えて見ていて、今後の研究で視点を変えてみたり、日常からの気づきを得る方法の参考になりました。

研修で小学校や中学校で得た宇宙についての知識の曖昧な点について解説され、周りの人にちょっと自慢できるような知識や夜の空を見るのにどのようなものを使うのが適切か、惑星の大きさや位置、惑星ごとに見た宇宙、月の満ち欠け、宇宙についてなど面白い話を聞けて楽しかったです。

全国総文に参加して、知らない人が多くいる中で発表するというなかなかできない経験ができ、発表の表現の工夫や内容について参考にできることがあり、多くの学びや経験を得ることができてよかったです。

です。これを今後の研究に活かし、また全国総文のような研究発表に参加して経験を積んでより良い研究や発表ができるようにしたいです。

#### ■ 研究発表（化学） 「青銅を科学する」

徳山高校 平川 裕大

今回、紀の国わかやま総文に参加させていただきました。

実際に会場で、他の都道府県からやってきた人たちの発表を見て自分の研究への取り組み方を見直すことができました。なぜなら、他の発表では、科学的な知見から、あらゆることに対して理由や明確な根拠を持って研究を繰り返し行い、しっかりと結論を導くという過程をしっかりと忠実に踏んでいたからです。これは、言ってしまえば当たり前のことなのですが、今更ながらこのような当たり前のことができるている他の人々に対し、尊敬の念を抱いたということが僕の今回の収穫であると考えています。

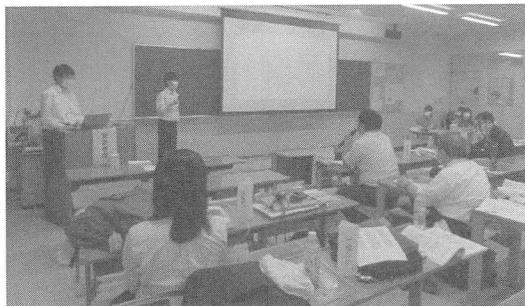
やはり、科学だけではなく、いずれの分野においても言えることなのですが、データをとるならしっかりと緻密にとっていくべきであり、せっかく精密な結果が出せるような道具や環境がそろっているのであるならばそれを利用して、そこから導かれる結論を確固たるものに仕上げていくべきであると思うのです。そして、特に化学という分野での研究ですから、化学という分野自体が焦点を合わせ、ホットに研究を行っている、物質の性質に対する分子・原子レベルからの考察ということをもっと意識しなければならないと思いました。そして、「では、なぜそのような結果になってしまったのか。」「本当に導かれた結果はそのような要因のみから成り立っているのだろうか。」と、細かく究明して結論や考察をするべきなのです。

僕には、そのような当たり前が欠如していたということを如実に意識し、研究への取り組み方を顧みるきっかけとなりました。

また、研究結果を恣意的に読み取ってしまい、論として若干無理矢理になってしまったところがあつたというのも少し引っ掛かります。矛盾や論としての違和が生ずるのなら、そこで立ち戻って、方向性や目的を一度振り返ってみる。そんなこともできたのではないか。このように気付かされた次第です。

おそらく、これからも理系で生きていくのであろ

う自分にとって、今回の紀の国わかやま総文への参加は、原点というか初步に立ち直って、研究というものを改めて考えさせてくれる良い機会となりました。



徳山高校 松本 韶輝

私はこの研究において主に試料の作成や測定を行っていたのですが、私にとってこの研究の中で苦労したことは、作成した合金を色差計で測定する際に微妙に平面になっていない箇所で測定してしまうと、 $a^*$ や $b^*$ の値が測定するごとにバラバラな値をとってしまうため、試料の位置を数ミリ単位で調整して安定した測定値を出すことが一番難しかったということです。また、単純に数十個の合金をすべて手作業で研磨することや、40個ほどの試料を1から量って作成するのはとても大変でした。しかし、結果として非常に面白い研究結果を得ることができたので、実験に協力してくださった企業の方や実験の指導をしてくださった先生に、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

私が今回わかやま全国総文に参加した中で他校の研究発表を聞いて、まずどの研究班も研究内容にそれぞれ独自性があって、それぞれの納得のいく実験結果が得られるまでの過程と努力はどれもとても素晴らしいものと感じました。特に、地元のものを利用した研究発表は自分たちの地元を科学によって発信したいという姿勢があってとても良い研究だと感じました。また、今回の大会は私にとって研究発表を聞く中で自分が知らなかったことやそのことについて詳しく知る大変良い機会になったと思います。

## ■ 研究発表（生物） 「山口県固有種アブサンショウウオの分化について」

高川学園高校 河口 和奏・竹谷 和葉

私たちは、今回の紀の国わかやま総文 2021での研究発表を心待ちにしていました。そこで、私たちは日々の部活での研究、野外活動を懸命に取り組んできた成果を発揮するため、発表練習を何度も繰り返してきました。研究内容は、会場で発表したアブサンショウウオの分化についてです。野外活動については、サンショウウオの放流、採卵、産卵地調査などをしています。この発表を聞いてくださった審査員の方々や生徒の皆さんに、これを機にアブサンショウウオについてもっと深く知りたいだけなら良いなと思います。そして、質疑応答の時間に頂いた質問については、今後もっと詳しく調べ、研究に活かそうと思います。



また、他の学校の発表を聞いて、まず印象に残っているのは、質疑応答の態度です。どの学校も質問された内容に真摯に答えており、また真剣に研究に向かっていることも分かり、そこが素晴らしいと思いました。そして、研究内容については、どれも生物の種類や特徴をさまざまな面から注目していて、興味深い内容ばかりで私たちにも勉強になり、今後の研究にも何か役立てることができるかもしれないと思いました。



巡査では、みさと天文台に行きました。普段は何も考えずに星や月の満ち欠けなどを見ていますが、教授の講話から宇宙に無限に広がっている恒星の偉大さや、私たちが知らないことや、まだ誰も知らない

いことが宇宙にはたくさんあるということを知ることができて、とても感動しました。

みさと天文台

では、3Dメガネを使って、星の動きや惑星の周り、惑星の裏側、ブラックホールに近



づいてみるとなど、はじめて見るものが多く、とても刺激を受けました。また、教授が1つ1つ丁寧に説明されている姿勢を受けて、私たちも1つのことをこととん追究して詳しく説明できる人になりたいと思いました。またこれを機に、星や月、天体について勉強してみようと思いました。

最後に、前日のホテルでは、翌日の発表に向けて各学校が練習、話し合いをしている風景が見られました。その姿に刺激を受け、私たちも発表に向けてより一層やる気を出して、練習をすることができました。本番では、緊張はしたものの、私たちにできる最高の発表ができたと思います。今大会では受賞にまでは届きませんでしたが、他の学校も頑張っていて素晴らしい発表をしていたので悔いはありません。またこのような機会があれば参加して、満足の行く発表と素晴らしい結果を残したいと思います。

## ■ ポスター発表（生物） 「ヨシの発芽特性」

宇部高校 池田 悠朔

最初で最後の総文祭に参加して、他の高校の発表や大学教授などの専門家と交流などができる、自分たちの研究に足りないものを見せてもらえた。データ一つをとっても発表者や専門家が、それをどのような角度から見るかで意味合いが変わってくるということを実感し、感銘を受けた。また、専門家の人たちの質問やアドバイスは、私たちの研究の核心的な部分を突いた的確なもので、今後の研究に最大限生かせるものばかりであった。おそらくコロナウィルスの流行がなければ、さらに素晴らしい総文祭だったのだろうと思うと、残念だが、それでも研究成果の発表の場所としては申し分ない絶好の機会だった。講演でのマグロの養殖についての話はテレビでも聞いたことがあります、ここで長い年月をかけた研究が行われ、世の中を変えているのだと考えると印象深かった。

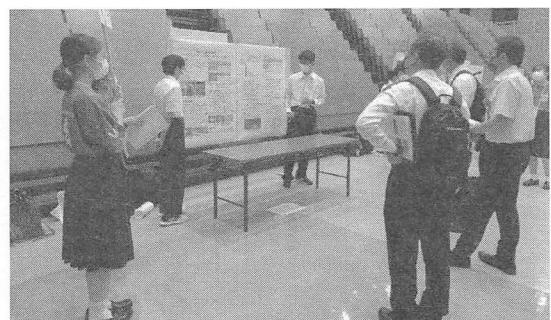
自分たちの研究をしていく上で、予想していた結果と異なる結果が出てくると、何度も悩まされた。どのようにその結果がでてきたのか因果関係を探るのは、まるで雲をつかむような感覚で、ときにはこの研究は上手くいくのだろうかと不安を抱いた。しかし、この総文祭で先述の通りいろいろな人の意見を聞いてみると、まだまだ調べられるところや他のアプローチの仕方を見つけることができる事がわかり、研究を進めるためのヒントをもらうことができた。また、巡査研修も自分の興味ある分野で、全体的に見ればかなり充実した1日を過ごすことができたと思う。新型コロナウイルス蔓延防止対策の状況下でここまでクオリティが高い行事になるとは思っていなかったので、予想以上に楽しかった。

私が研究を通して学んだことはいろいろあるが、やはり最も重要だと感じたのが伝えることである。いかに自分たちの考えを、正確に聞き手に伝えるかが大事か、今回の総文祭の参加者との交流のみならず、相方との意思疎通なども含めて実感した。たとえ研究内容が出来上がっていたとしても、それが人に伝わらなければ価値のないものだということが分かった。振り返ってみると「ああ、あそこはもっと良く言い換えられただろうに。」とか、「ここはもっと詳しく言うべきだったんだろうな。」という風に改善点は多い。正確に情報を伝えられるようになれば、研究の本来の意図や本質を分かってもらうことができる。この教訓は研究に限った話ではなく、ますます多様性増す現代に生きる上で、必要になるだろう。研究ではまだまだやりたいことは残っているので、高校生活と並行してこれからも楽しみながら進めていきたい。

宇部高校 藤村 祐希

紀の国わかやま総文 2021 は初めて参加した全国大会でとても貴重な体験をすることができた。私たちはヨシという植物について研究したが、まずヨシについての先行研究を調べることから研究が始まった。研究を通して分かったことから仮説を立て、実験・考察して、次の仮説を立てるということを繰り返していく。実験結果からその結果が示すことを考え、次の仮説を立てる事が特に難しかった。今回は発表時間が4分間だったが、自分たちの実験で、伝えたいことが多すぎて、情報の取捨選択がとても

難しかった。また、ポスターはあるものの、発表は言葉で伝えるので、伝え方の工夫に力を入れた。発表練習は本番直前まで行ったが、本番では緊張して、早口になってしまい、うまく伝えられなかつた点がとても残念だった。質問は相手の意図を汲み取ることがとても難しかった。ときには相手の質問に答えられなかつたり、発表内容を聞き返されたりしたが、何回も質問されるうちに、落ち着いて質問を聞き、意図をくみとて答えることができるようになった。今回はコロナ禍の中で、自由に何回も発表したり、他校の人たちと質問やアドバイスをしあったりするような交流はできなかつた。発表後に修正点が思いつくのだが、1回しか発表できず、質問も2回だけだったので、「あと1回だけでも発表できれば...」と残念な思いが募つた。だが、他校の発表を見ることはできたのでよかつた。同じ高校生が上手に発表している姿をみると、大変参考になり、刺激を受けた。また、新たな知識を得ることもできたのでよかつた。発表前後の待機時間に自分たちの研究に専門家の方々から質問やアドバイスをいただけたのだが、ヨシと類似した植物の研究結果や、よりよい研究にするためにはどのようなことができるのかということを教えていただいた。これからは、今回の総文祭で得たことを活かし、研究を進めていきたい。また、専門家や大学の先生方など様々な知識を持った方々の意見はとても参考になるので、学校外で発表できる機会にこれからもできる限りどんどん挑戦していきたい。



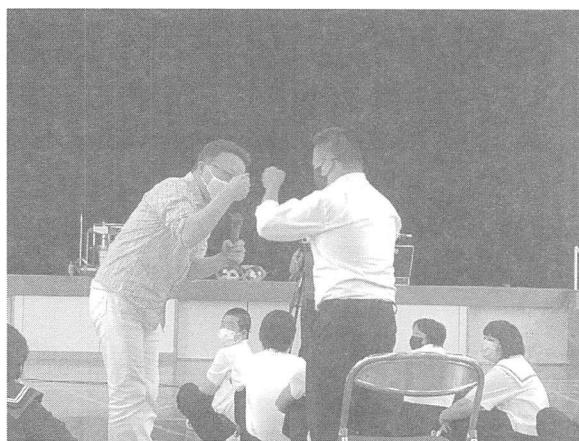
# 自主事業・補助事業の報告

《自主事業》【青少年劇場小公演「しゃみせんいろいろ」】

宇部総合支援学校

## 【生徒感想①】

今日はお忙しい中来ていただきありがとうございます。とてもきれいな三味線の音色が心に響き渡りました。僕は初めて三味線を見て、とても迫力のある演奏をしていただきありがとうございました。



## 【生徒感想②】

今日は3種類の三味線で民謡、アニメの曲、「パプリカ」などたくさんの曲が聴けました。三味線の3本の糸だけであれだけの音が出せるのを不思議に思ってい

ました。

高い音、低い音を出すのがとても大変そうでした。私は音楽がとても好きなので音の見分け、不思議などを感じながら聴くことができました。

三味線のことは音楽の授業で前に勉強したがあるのでいい振り返りになりました。音楽ってやっぱり聴いていても楽しいなとあらためて思うことができました。



《自主事業》【山口県交響楽団演奏会】

山口中央高等学校



## 【生徒感想①】

特別な時間を過ごすことが出来ました。本当にあり

がとうございました。冒頭の言葉にあったように、この1年半は新型コロナウイルスの影響を受け、誰もが大変な思いをしました。そんな中でも私たちのために練習を重ね、今日演奏ができていると思うとドラマを感じ、奏者一人ひとりの想いが伝わってくるようなステージでした。

私達3年生はほとんどが受験期の真っただ中で、皆、不安や焦りと戦う毎日を過ごしています。ですが、今回の演奏会では、私たち受験生を含めた全員が音楽の“魔法”にかかってしまいました。自分を忘れ、時間を忘れ、ただひたすらに目の前で奏でられる音楽に魅せられ、特別な時間を過ごせたと感じています。

こんな時期に演奏会があって本当に良かったと思います。コロナ禍でも頑張ってらっしゃる楽団の皆様に負けないように私も頑張ろうと思いました。

今回は貴重な体験を本当にありがとうございました。



#### 【生徒感想②】

すごくすごく充実した時間になりました。私は元々音楽が大好きで、中学では吹奏楽を、幼稚園からこの前までピアノを習っていました。たぶん、普通の人よりかは音楽に触れる機会が多かったと思います。だから、去年コロナの影響でたくさんの演奏会が中止になってすごく悲しかったし、生の音楽を聞くことが本当に少なくて、今日をとても楽しみにしていました。そ

して、演奏を聴いて、本当に感動しました。今までそんなに強くは思ったことのなかった、「音楽が好き」という気持ちをあらためて感じることができました。山口県交響楽団の中に、中学の時、音楽の授業でも、部活でもお世話になった先生もいらっしゃって、懐かしい気持ちにもなりました。また、久しぶりに自分もサックス吹きたいな、みんなと演奏したいな、という気持ちにもなって、大学では吹奏楽部に入って、社会人になったら地域の楽団に入ろうかななんて思ったりもしました。今日は受験のことも忘れて、本当に心から楽しむことができました。とても楽しい時間をありがとうございました。

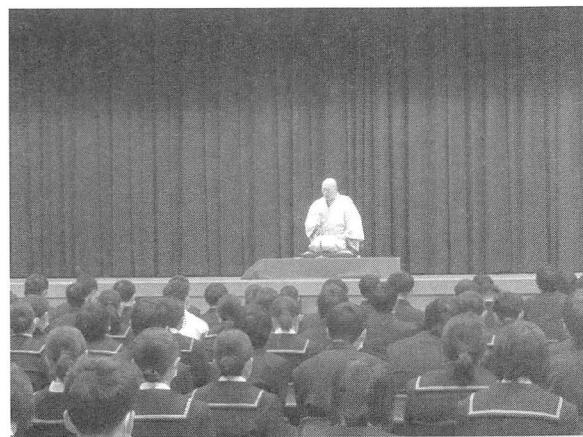


### 《自主事業》【青少年劇場 はなしの伝統芸能「落語」】

下関北高等学校

#### 【生徒感想①】

非常に楽しく、面白く聴くことができました。終始笑っていた気がします。私は落語を生で聴くのは初めて



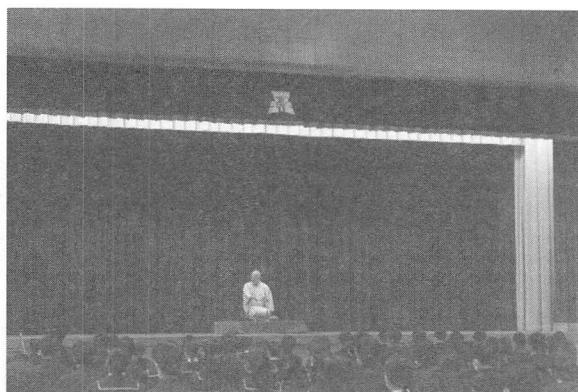
で、前日から楽しみでした。また、落語についてもっと詳しく知りたいと思いました。今日を境に、落語が好きになったし、テレビなどで見たときは、今日教わった落語の基本に注目してみたいとも思いました。落語家の方々がどんなに素晴らしいことをしておられるのか、今日で知ることができ、光栄です。話すこと、仕草で伝えることのみで大勢を笑わせられて、感銘を受けました。

落語家の方々は、話が絶えず、スラスラと、かつ面白くお話をされるので、どれほど努力をされてきたのかということを考えると、尊敬の気持ちが膨れあがります。これから、日本の素晴らしい伝統芸能が、より一層発展し、世界中に広がることを願っています。

本日はありがとうございました。

### 【生徒感想②】

私は、生で初めて落語をききました。テレビでは何度かきいたことがあります、やっぱり迫力があって、おもしろかったです。せんすを色々な物に見立てて道具として使ったり、向く方向で違う人を演じたり、テクニックが本当にすごくてびっくりしました。何よりもびっくりしたのは話のスピード感です。プロの方だからあたりまえなのかも知れませんが、次から次に言葉が、話が出てくるので、飽きることなく、むしろ自



分の方が前のめりになって、完全にききいってしました。ダジャレも本当におもしろくて、時間がすぎるのがあつという間でした。おまんじゅうの食べ方を実践したときも、うまくは出来ませんでしたが、とても楽しかったし、プラスでやはりプロの方のすごさを感じました。落語には“オチ”が必要だとことでしたが、“オチ”をスムーズに出せる感じや話の進め方、全てがすごくて、誰にでも出来るものじゃないなと思いました。落語をちゃんと聞くまでは、古いイメージがあって、あまり興味がわかなかったのですが、今回すごく落語に対するイメージがかわり、興味がわきました。機会があればまた落語を見たいと思いました。若い人们は、あまり落語に手をださないかもだけど、一度見ると、かなりはまってしまって、落語の良さが分かったような気がします。この落語の良さやすばらしさがもっとたくさんの人たちに伝わればいいなと思いました。今は多様化の社会なので、英語での落語とかも、きいてみたいなと思いました。とても最高な時間でした。

### 《補助事業》【吉田豊ジャズコンサート】

小野田高等学校



### 【生徒感想①】

私は今まで“ジャズ”についてあまり良く知らず、ちゃんとジャズを聴いたのも今日が初めてでした。なんとなく明るくて元気なイメージがあったけど、実はその起源には人の苦しみや悲しみも混ざっていること

を知り、ジャズへの印象が変わりました。そんなジャズが、長い間、国も人種も時代もこえて全世界の人々に愛され、人々をつないでいるのは素晴らしいことだと感じました。演奏者の皆さん「ジャズを通していろんな人と仲良くなれた」というお話をからもそれを感じました。演奏の中で印象に残っているのは、みんなさんがほとんど楽譜を見ずに演奏していらっしゃったことです。その場で一緒に演奏する人たちのことを信じることが大事だとおっしゃっていたのが印象的でした。ステージの上で自由にアレンジして、おなじものは二度とできないおもしろさも、ジャズの魅力なんだなとおもいました。

### 【生徒感想②】

曲の途中で、ネジ?を回してピッチを合わせている

のが自分からしたらとてもすごいなと思いました。コントラバスの音もしっかり聞こえて、かっこよかったです。saxの方の肺活量がすごすぎるなと思いました。1フレーズもとても長かったし、息を吸うのも一瞬で、音もすごく大きくて、日頃からトレーニングをたくさんしているからあんなにすごい肺活量なんだなと思いました。ジャズは少し前から興味があり、今日実際に演奏が聞けてよかったです。自分はピアノを習っているのでジャズに挑戦してみたいと思いました。小野田高校の校歌をピアノソロで弾かれていたとき、校歌がとてもかっこよく聞こえました。それに合わせて歌うことは難しいけど、ピアノだけの演奏ならあれをずっと聞いておきたいと思いました。掃除のとき、校歌が2回流れるので1つをジャズの演奏バージョン

でやってほしいなと思いました。ブラシで演奏しているときのドラムの音、とても好きでした。またいつか機会があったらジャズの演奏を聴きたいと思いました。



## 《補助事業》【吉田豊ジャズコンサート】

田布施農工高等学校

### 【生徒感想①】

今回のジャズコンサートは最高に楽しかったです。スマホやTVで聴くのとは違い、より迫力があって音の大きさの変化や一つの楽器の音をより深く聞くことができました。アルトサックスの速いテンポの流れがとてもかっこよくて音色がきれいでとても好きになりました。一つの楽器にもいろいろな種類があることが知れて、もっといろんな楽器の音楽を聴いてみたいと思います。ピアノは速いテンポの時、他の楽器とよく音が合っていて頭の中でピアノの音に合わせて何か物語ができたような感じがしました。ドラムは大きな音から小さな音までだしてとてもリズミカルでとてもかっこよかったです。大きなバイオリンのような楽器はとても深い音のような、心が癒される音で他の楽器と合わさることで心が落ち着くような良い気分になりました。

ルパンの音楽はとてもかっこよくて、リズムもよくて体が左右にゆれてリズムをとるなど、とても楽しい時間になりました。普段もよくジャズを聴きます。今回の演奏で聴いた楽曲を調べてもう一度聴いてみようと思います。今日は高校生活で思い出に残る一日にな

りました。



### 【生徒感想②】

はじめは落ち着いた曲が多く、静かだったけど途中からだんだんと盛り上がりていき、最後はコンサートに見入っていた。サックスのソロパートがすごかったが、私が特に心に残っているのはドラムのソロパートだ。ドラムを演奏している人の性格がそのままドラムの演奏になっている感じがした。

アンコールで、ルパン三世を演奏してくれた時はとてもびっくりした。

音を出すことで人を喜ばせたり、感動させたりできてすごいなと感じた。

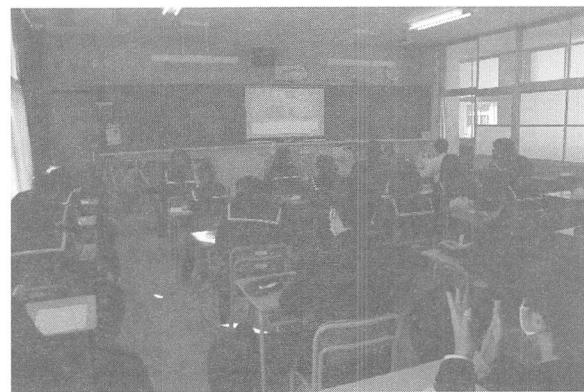


### 【生徒感想③】

今日の jazz の音楽を聴いて、心が浄化され、とても快適になり、充実した時間を体験できました。最初から、明るく、音楽に乗れる個人的に好きな曲が聴けて良かったです。奥に尋常じゃない大きさのバイオリンの形をした楽器に驚きました。また、音楽を音ではなくて心で理解できました。どれも難しそうな楽器なのに演奏者のみなさんはとても楽しそうに楽器を演奏されていて、「何事も楽しんだもん勝ち！」という言葉を

思い出し、数学や化学、部活等、今よりも楽しんでやろうと思えました。

体育館で生で鑑賞したかったけど、リモートでも十分音楽も聞こえて楽しかったです。ロックなどの音楽が好きだったけど、今日のコンサートで落ち着いた曲も案外悪くないと思いました。コロナ渦での音楽のコンサートはとても大変で、いつコロナが終わりを迎えるかわからないけど頑張ってください。また、鑑賞できる日を楽しみにしています。



### 《補助事業》【吉田豊ジャズコンサート】

熊毛南高等学校

### 【生徒感想①】

今日の演奏を聴いて、ジャズの魅力を知ることができました。ジャズはお店などで聞くことはあったけれど、生演奏を聞くとやはり迫力があり、リズムは独特でとても耳に残るようなリズムだなと思いました。私は先日、授業で「ラ・ラ・ランド」という映画を見て、その中でもジャズの魅力について語っている場面があり、そこに注目して今日の演奏を見ました。改めてジャズの魅力を知ることができて良かったです。1つ1つの楽器に注目して見てみるのもとても面白かったです。ドラムはリズムの柱のような役割なのでリズム感が大事になってくるのかなと思いました。私はリズム感に自信がないのでむいていないかなと思いました。ピアノは弾く時のリズムが難しそうだなと思いました。ドラムと少しずらして弾いている感じだったので難しそうだなと思いました。私はジャズのピアノ和音が1番好きでした。コントラバスの音は聴こえにくい印象だ

ったけど思ったよりもよく聴こえてきました。サックスはメロディーのような感じで、滑らかな音は聴いていてとても気持ち良かったです。楽譜はすごく短くてもアドリブでみんなに長く合わせができるのは1番驚きました。機会があればまた聴いてみたいと思いました。聴けて良かったです。



### 【生徒感想②】

私はジャズを聞くのは初めてではありませんでした

が、今までで一番震えました。最近の人たちはあまりジャズミュージックには興味がないようですが、今日みたいな経験ができることは、私にとってはとても嬉しいことでした。ジャズは、クラシックやロック、ポップミュージックとは違い、その場の雰囲気や聴き手の様子に曲調が大きく左右される音楽だと聞いて、とても感動しました。演奏者と観客が一体となれる演奏だと思います。私たちのような高校生の中には、音楽に興味がなかったりジャズを聴いたことがない人が多いように感じますが、心震える演奏を生で聴けるというのは、本当に良い刺激になると思います。日常とはかけ離れているようで、どこか私たちに寄り添うような曲調は、聞いていてとても安心します。私たちの知っている曲や、校歌などをアレンジして下さったとき

は、本当に感動しました。今までに聴いた中で1番素敵な校歌でした。譜面の音符をなぞるだけの音楽とは違う、自分をさらけ出す曲をできることをならもつと聴いてみたいとさえ思いました。来年もその次もぜひまた聴きたいです。



## 《補助事業》【吉田豊ジャズコンサート】

熊毛北高等学校



### 【生徒感想①】

私は今までジャズというのをあまり聴いたことがなくて、タイトルどおり「何だろう?」と思っていたのですが、今回、1曲目から鳥肌がたつほど興奮して、最後まで完全にジャズの世界に引き込まれていきました。ジャズは大人の聴くものという先入観がありましたが、もうそんなの関係ないなと思える素晴らしいコンサートでした。何より、演奏されている皆さんがとても楽しそうにしていて、見ている私もとても嬉しくなりました。

コロナで人と関わることが困難になってしまいまが、このように音楽で人と交流できるのはとても素

敵なことだと思います。とても楽しい時間を過ごすことができました。これからはジャズを家でも聴きたいです。



### 【生徒感想②】

初めて生でジャズの演奏を聴いたけど、どの曲も楽しんで聴けて最高の一になりました。4つの楽器を美しく調和させながら演奏できるのは、仲間を感じているからだということが分かりました。

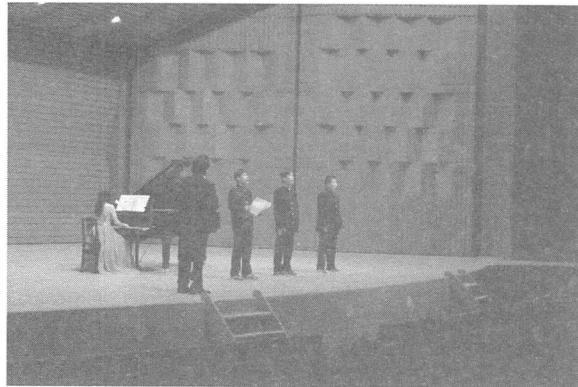
1時間という短い時間でしたが、楽器の役割やジャズについて知ることができてよかったです。家に帰ってからもジャズを聴いてみたいです。演奏者は全ての曲

を覚えて演奏しているのかと思っていましたが、ほとんど即興でやっていると聞いてびっくりしました。即興なのに、あれほど息がぴったりなのは、お互いの信頼がないとできないなと改めて感じました。これから的人生でジャズを生で聴ける機会は多分ないので、今日のことをしっかりと頭にとどめておきたいです。



## 《補助事業》【藤田卓也テノールコンサート】

徳山高等学校



### 【生徒感想①】

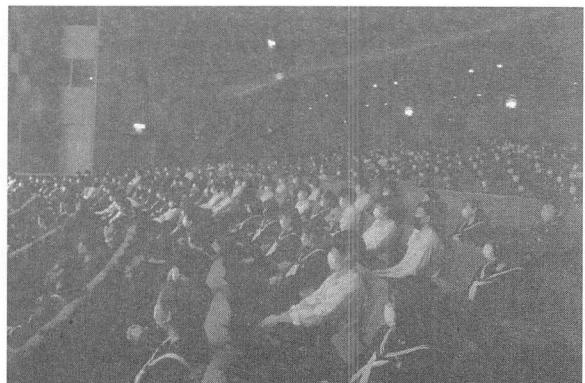
人生で初めてオペラ歌手の方の公演を聞くことができ、とても貴重な体験でした。

「オペラ」はとにかく大きく響くように歌うイメージでしたが、「カタリカタリ」では切なく寂しそうに表現されていて、とても印象に残りました。音楽の授業でテストをした「オーソレミオ」は私が歌うと息切れ・裏返り・小音量でしたが、藤田さんのラストの盛り上がりには圧倒されました。ただただ凄かったです。

生徒3人の歌声も格別に上手くて、そして堂々と歌っているのは格好良いなと思いました。タカシとマキ役の劇からは、音楽に込められているストーリーを学ぶことができました。ストーリーを考えると抑揚や強弱を付けやすいと思いました。

そして、今回のコンサートで一番印象に残ったのは、藤田さんの響き渡る声です。最近はK-POPばかり聴いている私にとって、すごく心に刺さったし、鳥肌が立ちました。コロナ禍のため生で誰かの

歌声を聞く機会もなかつたので、久しぶりに音楽の力の凄さを感じました。ピアノも習い事を辞めてから触ってもいなかったけれど、大好きな曲を上手に弾かれており心が浄化されました。私の生活、人生のほとんどに「音楽」があり、今では必要不可欠です。音楽を通して自分の人生をどう豊かにできるか、考えさせられました。



### 【生徒感想②】

今回のコンサートで、初めてオペラを聴きました。藤田さんの歌声は圧巻ですごく心に訴えかけてくるものがありました。僕は体験レッスンをさせていただいて、実際に大きな声を会場に響かせることの大変さを身をもって体験することができました。藤田さんのアドバイスは的確で、レッスン前と後ではホールでの自分の声の響きも変わったように感じました。今後滅多にないであろう貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

また、ちょっとした劇と音楽を組み合わせた演奏

もすごく心に残っています。芸術は人間関係を密接に結びつけていて第三者でしか感じることのできないことはすごく心に刺さりました。藤田さんが高校3年生のときに音楽の素晴らしさに気づかれたように、自分たちもいつか音楽と密接に関わることがあるかもしれません。その時は今日のコンサートを思い出し、音楽を楽しもうと思います。この度はお忙しい中、本当にありがとうございました。



# 山口県高等学校文化連盟自主事業・補助事業実施校一覧 No.1

数字は実施年度(62~63は昭和、1~30は平成)、※は今年度実施予定、(定)は定時制、(分)は分校 ☆はコロナ禍により中止したもの。

番号		自 主 事 業				補助事業
		青少年劇場小公演	山口県交響楽団	巡回演劇教室		
				劇団のんた	宇部芸術座	下関海峡座
1	周防大島 安下庄校舎	63, 7, 25	4, 10	10, 21, 28		26, 27
	久賀校舎	63	3			
2	岩国	1				
	坂上分校	63, 11	5, 26	3		
	広瀬分校	63, 14, 21	17	20, 26		
3	岩国総合	1, 30	11			
4	高森		2			
5	岩国商業	3		62, 15		
	定時制東分校					
6	岩国工業		2	6, 8		
7	柳井		7	11, 29		19
8	柳井商工		11, 14	1, 4, 11, 14, 27		
9	熊毛南	63, 19(分), 27, R1	6, 17	12, 24		20, 26, 28, 30, R2, R3
10	田布施農工	15(分), 18(分)	3, 18, 20, 27	5, 24	16	22, R3
11	光	63, 20(定)	8, 23	17		21, 29, R2, R4※
12	下松	63, 7, 12	15			
13	華陵	63	8	1		R1
14	下松工業		1			
15	熊毛北	R4※	2, 14	63, 7	R1	R2, R3
16	徳山	4(定), 8(定), 10(定)	15		12	R3
	徳山北分校	63, 21	4, 11	8		20
	鹿野分校	3, 10	9	1, 16		
17	新南陽	63	22	25	5	14
18	徳山商工	63, 1, 5		3, 4	7	
19	南陽工業	1, R1	62			
20	防府					23
	佐波分校	63, 7, R2	27	R1		R4※
21	防府西	1	10			
22	防府商工	63(定), 1	12, 30		6	
23	山口	62(定), 15(定), 16(定)	2			27
	徳佐分校	63(分), 25, 27	63, 10, 20	13		
24	山口中央	63, 10, 12, 13	R2☆, R3			22, R1, R4※
25	山口松風館					
26	西京	62	4		7	R1
27	山口農業		5, 21		3	29
	西市分校		63	22	27	23
28	宇部	63				
29	宇部中央	1(定), 14(定)	10, 19		63, 26	30
30	宇部西		14, 28		10, 23	26, 27, 30, R2
31	宇部商業	63	62, 6		3	
32	宇部工業	2, 13	8			
33	小野田	63(定), 19(定)		22, 27(定)	25	R2☆, R3
34	厚狭	1	15, 21		9, 18	28
35	小野田工業	63(定)			4	
36	美祢青嶺	4, 22	63	R2	17, 20, 29	10
37	田部		1, 13		18	20

## 山口県高等学校文化連盟自主事業・補助事業実施校一覧 No.2

数字は実施年度(62~63は昭和、1~30は平成)、※は今年度実施予定、(定)は定時制、(分)は分校 ☆はコロナ禍により中止したもの。

番号		自 主 事 業					補助事業	
		青少年劇場小公演	山口県交響楽団	巡回演劇教室				
				劇団のんた	宇部芸術座	下関海峡座		
38	豊浦							
39	長府	1					26, 30	
40	下関西						19, 28, 29(定)	
41	下関南	22						
42	下関北	62, R3	3, 28			15, 22, 29	30	
43	下関双葉							
44	下関工科	62, 28	12, 25, 29			2, 6, R1	19, 20, 22	
45	大津緑洋 大津校舎	63	12		5			
	日置校舎	63, 5, 9, 15	19		25	2, 13, 23	22	
	水産校舎		12					
46	萩	63	3			6	24	
	奈古分校	11, 17	1, 9, 24			26		
47	萩商工	63	6, 7, 16	23	9	2, 4, 12, 17		
48	下関中等教育				5			
49	岩国総合支援	3, 13, 16, 30	24	10, 19, R4※				
50	田布施総合支援	6, 17	62, R2☆, R3☆	30				
51	周南総合支援	15, 17, 20						
52	徳山総合支援	1, 11						
53	防府総合支援	62, 63, 3, 12, 26, 28	16					
54	山口南総合支援							
55	山口総合支援	19	14, R4※					
56	宇部総合支援	63, 5, 14, R3, R4※	1, 9	18				
57	下関南総合支援	63, 3, 8, 10, 16, R2	7, 25, R4※			1		
58	下関総合支援	2, 6	16					
59	豊浦総合支援	11, 13, 16, 23, 29	26			19, 21	20, 27	
60	萩総合支援	6, 24						
61	下関商業	14(定)						
62	高水			62				
63	柳井学園	6		63, R3☆				
64	聖光		2, 30					
65	山口県桜ヶ丘		R1					
66	誠英				7	9		
67	高川学園							
68	中村女子	63	2, 5, 22		11	16	R1, R4※	
69	野田学園	63	18					
70	山口県鴻城		10, 29		12, 15			
71	宇部鴻城		7		9			
72	慶進	29	23		30		21	
73	成進							
74	宇部フロンティア香川		1, 5, 15		11, 19, 28, R2☆, R3☆, R4※			
75	サビエル							
76	下関国際		R1			R2☆, R3☆, R4※		
77	梅光学院							
78	早鞆							
79	下関短期大学付属	62, 63, 4, 7, 24, 26			8	28		
80	長門		6					
81	萩光塩学院							

# 令和3年度 山口県高等学校文化連盟 事業報告

月	日	事 業	会 場
4	13 21	会計監査 第1回企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校
5	7 12 18 29 ~ 30	評議員会 第43回県総文祭総合開会式・音楽4部門発表会 第1回実行委員会 令和2年度集録「高文連」発行 公益社団法人全国高等学校文化連盟定時総会（中止・書面決議により実施） 山口県高等学校合唱講習会 県高校総合文化祭「将棋部門」（主管：下関西高校） 県高校総合文化祭「小倉百人一首かるた部門」（主管：慶進高校）	山口市：セントコア山口（中止・書面決議により実施） 下関市民会館 東京：オリンピックセンター国際交流棟 国際会議室 山口県教育会館（中止） 防府市文化福祉会館 小野田高校 武道場
6	4 5 ~ 6 7 19 25	第43回県高校総合文化祭総合開会式（主管：下関南高校・下関中等教育学校） 県高校総合文化祭音楽4部門発表会（主管：下関西高校・下関工科高校・下関支部） 山口県文化連盟 総会 県高校総合文化祭「日本音楽・郷土芸能部門」（主管：柳井高校） 第31回中国地区高等学校文化連盟 理事会及び関係者合同会議	下関南高校（無観客・関係校にライブ配信、後日動画を配信） 中止・代替行事を実施 山口市：ホテルニュータナカ（中止・書面決議） サンビームやない（中止・代替行事を実施） 島根県米子市：米子ワシントンホテルプラザ（中止・書面決議）
7	23 ~ 25 31 ~ 6 31 ~ 6	第43回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会 (公社) 全国高等学校文化連盟各専門部会 第44回全国高等学校総合文化祭	滋賀県 大津市 近江神宮 和歌山県 和歌山県（総合開会式 和歌山ビッグホール）
8	1 26 28 ~ 29	(公社) 全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議 第43回県総文祭総合開会式・音楽4部門発表会 第2回実行委員会 第31回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	和歌山県：和歌山市 下関南高校（中止） 東京：国立劇場大劇場
9	7	自主事業「山口県交響楽団演奏会」	田布施総合支援学校（中止）
10	8 14 17 18 22 ~ 23 24 27 28 29	県高校総合文化祭「文芸部門」（主管：宇部高校） 自主事業 青少年劇場小公演「しゃみせんいろいろ」 県高校総合文化祭「囲碁部門」（主管：宇部高校） 自主事業 巡回演劇「劇団のんた」 県高等学校総合文化祭「演劇部門」（主管：宇部高校） 第24回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会山口県予選（主管：長府高校） 自主事業「山口県交響楽団演奏会」 補助事業「吉田豊ジャズコンサート」 補助事業「吉田豊ジャズコンサート」	宇部高校 宇部総合支援学校 宇部高校 柳井学園高校（中止） 下関市民会館 小野田高校 武道場 山口中央高校 小野田高校 田布施農工高校
11	1 2 6 6 ~ 7 11 ~ 14 11 ~ 14 13 ~ 14 13 ~ 14 16 17 22	補助事業「吉田豊ジャズコンサート」 補助事業「吉田豊ジャズコンサート」 県高校総合文化祭「放送部門」（主管：山口高校） 第23回高校生文芸道場中国ブロック大会 県高校総合文化祭「書道部門」（主管：美祢青嶺高校） 自主事業 巡回演劇「宇部芸術座」 県高校総合文化祭「写真部門」（主管：周南総合支援学校） 県高校総合文化祭「美術・工芸部門」（主管：徳山高校） 第24回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会 山口県中学校文化連盟第17回総合文化祭 岩国大会 第1回専門部理事長会 自主事業 青少年劇場 はなしの伝統芸能「落語」 自主事業 巡回演劇「劇団海峡座」	熊毛南高校 熊毛北高校 山口県健康づくりセンター 島根県出雲市：ビッグハート出雲 おのだサンパーク 宇部フロンティア大学付属香川高校（中止） 周南市美術博物館 周南市美術博物館 広島県広島市：東区民文化センター シンフォニア岩国 山口中央高校 下関北高等学校 下関国際高校（中止）
12	8 9 ~ 10 10 18 ~ 19 18 ~ 19 25 ~ 26	補助事業「藤田卓也テノールコンサート」 第33回全国高等学校文化連盟研究大会（島根大会） 全国高等学校文化連盟実務担当者会議 第21回中国地区高等学校将棋選手権大会 第59回中国地区高等学校演劇発表会 第25回中国高等学校囲碁選手権大会	徳山高校 島根県松江市：島根県民会館 島根県松江市：島根県民会館 広島県広島市：東区民文化センター 広島県呉市：呉信用金庫ホール（呉市民文化ホール） 島根県出雲市：パルメイト出雲
1	1 19 27 ~ 29	山口県中文連・高文連合同調査研究打ち合わせ会 第2回専門部理事長会 第30回全国高等学校将棋新人大会	山口中央高校または大殿中学校 山口中央高校 徳島県徳島市：
2	5 ~ 6 17 18	第7回中国地区高等学校放送コンテスト 第2回企画運営委員会 令和3年度中国地区高文連実務担当者会議	広島県広島市：JMSアステールプラザ 山口中央高校（中止・書面決議により実施） 島根県：県立米子工業高校（中止・書面決議により実施）
3	第17回全国高校かるたグランプリ マーチングバンド・バトontwring講習会 第40回山口県高等学校 器楽・管弦楽スプリングコンサート（主管：下関南高校）	東京都文京区： 中止 下関市生涯学習プラザ	
【その他】 各専門部会………部会長校を中心に開催予定 各専門部研修会…県下各地において開催予定			
※巡回演劇教室3公演、巡回音楽教室（山響）2公演、青少年劇場小公演2公演 ※補助事業5公演			

# 令和3年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書

## 令和3年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書

収入総額 34,998,886円  
 支出総額 17,309,326円  
 次年度繰越金 17,689,560円

収入の部					(単位 : 円)
区分	予算額	決算額	増減額(減△)	摘要	
繰 越 金	12,923,347	12,923,347	0		
加 盟 費	18,503,500	18,360,400	△ 143,100		
内 訳	全日制 定時制・ 総合支援学校	18,441,000 62,500	18,302,400 58,000	△ 138,600 △ 4,500	600円×30,504人(昨年度より1,034人減) 50円×1160人(昨年度より42人減)
補 助 金	3,715,000	3,715,000	0	山口県より	
内 訳	県総文祭 全国総文祭	1,213,000 2,502,000	1,213,000 2,502,000	0 0	主催 下関地区 主催 和歌山県
調整基金から繰入	0	0	0		
雑 収 入	153	139	△ 14	利息等	
合 計	35,142,000	34,998,886	△ 143,114		

支出の部					(単位 : 円)
区分	予算額	決算額	残額(超過△)	摘要	
運 営 費	2,319,800	1,660,750	659,050		
内 訳	事務費 通信費 分担金 賃金等	500,000 300,000 519,800 1,000,000	425,764 223,312 519,800 491,874	74,236 76,688 0 508,126	記念品 事務機器維持費 消耗品費 HP管理費等 振込手数料 電話 郵便 運送料等 サーバー代 全国高文連会費 賛助会費 中国高文連分担金 県文連会費 事務補助賃金 労災保険料
会 議 費	2,400,000	1,202,138	1,197,862		
内 訳	会議費 旅 費	400,000 2,000,000	264,668 937,470	135,332 1,062,530	県内会議(高文連主催)旅費 大会参加費 役員保険料 会議用茶等 全国会議(和歌山) 中国地区会議(鳥取 中止) 研究大会(島根) 県内視察
事 業 費	18,571,796	9,840,643	8,731,153		
内 訳	県総文祭 全総文祭 自主事業 大会補助金 専門部会費 印 刷 費 中高連携費	7,347,796 6,000,000 1,924,000 150,000 2,910,000 190,000 50,000	3,041,190 3,714,941 964,000 150,000 1,753,546 174,680 42,286	4,306,606 2,285,059 960,000 0 1,156,454 15,320 7,714	総合開会式 各部門大会開催費 生徒旅費補助 引率旅費補助 運搬費 参加負担金 自主事業3公演(4公演中止) 補助事業5公演 特別支援学校文化祭補助金 研究大会(島根)補助金 研修費 全国分担金 役員旅費・保険等 集録 県総文ぶとー賞状 中高文連交流事業
感染症対策事業費	5,000,000	1,605,795	3,394,205	県総文祭の代替行事(音楽4部門、日本音楽・郷土芸能部門)他	
調整基金	3,000,000	3,000,000	0	2028全総文祭基金へ	
予 備 費	3,850,404	0	3,850,404		
合 計	35,142,000	17,309,326	17,832,674		

### 令和3年度 2028全国高等学校総合文化祭 基金決算額

前年度繰越	一般会計から繰入	今年度末残高
4,000,000	3,000,000	7,000,000

### 令和3年度 調整基金会計決算額

前年度繰越	一般会計から繰入	今年度末残高
4,000,000	0	4,000,000

上記の通り相違ありません

令和4年 4月12日

監事

齊藤 英一郎



監事

藤村慎一郎



# 令和4年度 山口県高等学校文化連盟 事業計画

月	日	事業	会場
4	12 20	会計監査 第1回企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校
5	13 17 22 24 28 ~ 29 30 30	評議員会 第44回県総文祭総合開会式・音楽4部門発表会 第1回実行委員会 令和3年度集録「高文連」発行 県高校総合文化祭「小倉百人一首かるた部門」(主管:山口県桜ヶ丘高校) 公益社団法人全国高等学校文化連盟定時総会 県高校総合文化祭「将棋部門」(主管:下関西高校) 自主事業 巡回演劇「劇団のんた」 山口県文化連盟 総会	山口市:セントコア山口 シンフォニア岩国 小野田高校 武道場 東京:星陵会館 防府市文化福祉会館 岩国総合支援学校 山口市:ホテルニュータナカ
6	6 16 17 ~ 18 18	自主事業「山口県交響楽団演奏会」 第44回県高校総合文化祭総合開会式(主管:熊毛南高校・柳井商工高校) 県高校総合文化祭音楽4部門発表会(主管:岩国総合高校・岩国・柳井支部) 県高校総合文化祭「日本音楽・郷土芸能部門」(主管:下関南高校)	山口総合支援学校 シンフォニア岩国 シンフォニア岩国 下関市菊川ふれあい会館(アブニール)
7	1 22 ~ 27 31 ~ 4 31 ~ 4	第32回中国地区高等学校文化連盟 理事会及び関係者合同会議 第44回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会 (公社) 全国高等学校文化連盟各専門部会 第46回全国高等学校総合文化祭(とうきょう総文2022)	鳥取県米子市: 滋賀県 大津市 近江神宮 東京都 東京都
8	1 27 ~ 28	(公社) 全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議 第44回県総文祭総合開会式・音楽4部門発表会 第2回実行委員会 マーチングバンド・バトンワリング講習会 第33回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京都 熊毛南高校 山口県鴻城高等学校 東京:国立劇場大劇場
9	11	第25回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会山口県予選(主管:小野田高校)	小野田高校 武道場
10	6 6 7 23 22 ~ 23 31	自主事業 青少年劇場小公演「古館由佳子ジブリーシーヴァイオリンコンサート」 自主事業「山口県交響楽団演奏会」 県高校総合文化祭「文芸部門」(主管:岩国高校) 県高校総合文化祭「囲碁部門」(主管:山口高校) 県高等学校総合文化祭「演劇部門」(主管:山口県鴻城高校) 自主事業 巡回演劇「宇部芸術座」	宇部総合支援学校 下関南総合支援学校 岩国高校 防府商工高校 山口市民会館 宇部フロンティア大学付属香川高校
11	5 5 ~ 6 5 ~ 6 11 11 ~ 13 11 ~ 13 12 12 ~ 13 14 15 16 17	県高校総合文化祭「放送部門」(主管:山口中央高校) 山口県中学校文化連盟第18回総合文化祭 柳井大会 県高校総合文化祭「書道部門」(主管:美祢青嶺高校) 自主事業 巡回演劇「劇団海峡座」 県高校総合文化祭「写真部門」(主管:南陽工業高校) 県高校総合文化祭「美術・工芸部門」(主管:防府西高校) 第24回高校生文芸道場中国ブロック大会 第25回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会 第1回専門部理事長会 補助事業「吉田豊ジャズコンサート」 補助事業「吉田豊ジャズコンサート」 自主事業 青少年劇場小公演「連弾 RENDAN」 補助事業「吉田豊ジャズコンサート」	山口県健康づくりセンター サンビームやない・アクティブやない おのだサンパーク 下関国際高校 新南陽ふれあいセンター(予定) 防府市地域交流センター アスピラート 岡山県:就実大学 山口県立小野田高等学校 武道場 山口中央高校 防府高校佐波分校 山口中央高校 熊毛北高校 光高校
12	1 ~ 2 2 16 17 ~ 18 24 ~ 25 26 ~ 27	第34回全国高等学校文化連盟研究大会(沖縄大会) 全国高等学校文化連盟実務担当者会議 補助事業「藤田卓也テノールコンサート」 第21回中国地区高等学校将棋選手権大会 第60回中国地区高等学校演劇発表会(主管:宇部フロンティア大学付属香川高校) 第26回中国高等学校囲碁選手権大会	沖縄県那覇市: 沖縄県那覇市: 中村女子高校 岡山県:ビュアリティまきび 山口県下関市:下関市民会館 山口県山口市:山口県健康づくりセンター
1	28 ~ 29	山口県中文連・高文連合同調査研究打ち合わせ会 第2回専門部理事長会 第8回中国地区高等学校放送コンテスト	山口中央高校または大殿中学校 山口中央高校 山口県山口市:山口県健康づくりセンター
2	9 ~ 11	第31回全国高等学校文化連盟将棋新人大会 第2回企画運営委員会 令和4年度中国地区高文連実務担当者会議	山梨県甲府市: 山口中央高校 鳥取県米子市:鳥取県立米子工業高等学校
3	27	第18回全国高校生かるたグランプリ 第41回山口県高等学校 器楽・管弦楽スプリングコンサート(主管:岩国高校)	東京都文京区: 岩国市民文化会館
【その他】 各専門部会………部会長校を中心に開催予定 各専門部研修会…県下各地において開催予定			
※巡回演劇教室3公演、巡回音楽教室(山響)2公演、青少年劇場小公演2公演 ※補助事業5公演			

# 令和4年度 山口県高等学校文化連盟 会計予算書・調整基金会計予算書

## 令和4年度 山口県高等学校文化連盟会計予算書

収入総額 39,497,724円  
 支出総額 39,497,724円

収入の部					(単位 : 円)
区分	予算額	前年度予算額	増減額(減△)	摘要	
繰 越 金	17,689,560	12,923,347	4,766,213		
加 盟 費	18,093,000	18,503,500	△ 410,500		
内 訳 全日制定時制・総合支援学校	18,033,000 60,000	18,441,000 62,500	△ 408,000 △ 2,500	600円×30,055人 50円×1200人	
補 助 金	3,715,000	3,715,000	0	山口県より	
内 訳 県総文祭 全国総文祭	976,000 2,739,000	1,213,000 2,502,000	△ 237,000 237,000	主催 岩柳地区 主催 東京都	
調整基金から繰入	0	0	0		
雑 収 入	164	153	11	利息等	
合 計	39,497,724	35,142,000	4,355,724		

支出の部					(単位 : 円)
区分	予算額	前年度予算額	増減額(減△)	摘要	
運 営 費	2,619,800	2,319,800	300,000		
内 訳 事務費	800,000	500,000	300,000	記念品 事務機器維持費 消耗品費 HP管理費等 県総文パネル パソコン・プリンター更新	
通信費	300,000	300,000	0	振込手数料 電話 郵便 Zoomライセンス料 運送料等	
分担金	519,800	519,800	0	全国高文連会費 賛助会費 中国高文連分担金 県文連会費	
賃金等	1,000,000	1,000,000	0	事務補助賃金 労災保険料	
会 議 費	2,700,000	2,400,000	300,000		
内 訳 会議費	400,000	400,000	0	県内会議(高文連主催) 旅費 大会参加費 役員保険料 会議用茶等	
旅 費	2,300,000	2,000,000	300,000	全国会議(東京) 中国地区会議(鳥取) 研究大会(沖縄) 県内視察	
事 業 費	21,757,920	18,571,796	3,186,124		
内 訳 県総文祭	9,104,920	7,347,796	1,757,124	総合開会式 各部門大会開催費	
全総文祭	6,500,000	6,000,000	500,000	生徒旅費補助 引率旅費補助 運搬費 参加負担金	
自主事業	1,924,000	1,924,000	0	自主事業7公演 補助事業5公演	
大会補助金	1,033,000	150,000	883,000	特別支援学校文化祭 中国大会(4部門)	
専門部会費	2,996,000	2,910,000	86,000	研修費 全国分担金 役員旅費・保険等	
印 刷 費	150,000	190,000	△ 40,000	集録 県総文部スター	
中高連携費	50,000	50,000	0	中高文連交流事業	
感染症対策事業費	2,000,000	5,000,000	△ 3,000,000	県総文祭等への助成金	
調整基金	6,000,000	3,000,000	3,000,000	2028全総文祭基金、調整基金へ	
予 備 費	4,420,004	3,850,404	569,600		
合 計	39,497,724	35,142,000	4,355,724		

## 令和4年度 2028全国高等学校総合文化祭 基金予算書(案)

前年度繰越	一般会計から繰入	今年度末残高
7,000,000	3,000,000	10,000,000

## 令和4年度 調整基金会計予算書(案)

前年度繰越	一般会計から繰入	今年度末残高
4,000,000	3,000,000	7,000,000

# 山口県高等学校文化連盟規約

## 第1章 総 則

### (名 称)

第1条 この連盟は、山口県高等学校文化連盟と称する。

### (事務局)

第2条 本連盟の事務局を山口市宮島町6番1号山口中央高等学校に置く。

### (目的)

第3条 この連盟は、高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することを目的とする。

### (事業)

第4条 この連盟は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 山口県内の高等学校による文化活動行事の開催に関する事業。
- (2) 全国高等学校文化連盟が主催する行事への派遣に関する事業。
- (3) 芸術文化に関する研修会、講習会、鑑賞会、講演会等の開催に関する
- (4) 高等学校等の文化活動に関する調査研究事業。
- (5) 高等学校による文化活動の国際交流に関する事業。
- (6) その他前条の目的の達成に必要な事業。

### (組織)

第5条 この連盟は、山口県内の公立及び私立すべての高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下、「高等学校」という。）並びに高等部を設置している特別支援学校をもって組織する。

2 山口県内を七つの地域に分け、地域ごとに連合体を組織することができる。この場合において、地域の区分は、山口県高等学校校長会の区分と同じものとする。

第6条 この連盟に、次の専門部を置く。

2 演劇、器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・バトントワリング、日本音楽、吟詠剣詩舞、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、文芸、自然科学、小倉百人一首かるたの各部門とする。

## 第2章 役 員

### (役員)

第7条 この連盟に次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 若干人
- (3) 評議員 各加盟校に1人
- (4) 支部長 7人
- (5) 専門部会長 16人
- (6) 専門部理事長 16人
- (7) 監事 2人
- (8) 参与 若干人

### (役員の選出)

第8条 役員の選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、評議員の互選により選出する。
- (2) 評議員は、加盟校の校長をもって充てる。
- (3) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、各地域及び専門部の推薦に基づき、会長が委嘱する。
- (4) 監事及び参与は評議員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。

2 役員の兼任は妨げない。

(役員の職務)

第9条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、この連盟を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を行う。
- (3) 評議員は、評議員会に出席し、この連盟の事業について審議する。
- (4) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、企画運営委員会を構成し、この連盟の会務を審議し執行する。
- (5) 監事は、会計を監査する。
- (6) 参与は会長の諮問に応ずる。

(役員の任期)

第10条 役員は高等学校等に在職する者とし、その任期は2年とする、ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、必要に応じて補充する。ただし、任期は前任者の残任期間とする。

### 第3章 会 議

(会 議)

第11条 この連盟の会議は、次に掲げる通りとし、会長が必要に応じてこれを招集する。

- (1) 評議員会
  - (2) 企画運営委員会
  - (3) 理事長会
- 2 会議の議長は、会長がこれに当たる。
- 3 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。
- 4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。
- 5 会議に出席できない構成員は、代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(評議員会)

第12条 評議員会は、次の事項を審議し決定する。

- (1) 規約の制定及び改廃に関する事項
- (2) 予算及び決算に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる重要な事項

(企画運営委員会)

第13条 企画運営委員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 評議員から委任された事項
  - (2) 会務の運営及び執行に関する事項
  - (3) その他、連盟の運営に係わる軽易な事項
- 2 企画運営委員会に事業の運営及び執行のために委員会を置くことができる。
- 3 委員会は、事業を主管する学校長を委員長とし、委員として当該事業担当の教職員若干人及び専門教職員をもってこれに充てる。
- 4 委員会の委員の任命及び委員会議の招集は、委員長が行うことができる。

(理事長会)

第14条 理事長会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 企画運営委員会から委任された事項
- (2) その他各専門部の運営に係わる事項

### 第4章 会 計

(経 費)

第15条 この連盟の経費は、各高等学校等の加盟費、補助金、寄付金及び他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第16条 この連盟の収支予算は、評議員会の決議により定め、収支決算は、会計年度終了後、監事の監査を経て次の評議員会でその承認を得なければならない。

(会計年度)

第17条 この連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計経理)

第18条 この連盟の会計経理の手続きについては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

## 第5章 事務局

(事務局)

第19条 この連盟の事務を処理するため、事務局を置く。

(運営)

第20条 事務局の運営に関しては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

## 第6章 雜則

第21条 この連盟の規約の施行について必要な事項は、評議員会の議決を経て、別に定める。

### 附 則

この規約は、昭和62年4月1日から施行する。

昭和 62 年 4 月	1 日	制定
平成 元年 4 月	1 日	改正
平成 2年 4月	1 日	改正
平成 3年 4月	1 日	改正
平成 4年 4月	1 日	改正
平成 6年 4月	1 日	改正
平成 8年 4月	1 日	改正
平成 9年 4月	1 日	改正
平成 15年 4月	1 日	改正
平成 16年 4月	1 日	改正
平成 18年 4月	1 日	改正
平成 20年 4月	1 日	改正
平成 21年 4月	1 日	改正
平成 22年 4月	1 日	改正
平成 23年 5月	6 日	改正
平成 25年 5月	10 日	改正

# 山口県高等学校文化連盟諸規程

## [会計規程]

- 第1条 この規定は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、会計経理に関し必要な事項を定めるものとする。
- 第2条 すべての収入、支出は予算に計上しなければならない。
- 第3条 会長は、収支予算書及び事業計画書の案を作成し、これを評議員会に提出しなければならない。
- 第4条 会計経理は、収入科目、支出科目及び整理科目を設けて経理の整理をし、現金及び預金出納簿を備え全ての経理内容を記入するものとする。
- 第5条 会長は、決算報告書について、監事の監査を受けた後、これを評議員会に提出しなければならない。
- 第6条 各高等学校は、毎年5月31日までに、加盟費を納入するものとする。

各在籍生徒数に以下の金額を乗じたもの。但し、在籍生徒数は当該年度5月1日現在とする。

(全日制生徒)	600円
(定時制、特別支援学校高等部生徒)	50円

- 第7条 この規程の執行に関し必要な事項は、会長が定める。

## 附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

昭和62年4月1日制定  
平成4年4月1日改正  
平成5年4月1日改正  
平成8年4月1日改正  
平成20年4月1日改正  
平成23年5月6日改正  
令和元年5月10日改正

## [事務局規程]

- 第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、事務局の運営に関し必要事項を定めるものとする。
- 第2条 事務局に次の職員を置く。  
(1) 事務局長  
(2) 事務局員 ア 事務局次長 イ 総務係 ウ 会計係
- 第3条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の事務を統括する。
- 第4条 事務局次長は、事務局長を補佐する。
- 第5条 事務局総務係は、事務局長の命を受け、総務・企画・文書等に関する事項を分掌する。
- 第6条 事務局員会計係は、事務局長の命を受け、会計に関する事項を分掌する。
- 第7条 事務局の会計に関する規程その他事務処理上必要な諸規程は、別に定める。
- 第8条 その他事務局の細目的事項は、会長が別に定める。
- 第9条 会長が命令する出張等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

## 附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

昭和62年4月1日制定  
昭和62年7月14日改正  
平成23年5月6日改正

## [ 表彰規程 ]

第1条 山口県高等学校文化連盟規約第4条6号に基づく表彰規程を次のように定める。

### (表彰の種類)

第2条 本規程に基づく表彰は、次のとおりとする。

- (1) 文化功労賞
- (2) その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの

### (文化功労賞)

第3条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、当該年度の卒業予定者を対象として授与する。

第4条 受賞人員は在籍生徒数120名に対し1名の割合を原則とする。

第5条 本賞の受賞者の選考は、当該学校に一任する。

第6条 本賞の受賞者の選考基準は、次のとおりとする。

- (1) 人格、識見共に優秀と認める者。
- (2) 芸術文化活動歴が優秀である者、ただし、その活動は学校の内外を問わない。

第7条 各学校は、受賞者を決定し、別記様式(1)により、本連盟事務局あて報告するものとする。

第8条 本賞の授与は、卒業式に関する行事に際し、施行することを原則とする。

(その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めた者)

### (優秀芸術文化賞)

第9条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、各専門部において、全国大会等で特に優秀な成績をおさめたと認められた個人並びに団体を対象とする。

### (功績賞)

第10条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、長年にわたり本連盟の発展に寄与した者を対象とする。表彰は退職する年度または退職後に行う。ただし、専門部理事長を3期6年勤めた者は退任時に表彰することができる。

### (優秀指導者賞)

第11条 本賞は、第10条功績賞対象者のうち、全国高等学校総合文化祭表彰規定により表彰された部の指導を行った者を対象とする。

第12条 第9条、第10条、第11条の授賞については、高文連企画運営委員会に諮り、これを決する。本賞の授与は県総文祭の総合開会式で行うことを原則とする。

## 附 則

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

昭和62年4月1日制定  
昭和62年7月14日改正  
平成元年4月1日改正  
平成2年4月1日改正  
平成6年4月1日改正  
平成8年4月1日改正  
平成15年4月1日改正  
平成18年4月1日改正  
平成24年5月11日改正  
平成25年5月10日改正  
平成26年5月9日改正

# 山口県高等学校文化連盟旅費支給基準

## [ 旅費支給基準 ]

第1条 会長が招集する会議等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

第2条 県総文祭の運営に関する旅費は、委託された主管校から山口県旅費規程に準じて支給する。

第3条 全国高等学校総合文化祭に関する旅費の引率教員は山口県旅費規程に準じて支給する。

生徒は、〔交通費実費（学割・団体割引）+宿泊費（大会規定料金）×2泊〕×1/3とする。

※新幹線のみで100km以上の場合は特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

※在来線で100km以上の場合は急行または特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

ただし、特殊な事情がある場合はその都度協議し会長が決定する。

## [ 調整基金細則規定 ]

第1条 規約第4条の事業を円滑に遂行し、財務の健全化を図るため調整基金を設ける。

第2条 調整基金の額は、年度予算に計上して積み立てるものとする。

第3条 調整基金に属する現金は、金融機関への預金等最も確実な方法により保管するものとする。

第4条 調整基金は、事業執行上の財源が著しく不足する場合において、当該不足分を補うための財源に充てるときに限り、評議員会の議決によりこれを処分することができる。

## 附 則

- 1 この規定は、昭和62年4月1日から施行する。
- 2 この細則の施行前の調整基金については、この細則による執行とみなす。

昭和 62 年 4 月	1 日制定
昭和 63 年 4 月	1 日改正
平成 元年 4 月	1 日改正
平成 11 年 4 月	1 日改正
平成 13 年 4 月	1 日改正
平成 16 年 4 月	1 日改正
平成 22 年 4 月	1 日改正
平成 28 年 5 月	13 日改正

## 令和3年度 山口県高等学校文化連盟役員

職名	氏名	所属校	
会長	大村 勇	山口中央高校	
副会長	杉山 昌史 徳田 充 藤部 秀則	岩国高校 徳山高校 宇部フロンティア大学付属香川高校	
参 与	木村 香織	山口高校	
支部長	岩国支部 柳井支部 徳山支部 山防支部 宇部支部 下関支部 長北支部	杉山 昌史 高橋 等 徳田 充 小土井 実 辻岡 博之 山田 哲也 竹村 和之	岩国高校 柳井高校 徳山高校 防府高校 宇部高校 下関西高校 萩高校
監 事	藤村 慎一郎 原井 進	防府商工高校 西京高校	

### 専門部

専門部	会長	理事長	所属校
演劇	村田 修一	石田 千晶	光高校
合唱	清水 利宏	田中 瞳	野田学園高校
吹奏楽	辻岡 博之	中村 亮	宇部高校
器楽・管弦楽	宮木 由紀子	秋本 隆	下関南高校
日本音楽	古谷 方正	古田 正彦	宇部鴻城高校
吟詠剣詩舞	休部	休部	休部
郷土芸能	古谷 方正	古田 正彦	宇部鴻城高校
マーチングバンド・バントワーリング	辻岡 博之	中村 亮	宇部高校
美術・工芸	高橋 等	島田 憲貢	柳井高校
書道	金石 芳朗	鏡 証子	美祢青嶺高校
写真	小野 倫代	尾崎 勝利	周南総合支援学校
放送	木村 香織	向井 俊恵	山口高校
囲碁	辻岡 博之	真當 良洋	宇部高校
将棋	山田 哲也	堀 達也	下関西高校
小倉百人一首かるた	待水 清信	藤野 恭平	慶進高校
文芸	辻岡 博之	廣永 幸恵	宇部高校
自然科学	木村 香織	石田 純一	山口高校

### 事務局

職名	氏名	所属校
事務局長	西村正浩	山口中央高校
事務局員(総務)	黒瀬 高志	山口中央高校
事務局員(会計)	佐々木 靖子	山口中央高校
事務局員(庶務)	丸山 智子	嘱託

## 令和4年度 山口県高等学校文化連盟役員

職名	氏名	所属校
会長	大村 勇	山口中央高校
副会長	徳田 充 国清 賢一 廣川 晋	徳山高校 宇部高校 聖光高校
参与	杉山 昌史	山口高校
支部長	岩国支部 柳井支部 徳山支部 山防支部 宇部支部 下関支部 長北支部	竹村 和之 浅原 正和 徳田 充 大塚 泰二 国清 賢一 山田 哲也 岩崎 和弘
監事	藤村 慎一郎 齊藤 英一郎	防府商工高校 西京高校

### 専門部

専門部	会長	理事長	所属校
演劇	村上 浩昭	石田 千晶	光高校
合唱	山本 泰之	高山 律子	宇部中央高校
吹奏楽	国清 賢一	中村 亮	宇部高校
器楽・管弦楽	内田 正弘	秋本 隆	下関南高校
日本音楽	古谷 方正	古田 正彦	宇部鴻城高校
吟詠剣詩舞	休部	休部	休部
郷土芸能	古谷 方正	古田 正彦	宇部鴻城高校
マーチングバンド・バトンツーリング	国清 賢一	中村 亮	宇部高校
美術・工芸	浅原 正和	島田 憲貢	柳井高校
書道	古川 幸隆	鏡 証子	美祢青嶺高校
写真	末永 和文	尾崎 勝利	南陽工業高校
放送	柴田 利道	熊谷 麻衣子	山口農業高校／山口中央高校
囲碁	杉山 昌史	高野 朝男	山口高校
将棋	山田 哲也	堀 達也	下関西高校
小倉百人一首かるた	待水 清信	藤野 恭平	慶進高校
文芸	竹村 和之	白井 理恵子	岩国高校
自然科学	杉山 昌史	石田 純一	山口高校

### 事務局

職名	氏名	所属校
事務局長	西村 正浩	山口中央高校
事務局員(総務)	河本 展子	山口中央高校
事務局員(会計)	山本 直美	山口中央高校
事務局員(庶務)	丸山 智子	嘱託

# 全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定  
向川栄美作詞  
乗松美紀作曲

The musical score consists of four staves of music in G clef, 2/4 time, and a key signature of one flat. The lyrics are written below each staff.

1. てをのばせばほら きつとだれかがささてくれる  
2. よびかければほら きつとだれかがこたえてくれる

みわたせ一ぱほらなかまがいつでもそばにいる きみ  
こころをひらけばほらなかまはいつでもまつている

ははひとりじゃないさああるきばだそこう  
ははひとりじゃないさああるきばだそこう

ぼくらのぶんかをつくるたためーに  
ぼくらのぶんかをつくるたためーに

## 全国高文連の歌

一、手を伸ばせばほり  
きつと誰かが支えてくれる  
見渡せばほり  
仲間がいつもそばにいる  
君は一人じゃない  
さあ歩きだそう  
僕等の文化を創るために

二、呼びかけばほり  
きつと誰かが応えてくれる  
心を開けばほり  
仲間はいつも待っている  
君は一人じゃない  
さあ翔こう  
僕等の文化を築くために

山口県高等学校文化連盟

「高文連」編集委員

(各部門)

演劇	石田千晶	(光高等学校)
合唱	田中睦	(野田学園高等学校)
吹奏楽	中村亮	(宇部高等学校)
器楽・管弦楽	秋本隆	(下関南高等学校)
日本音楽	古田正彦	(宇部鴻城高等学校)
郷土芸能	古田正彦	(宇部鴻城高等学校)
マーチングバンド・バントリング	中村亮	(宇部高等学校)
美術・工芸	島田憲貢	(柳井高等学校)
書道	鏡証子	(美祢青嶺高等学校)
写真	尾崎勝利	(周南総合支援学校)
放送	向井俊恵	(山口高等学校)
囲碁	眞當良洋	(宇部高等学校)
将棋	堀達也	(下関西高等学校)
小倉百人一首かるた	藤野恭平	(慶進高等学校)
文芸	廣永幸恵	(宇部高等学校)
自然科学	石田純一	(山口高等学校)

事務局長	西村正浩	(山口中央高等学校)
事務局員(総務)	黒瀬高志	(山口中央高等学校)
事務局員(会計)	佐々木靖子	(山口中央高等学校)
事務局員(庶務)	丸山智子	(嘱託)

令和3年度  
山口県高等学校文化連盟集録  
「高文連」

編集・発行 山口県高等学校文化連盟事務局  
〒753-0043 山口市宮島町6-1  
山口県立山口中央高等学校内  
電話 083-922-0032  
FAX 083-932-0813

表紙デザイン／岡本佳奈  
(野田学園高等学校2年)  
題名「赤ちゃんかいじゅう」

